

令和8年度
「市民による市政評価」
結果報告書

令和8年10月

大仙市 企画部 総合政策課

目 次

1 調査概要

1.1 市政評価の目的	1
1.2 調査の項目	1
1.3 調査の方法等	1
1.4 調査の結果	1
1.5 集計・分析上の注意事項について	2

2 市民による市政評価(調査結果)

2.1 回答数及び回答率	4
2.2 属性	4
2.3 「大仙市の住みやすさ」について	6
2.3.1 住みやすさ	6
2.3.2 住みやすいところ	8
2.3.3 住みにくいところ	11
2.3.4 住み続けたさ	14
2.3.5 市外に移りたい理由、移らざるを得ない理由	16
2.3.6 住む場所に重視すること	17
2.3.7 市への誇りや愛着	20
2.4 「まちづくりへの意識」について	21
2.4.1 意見や要望の反映	21
2.4.2 市政に対する関心	22
2.5 「市の情報発信や行政サービスのデジタル化」について	26
2.5.1 市政情報の入手手段	26
2.5.2 市政情報の入手しやすさ	28
2.5.3 行政サービスの利用しやすさ	29

2.5.4 行政サービスのデジタル化に期待すること	30
2.6 「施策の満足度と重要度」について	32
2.6.1 満足の度合い	32
2.6.2 満足度における選択肢別の回答割合	34
2.6.3 満足度における属性別比較	35
2.6.4 重要の度合い	39
2.6.5 重要度における選択肢別の回答割合	41
2.6.6 重要度における属性別比較	42
2.6.7 要望度	47
2.6.8 満足度、重要度の総括	49
2.6.9 満足度、重要度の年齢層別比較	50
2.7 「今後、市に力を入れてほしいこと」について	52
2.7.1 今後、市に力を入れてほしいこと	52
2.8 経年比較(5か年分)について	56
2.8.1 住みやすさ	56
2.8.2 住み続けたさ	58
2.8.3 市政情報の入手手段	60
2.8.4 市政情報の入手しやすさ	61
2.8.5 市の行政サービスの利用しやすさ	62
3 自由意見	63

4 資料（調査票）

令和8年度「市民による市政評価」調査票

1 調査概要

1.1 市政評価の目的

市の政策に対して、市民の皆さんが感じている思いを把握し、必要に応じて事務事業の見直しや改善を図りながら効率的で効果的な行政運営につなげるとともに、調査を通じて市民の皆さんに市政への関心や理解を深めていただき、協働・共創のまちづくりを一層推進することを目的に実施している。

1.2 調査の項目

- (1) 「大仙市の住みやすさ」について
- (2) 「まちづくりへの意識」について
- (3) 「市の情報発信や行政サービスのデジタル化」について
- (4) 第3次大仙市総合計画の体系（「施策」「取組方針」）に基づき設定した項目の
「満足度」「重要度」「今後、市に力を入れてほしいこと」について

1.3 調査の方法等

- (1) 調査対象：大仙市に居住している16歳以上85歳未満の市民
- (2) 対象者数：1,000人
- (3) 抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出（性別、年齢、地域等は考慮）
- (4) 調査方法：① 調査依頼はがきを郵送し、インターネットによる回答（40代以下）
② 調査票を郵送し、郵送又はインターネットによる回答（50代以上）
- (5) 調査期間：令和8年5月28日（木）～6月30日（火）※ 延長1週間含む

1.4 調査の結果

- (1) 回答数：487人
- (2) 回答率：48.7%

1.5 集計・分析上の注意事項について

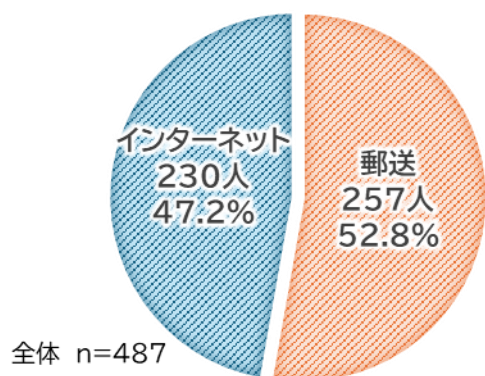
- 回答者の属性においては無回答を含めた回答者数を「n」とし、その他の設問においては、有効回答内での割合を求めるため、無回答者を除いた有効回答者数を「n」として表記しており、設問により母数となる回答者数「n」は異なる場合がある。
- 属性等とのクロス集計では、属性等が不明な回答を除いているため、属性等の項目ごとに集計した対象者の合計と、全体の集計対象者の合計は一致しない場合がある。
- 市政評価における満足度、重要度及び要望度の平均値については、小数点第3位以下を、その他の設問の構成比(%)については、小数点第2位以下を四捨五入して表記している。
- 単一回答の設問における構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。
- 複数回答の設問における構成比(%)は、集計対象者数に対する回答者数の比率を示すものであり、その合計は100%を超える場合がある。

2 市民による市政評価(調査結果)

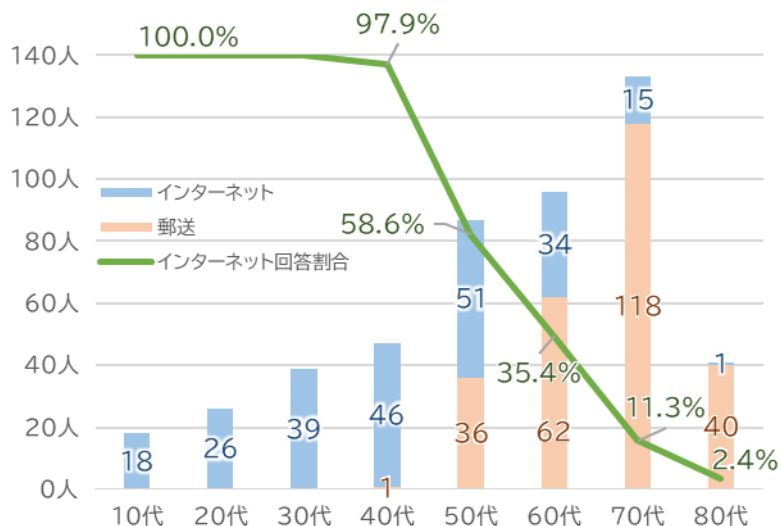
2 市民による市政評価(調査結果)

2.1 回答数及び回答率

図表1 回答方法別

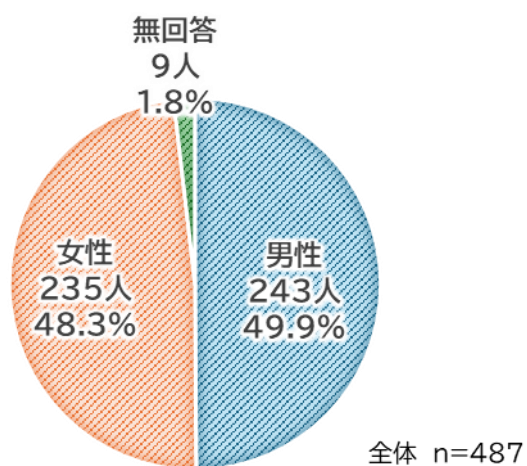


図表2 年代別

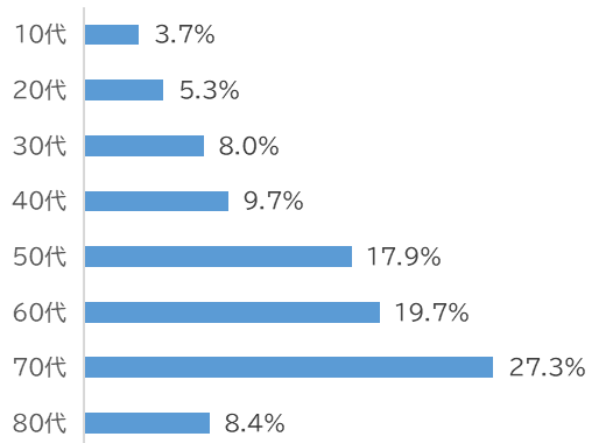


2.2 「属性」について

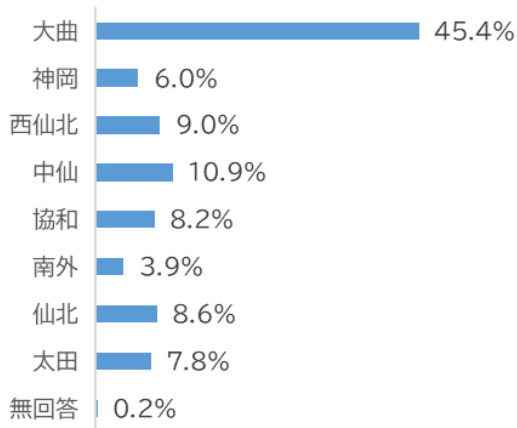
図表3 性別



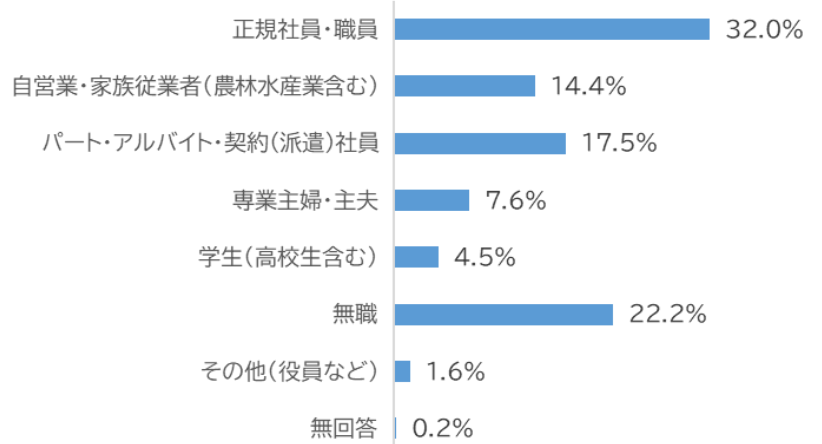
図表4 年代



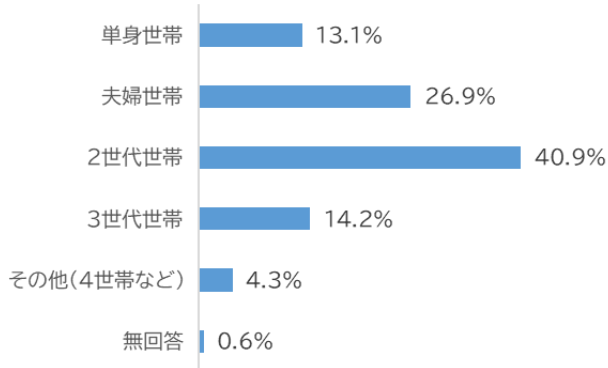
図表5 居住地域



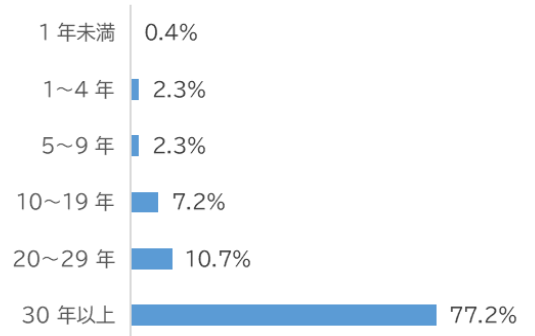
図表6 雇用職種



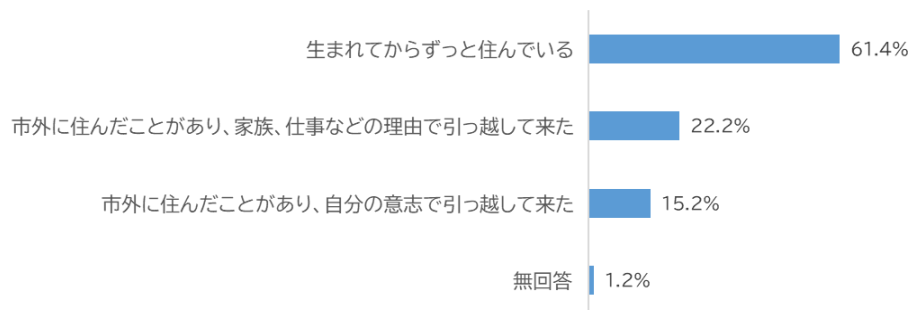
図表7 世帯構成



図表8 通算居住年数



図表9 大仙市への居住経緯



2.3 「大仙市の住みやすさ」について

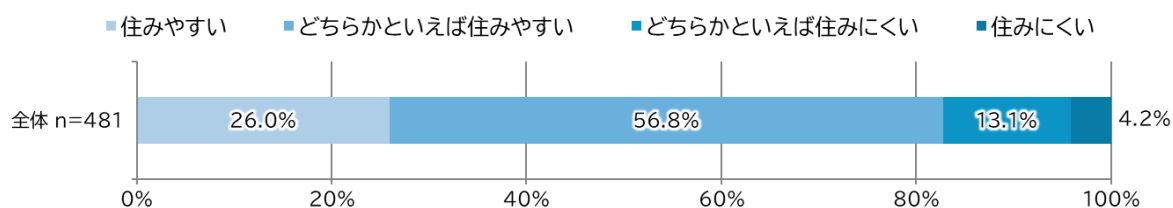
2.3.1 住みやすさ

大仙市は住みやすいまちだと思いますか。（○は1つ）

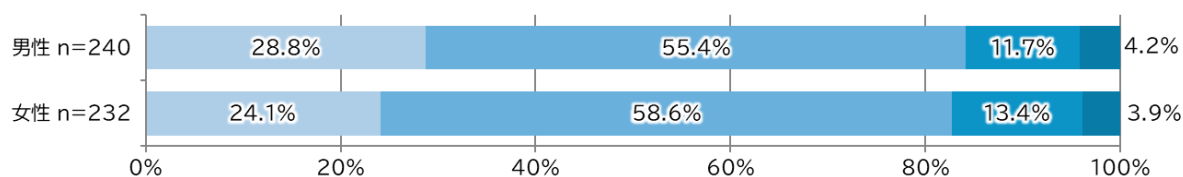
- 全体では、「どちらかといえば住みやすい」が56.8%で最も高く、次いで「住みやすい」が26.0%となっており、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」をあわせた割合は82.8%となっている。
- 性別でみると、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」をあわせた割合は男性が84.2%、女性が82.7%となっており、男性が1.5ポイント高くなっている。
- 年代別でみると、30代を除く全ての年代で「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」をあわせた割合は8割以上となっており、特に10代と20代では9割を超えている。一方で、30代は「どちらかといえば住みにくい」が33.3%となっており、他の年代と比べて高くなっている。
- 大仙市に住んでいる経緯別でみると、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」をあわせた割合は、「生まれてからずっと住んでいる」と回答した方が85.1%で最も高く、次いで「市外に住んだことがあり、家庭、仕事などの理由で引っ越して来た」が81.5%となっている。一方で、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」をあわせた割合は、「市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た」と回答した方が23.2%で最も高くなっている。

図表 10 大仙市の住みやすさ

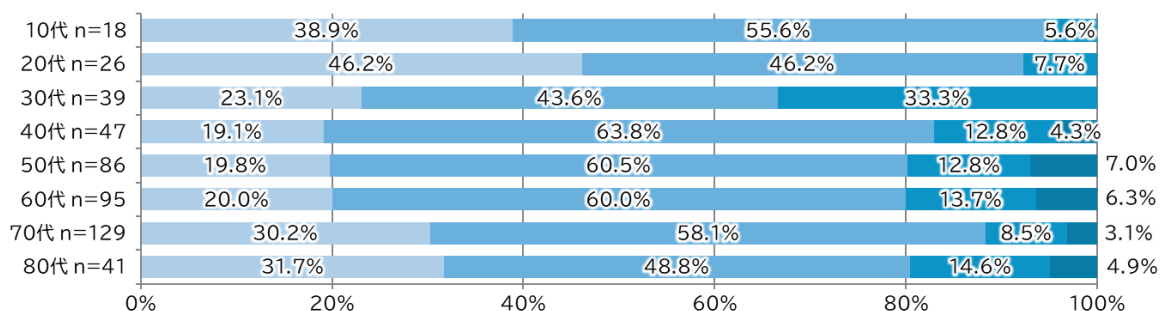
■ 全体



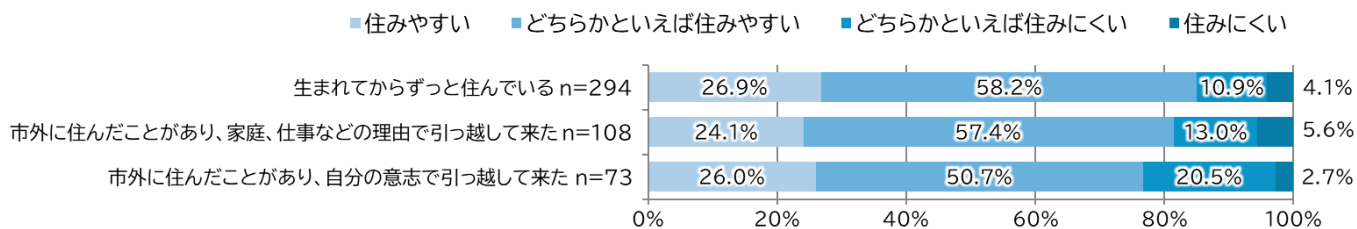
■ 性別



■ 年代別



■ 住んでいる経緯別



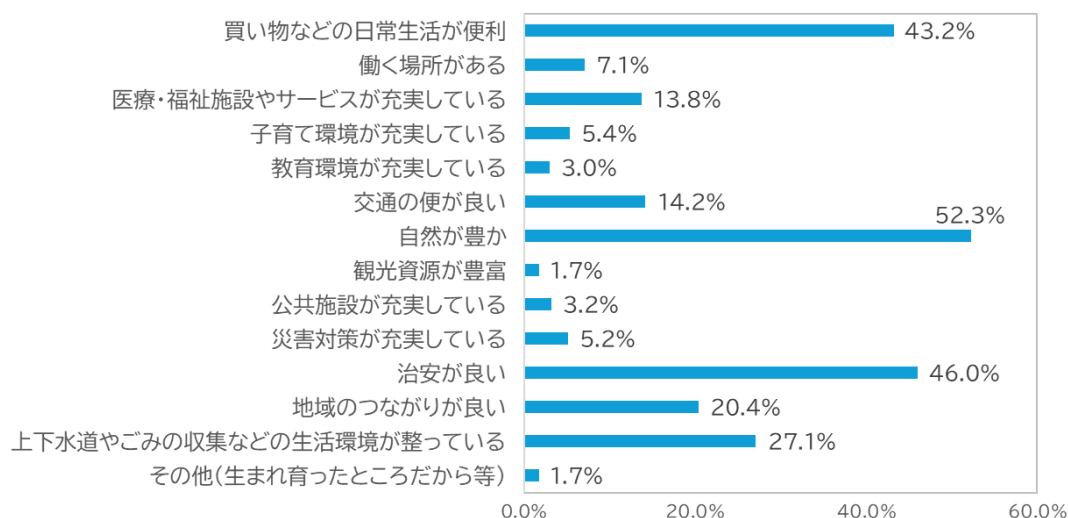
2.3.2 住みやすいところ

大仙市の「住みやすいところ」はどんなところですか。（〇は3つまで）

- 全体では、「自然が豊か」が 52.3%で最も高く、次いで「治安が良い」が 46.0%、「買い物などの日常生活が便利」が 43.2%となっている。
- 性別でみると、男女ともに「自然が豊か」と回答した割合が最も高く、ともに5割を超えている。これに次いで、女性は「治安が良い」と「買い物などの日常生活が便利」が46.2%となっており、「上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている」が27.8%で続いている。一方、男性は「治安が良い」が 45.9%となっており、「買い物などの日常生活が便利」が 41.2%で続いている。このほか、「地域のつながりが良い」と回答した割合は、男性が24.0%と女性の16.1%よりも7.9ポイント高くなっている。
- 年齢層別でみると、全ての年齢層で「自然が豊か」「治安が良い」「買い物などの日常生活が便利」と回答した割合が高くなっている。このほか、16歳から39歳は「子育て環境が充実している」、40歳から59歳は「働く場所がある」、60歳から84歳は「上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている」と回答した割合が他の年齢層と比べて高くなっている。

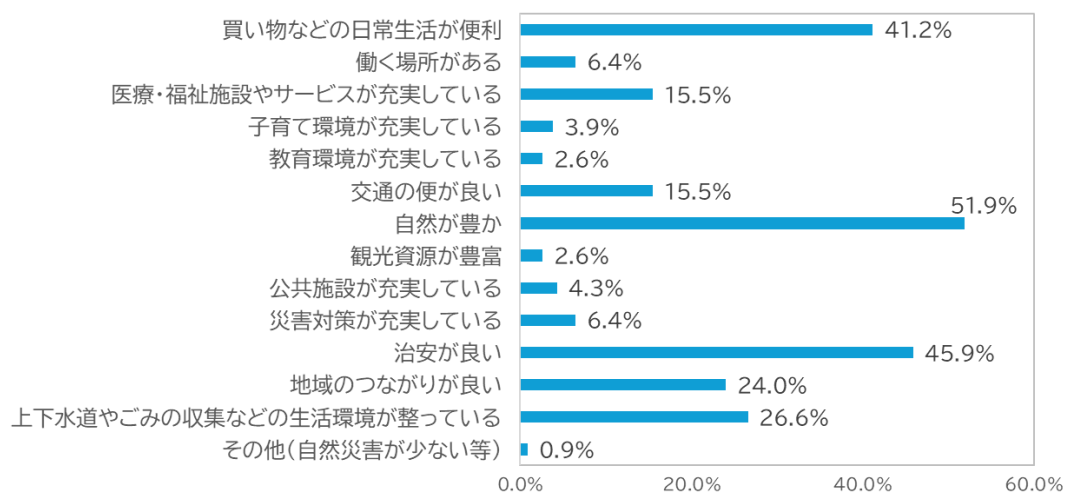
図表 11 大仙市の住みやすいところ

■ 全体(n=465)

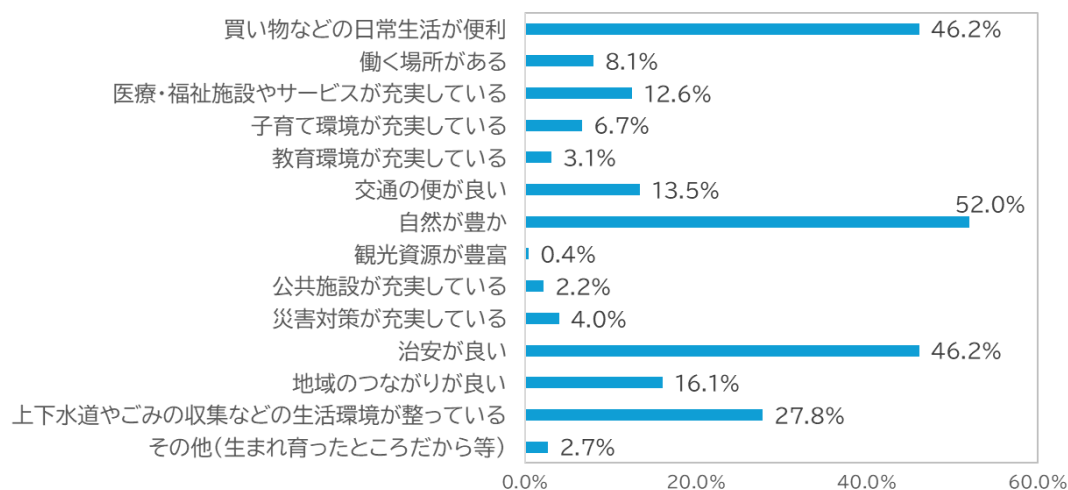


■ 性別

[男性 n=233]

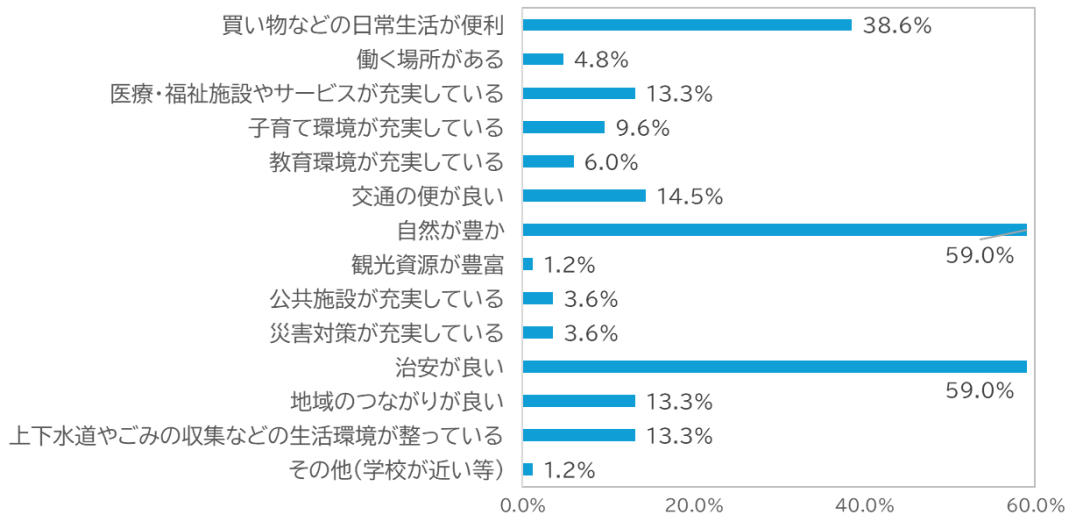


[女性 n=223]

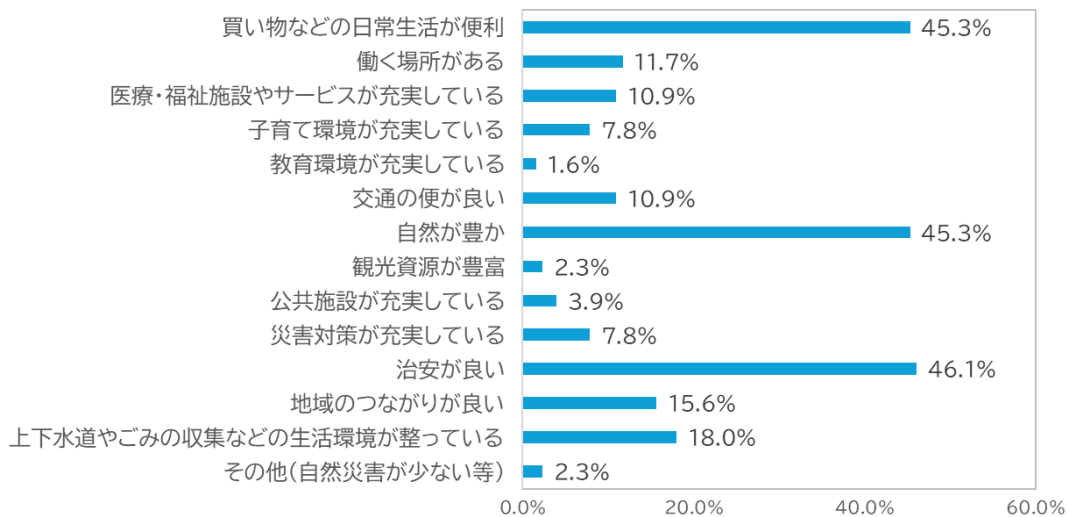


■ 年齢層別

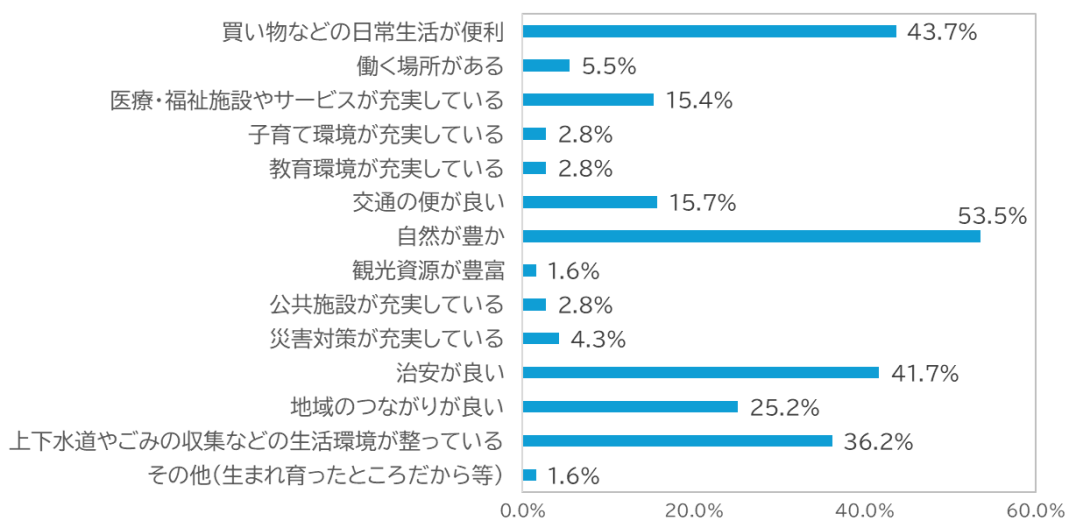
[16歳～39歳 n=83]



[40歳～59歳 n=128]



[60歳～84歳 n=254]



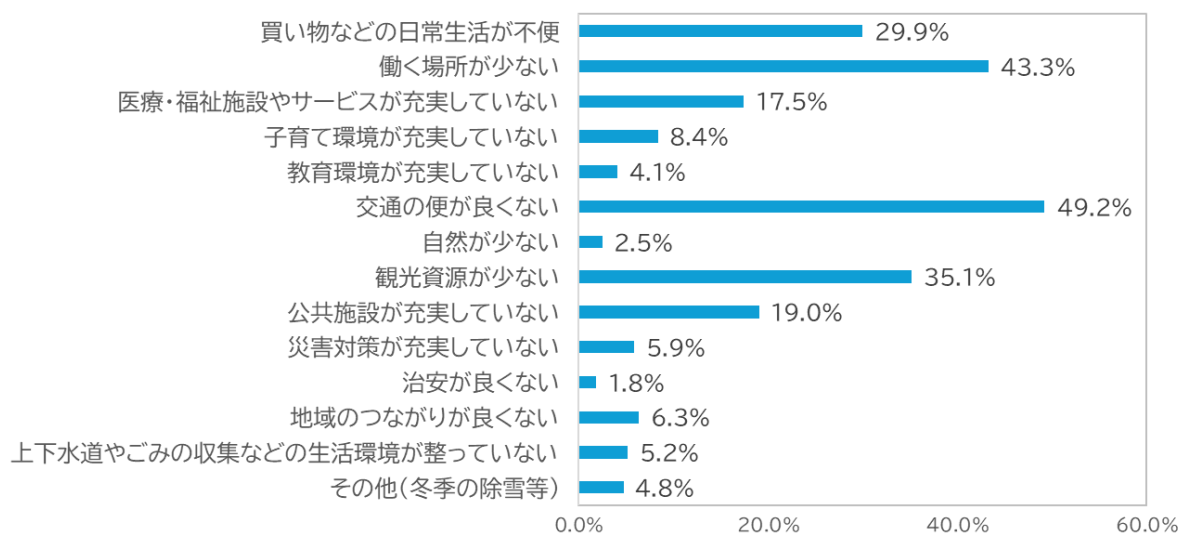
2.3.3 住みにくいところ

大仙市の「住みにくいところ」はどんなところですか。（〇は3つまで）

- 全体では、「交通の便が良くない」が 49.2%で最も高く、次いで「働く場所が少ない」が 43.3%、「観光資源が少ない」が 35.1%となっている。
- 性別でみると、「働く場所が少ない」と回答した割合は、男性が 49.3%と女性の 36.7%よりも 12.6 ポイント高くなっている。一方、「医療・福祉施設やサービスが充実していない」と回答した割合は、女性が 20.9%と男性の 12.9%よりも 8.0 ポイント高くなっている。
- 年齢層別でみると、全ての年齢層で「交通の便が良くない」と回答した割合が最も高く、次いで「働く場所が少ない」となっている。16 歳から 39 歳では「買い物などの日常生活が不便」と「公共施設が充実していない」の割合が高く、「観光資源が少ない」が続いている。40 歳から 59 歳、60 歳から 84 歳では「観光資源が少ない」「買い物などの日常生活が不便」の割合が高く、「医療・福祉施設やサービスが充実していない」となっている。

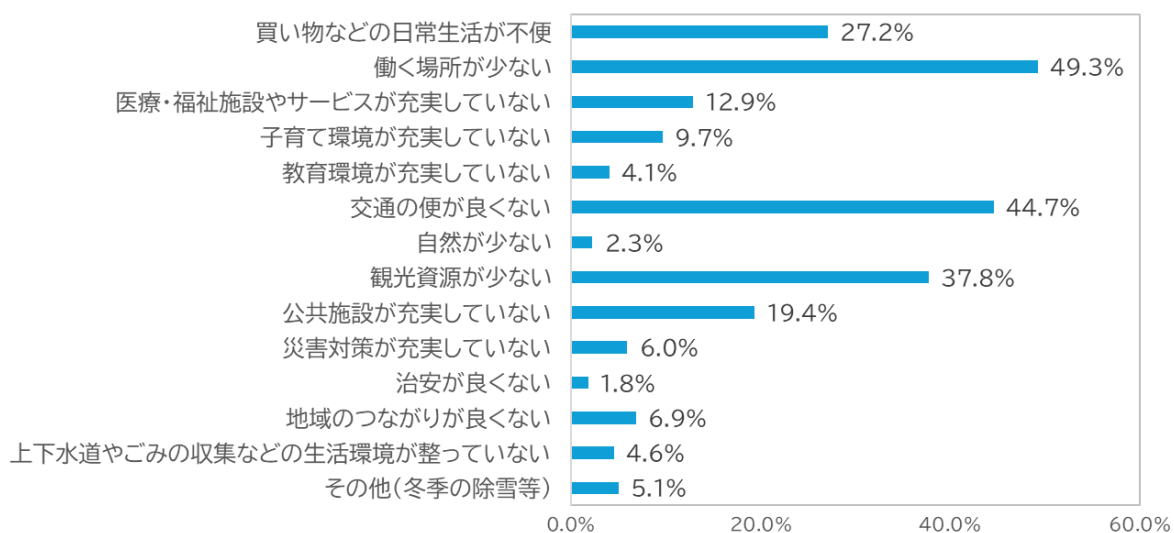
図表 12 大仙市の住みにくいところ

■ 全体(n=441)

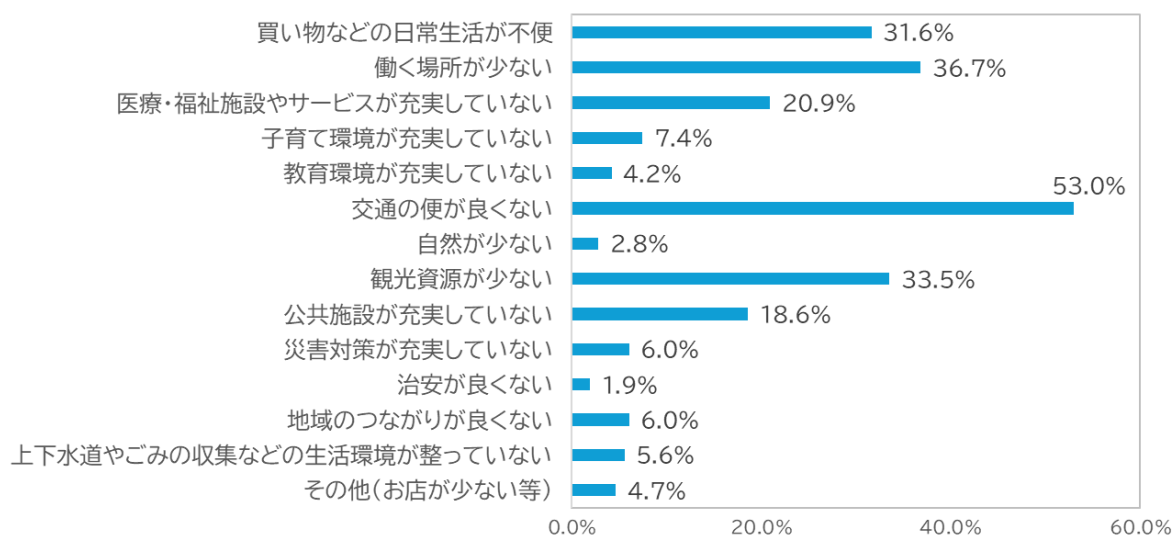


■ 性別

〔男性 n=217〕

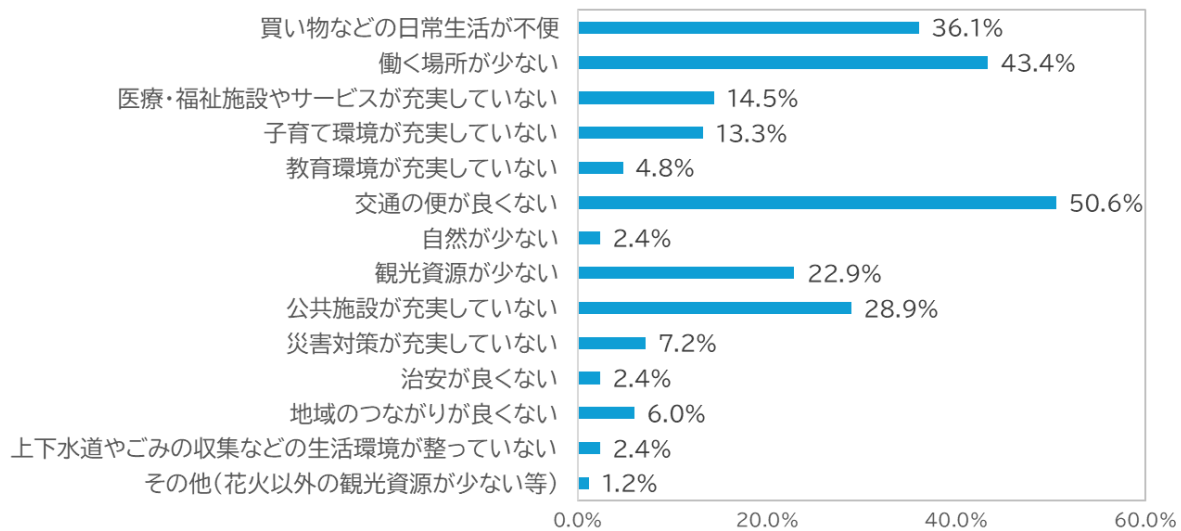


〔女性 n=215〕

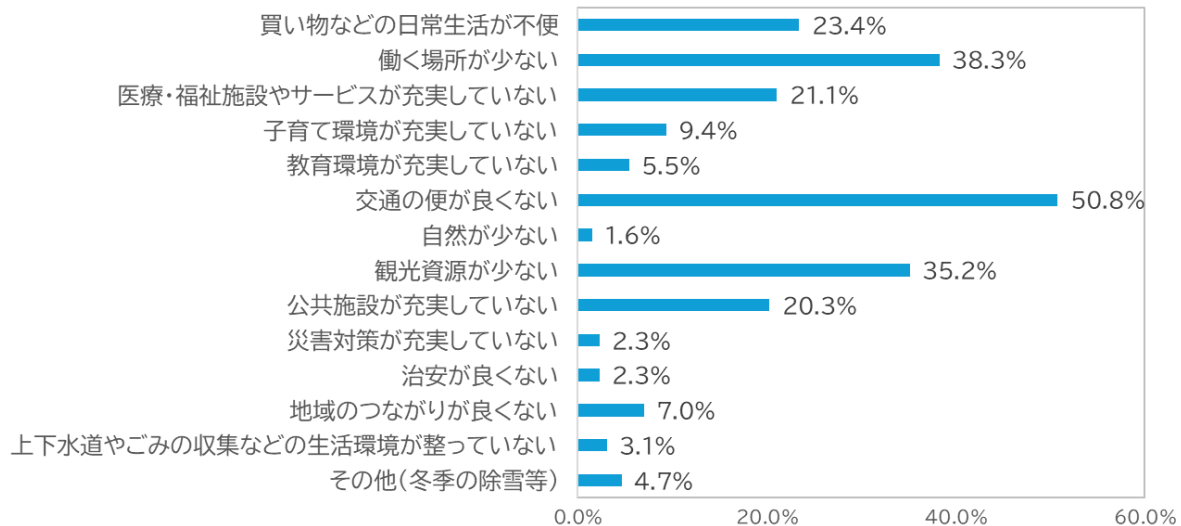


■ 年齢層別

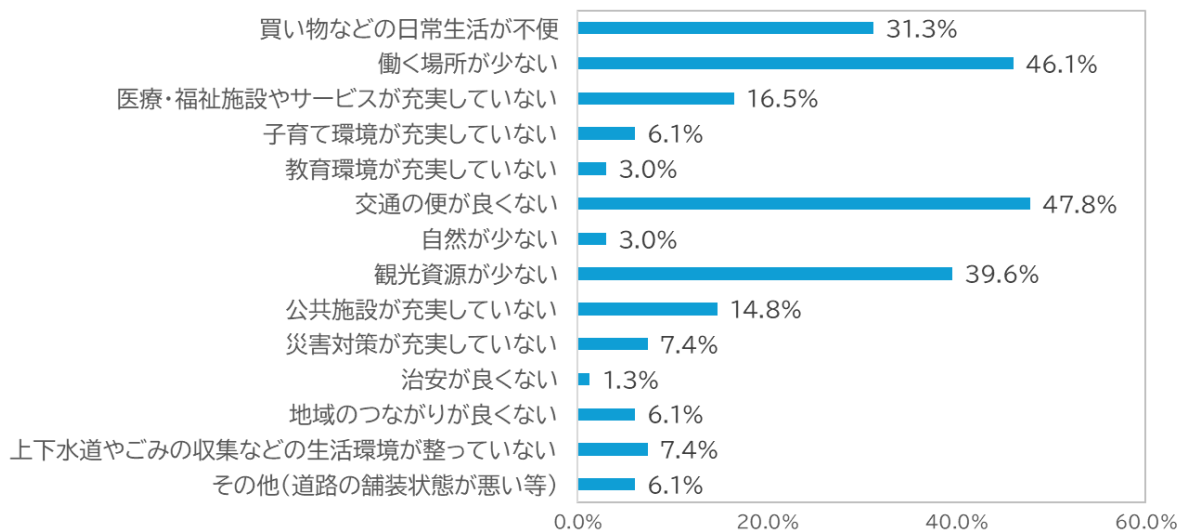
[16歳～39歳 n=83]



[40歳～59歳 n=128]



[60歳～84歳 n=230]



2.3.4 住み続けたさ

これからも大仙市に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）

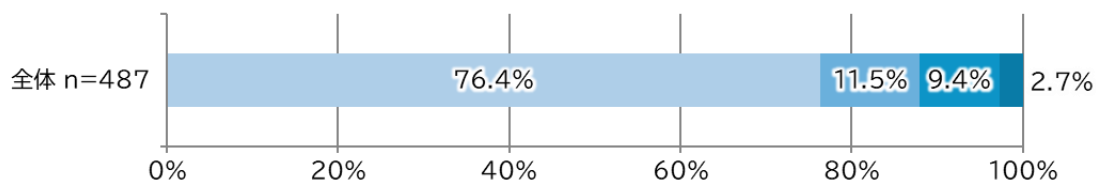
※今後の予定に関わらず、あなたの考えに最もあてはまる番号に○をつけてください。

- 全体では、「今の場所に住み続けたい」が76.4%、「市内の別の場所へ移りたい」が11.5%となっており、「今の場所に住み続けたい」と「市内の別の場所へ移りたい」をあわせた割合は87.9%となっている。
- 性別でみると、「今の場所に住み続けたい」と「市内の別の場所へ移りたい」をあわせた割合は女性が89.3%、男性が87.2%となっており、女性が2.1ポイント高くなっている。
- 年代別でみると、「今の場所に住み続けたい」と「市内の別の場所へ移りたい」をあわせた割合は30代以上で8割を超えている。一方、「住み続けたいが、移らざるを得ない」と回答した割合は10代と20代で1割を超えている。
- 大仙市に住んでいる経緯別でみると、「今の場所に住み続けたい」と「市内の別の場所へ移りたい」をあわせた割合は「生まれてからずっと住んでいる」と回答した方が90.3%と最も高くなっている。一方、「市外に移りたい」と回答した割合は、「市外に住んだことがあり、家庭、仕事などの理由で引っ越して来た」と回答した方が17.6%と最も高くなっている。

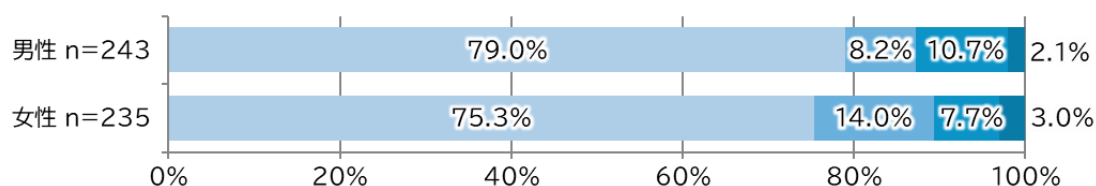
図表13 大仙市への住み続けたさ

■ 全体

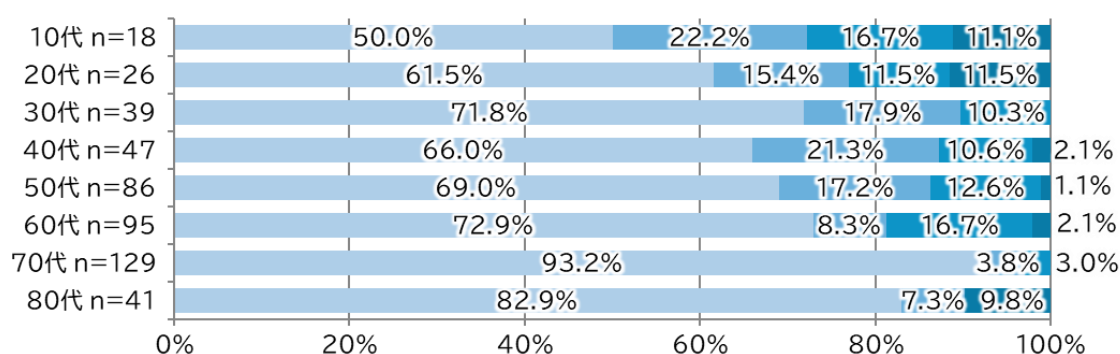
■今の場所に住み続けたい ■市内の別の場所へ移りたい ■市外に移りたい ■住み続けたいが、移らざるを得ない



■ 性別

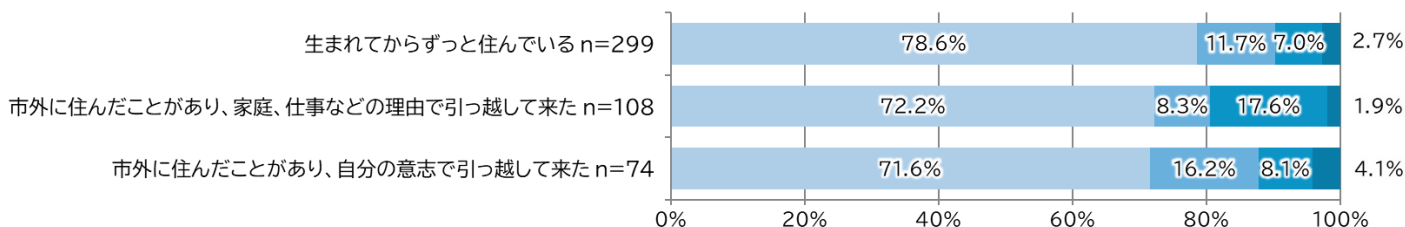


■ 年代別



■ 住んでいる経緯別

■今の場所に住み続けたい ■市内の別の場所へ移りたい ■市外に移りたい ■住み続けたいが、移らざるを得ない



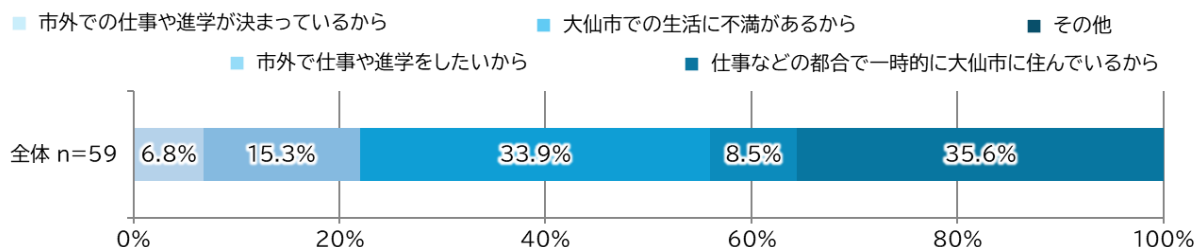
2.3.5 市外に移りたい理由、移らざるを得ない理由

前の問で「市外に移りたい」「住み続けたいが、移らざるを得ない」を選択した方にお聞きます。市外に移りたい、または移らざるを得ない理由は何ですか。（○は1つ）

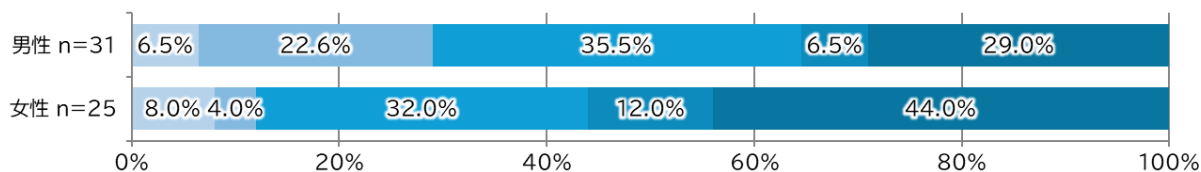
- 全体では、「その他（「雪の降らないところに住みたい」「市外にいる子どものところへ行きたい」など）」が35.6%で最も高くなっている。
- 性別でみると、女性は「その他（「市外にいる子どものところへ行きたい」など）」が44.0%で最も高くなっている。「市外で仕事や進学をしたいから」は男性が22.6%、女性が4.0%となっており、男性が18.6ポイント高くなっている。
- 年齢層別でみると、16歳から39歳では「市外で仕事や進学をしたいから」と回答した割合が33.3%、40歳から59歳では「大仙市での生活に不満があるから」と回答した割合が55.6%、60歳から84歳では「その他（「雪の降らないところに住みたい」など）」と回答した割合が53.8%と最も高くなっている。

図表14 市外に移りたい理由、移らざるを得ない理由

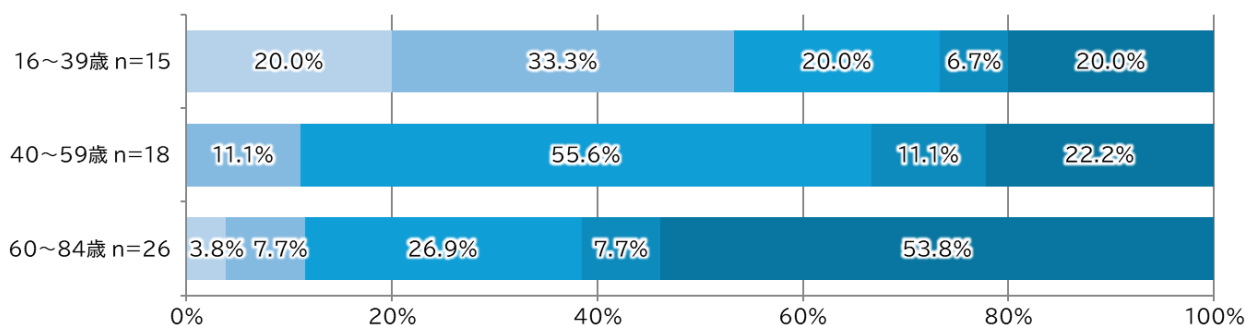
■ 全体



■ 性別



■ 年齢層別



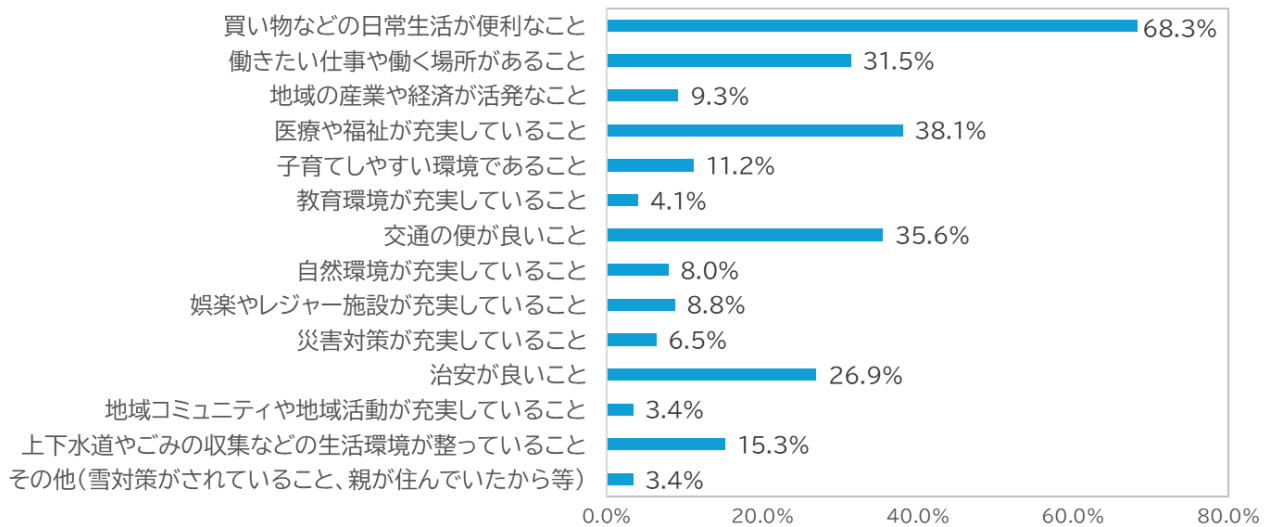
2.3.6 住む場所に重視すること

住む場所を選ぶ際に重視することは何ですか。（〇は3つまで）

- 全体では、「買い物などの日常生活が便利なこと」が68.3%で最も高く、次いで「医療や福祉が充実していること」が38.1%、「交通の便が良いこと」が35.6%となっている。
- 性別でみると、男女ともに「買い物などの日常生活が便利なこと」と回答した割合が最も高くなっている。「医療や福祉が充実していること」と回答した割合は女性が45.5%と男性の31.6%より13.9ポイント高くなっている。一方、「働きたい仕事や働く場所があること」と回答した割合は男性が34.2%と女性の27.5%より6.7ポイント高くなっている。
- 年齢層別でみると、全ての年齢層で「買い物などの日常生活が便利なこと」と回答した割合が最も高くなっている。次いで16歳から39歳、40歳から59歳では、「働きたい仕事や働く場所があること」と回答した割合が、それぞれ33.7%、47.0%となっており、60歳から84歳では「医療や福祉が充実していること」と回答した割合が46.6%となっている。

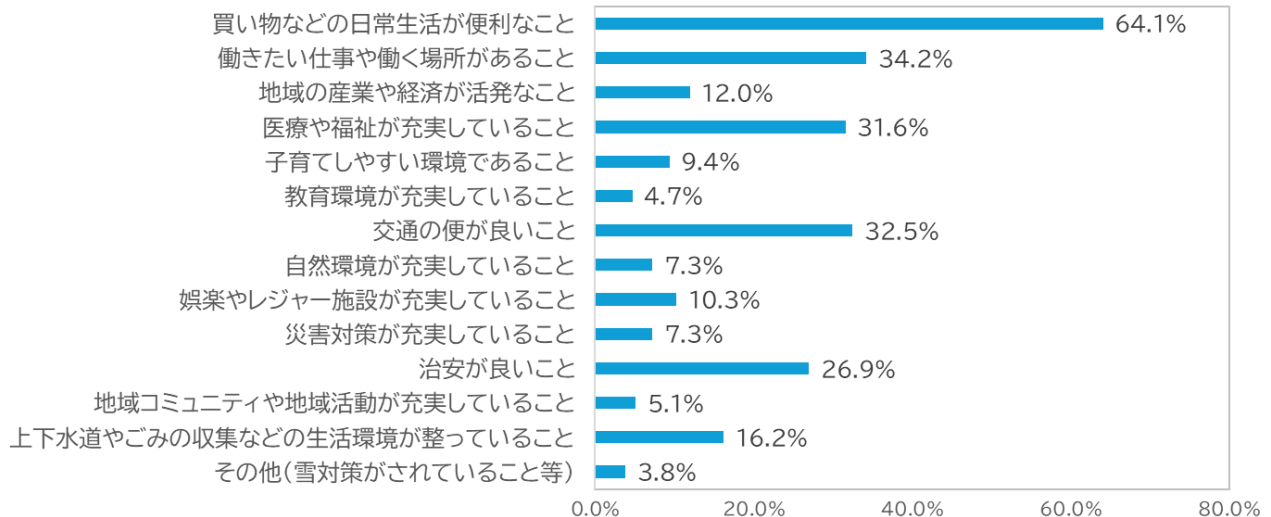
図表15 住む場所に重視すること

■ 全体(n=464)

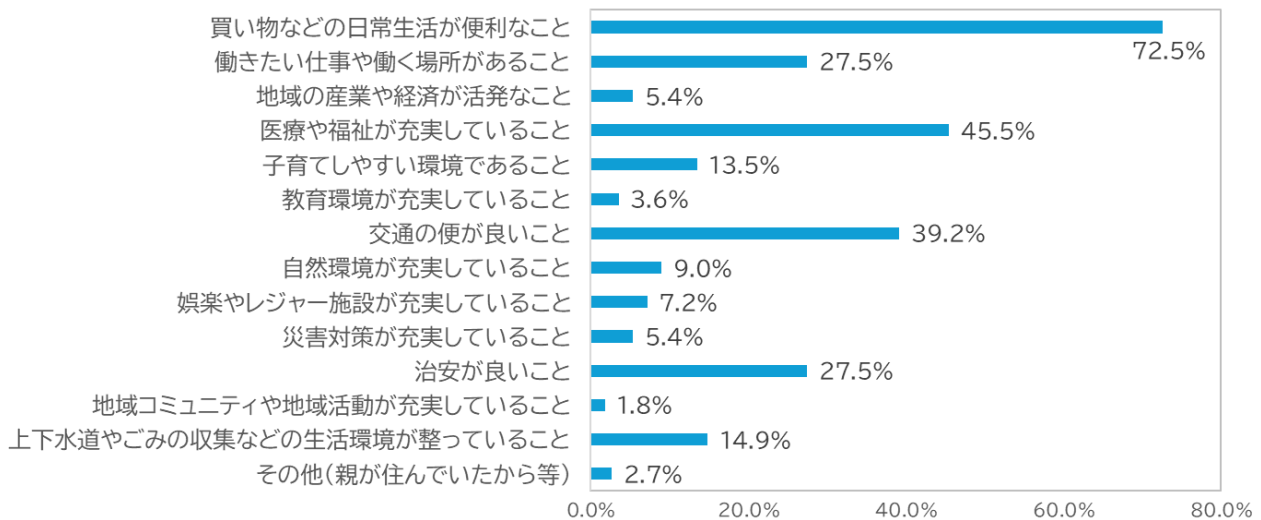


■ 性別

[男性 n=234]

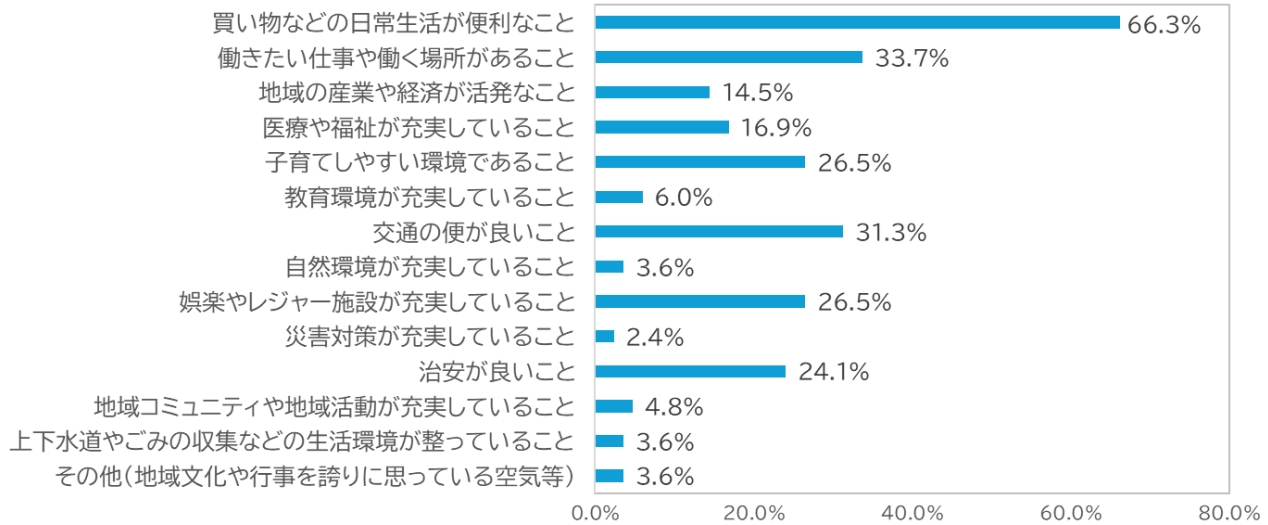


[女性 n=222]

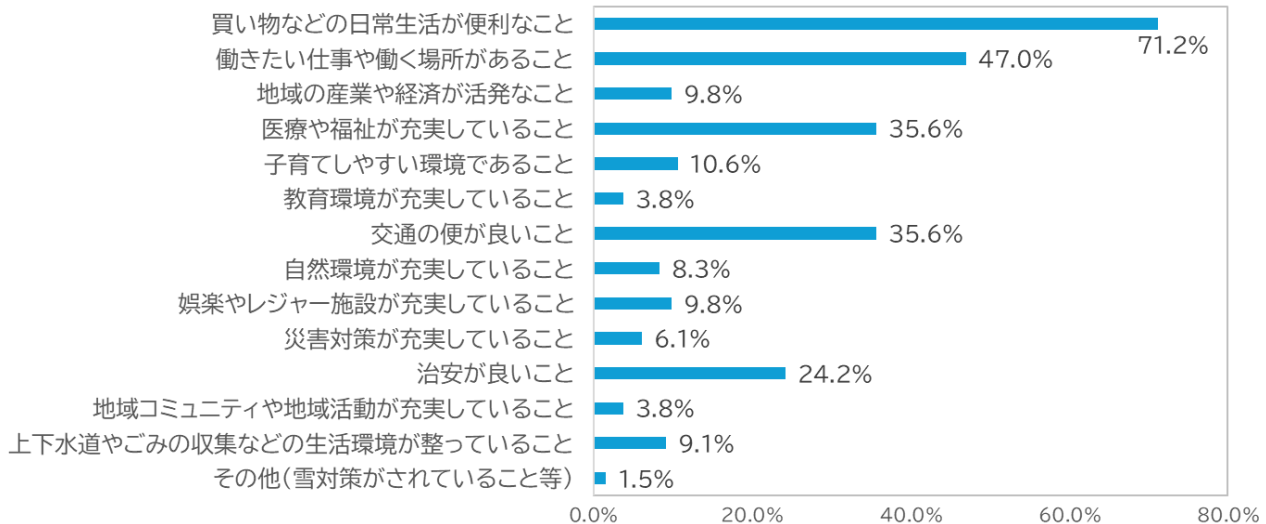


■ 年齢層別

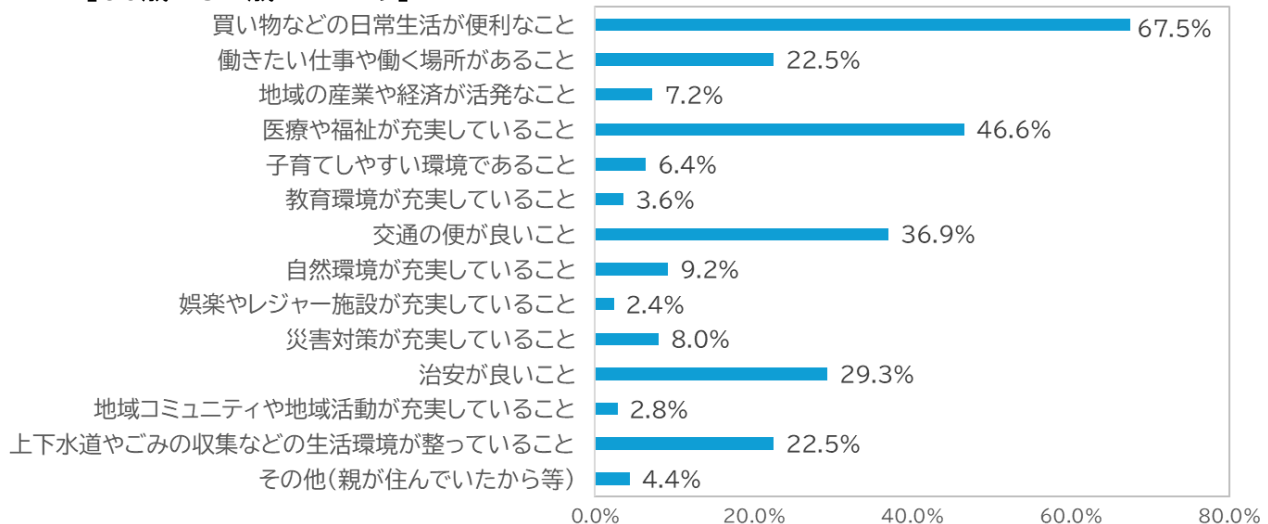
[16歳～39歳 n=83]



[40歳～59歳 n=128]



[60歳～84歳 n=249]



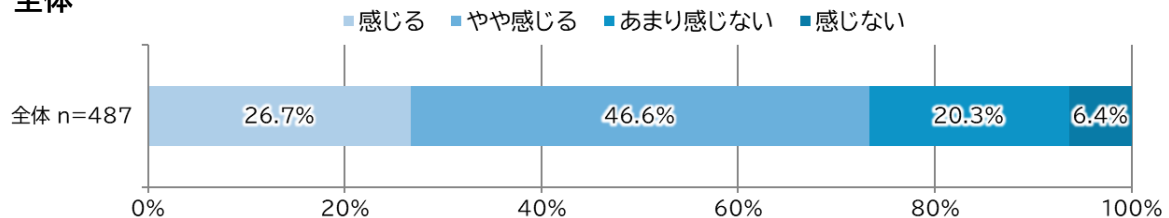
2.3.7 市への誇りや愛着

大仙市に誇りや愛着を感じますか。（〇は1つ）

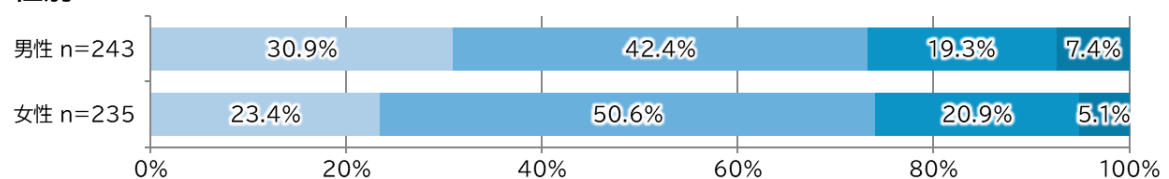
- 全体では、「感じる」が26.7%、「やや感じる」が46.6%となっており、「感じる」と「やや感じる」をあわせた割合は、73.3%となっている。
- 性別でみると、「感じる」は男性が30.9%で、女性の23.4%よりも7.5ポイント高くなっているものの、「やや感じる」は女性が50.6%で、男性よりも8.2ポイント高くなっているため、「感じる」と「やや感じる」をあわせた割合は女性が74.0%、男性が73.3%となっており、大きな差は見られなかった。
- 年齢層別でみると、「感じる」と「やや感じる」をあわせた割合は、16歳から39歳が83.1%で最も高く、次いで60歳から84歳が73.7%、40歳から59歳が66.4%となっている。また、40歳から59歳では「あまり感じない」と「感じない」が、それぞれ23.9%、9.7%となっており、他の年齢層よりも高い割合となっている。

図表16 市への誇りや愛着

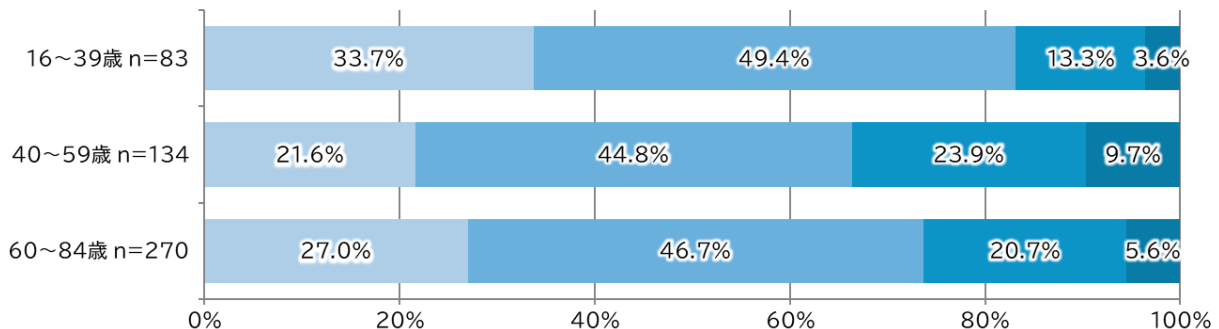
■ 全体



■ 性別



■ 年齢層別



2.4 「まちづくりへの意識」について

2.4.1 意見や要望の反映

ご自身の経験などから、市民の意見や要望が市政に反映されていると思いますか。

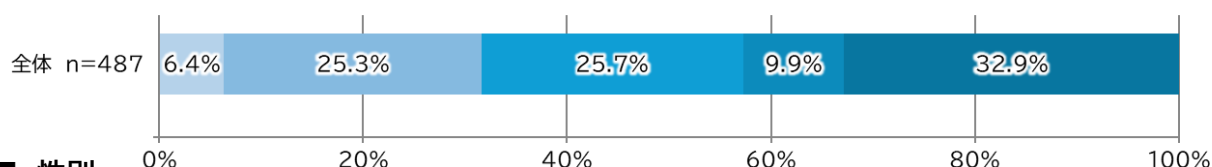
(○は1つ)

- 全体では、「反映されている」が6.4%、「やや反映されている」が25.3%となっており、「反映されている」と「やや反映されている」をあわせた割合は31.7%となっている。
- 性別でみると、「あまり反映されていない」は男性が28.0%で、女性の23.4%よりも4.6ポイント高くなっている。また、「反映されていない」も男性が女性よりも高くなっており、「反映されていない」と「あまり反映されていない」をあわせた割合は、男性が38.3%で、女性の32.8%よりも5.5ポイント高くなっている。
- 年齢層別でみると、「反映されている」と「やや反映されている」をあわせた割合は、16歳から39歳が36.1%で最も高く、次いで60歳から84歳が33.3%、40歳から59歳が25.4%となっている。

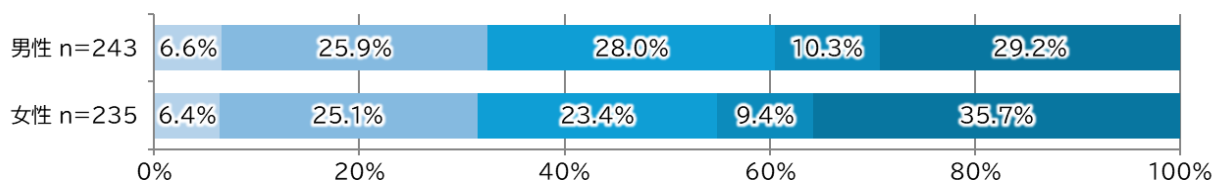
図表17 意見や要望の反映

■ 全体

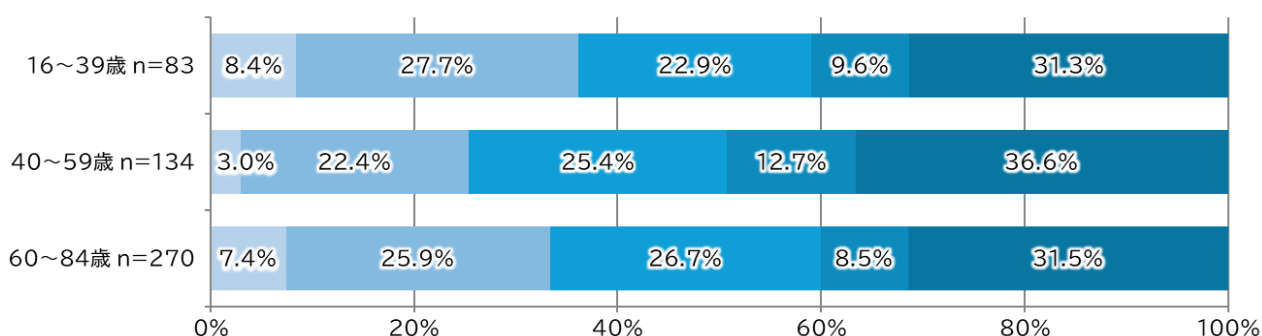
■ 反映されている ■ やや反映されている ■ あまり反映されていない ■ 反映されていない ■ どちらともいえない・わからない



■ 性別



■ 年齢層別



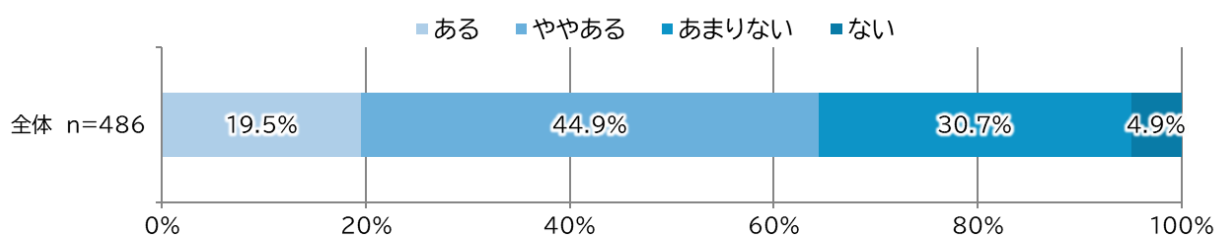
2.4.2 市政に対する関心

あなたは、市政に対して関心はありますか。（○は1つ）

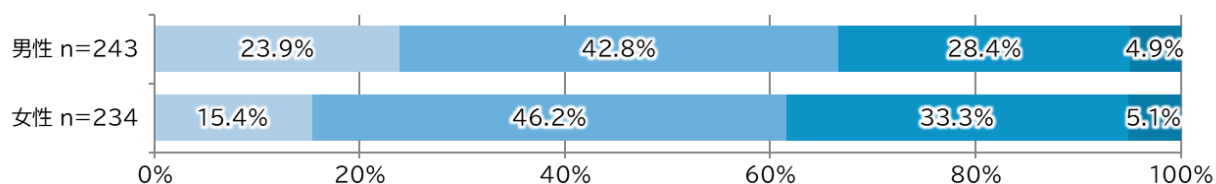
- 全体では、「ある」が19.5%、「ややある」が44.9%となっており、「ある」と「ややある」をあわせた割合は、64.4%となっている。
- 性別でみると、「ある」と「ややある」をあわせた割合は、男性が66.7%となっており、女性の61.6%よりも5.1ポイント高くなっている。一方、「ない」と回答した割合に大きな差はないものの、「あまりない」と回答した割合は、女性が33.3%となっており、男性の28.4%よりも4.9ポイント高くなっている。
- 年齢層別でみると、「ある」と「ややある」をあわせた割合は、16歳から39歳が71.1%、40歳から59歳が64.2%、60歳から84歳が62.5%となっており、年齢層が低いほど関心が高い傾向にある。

図表18 市政に対する関心

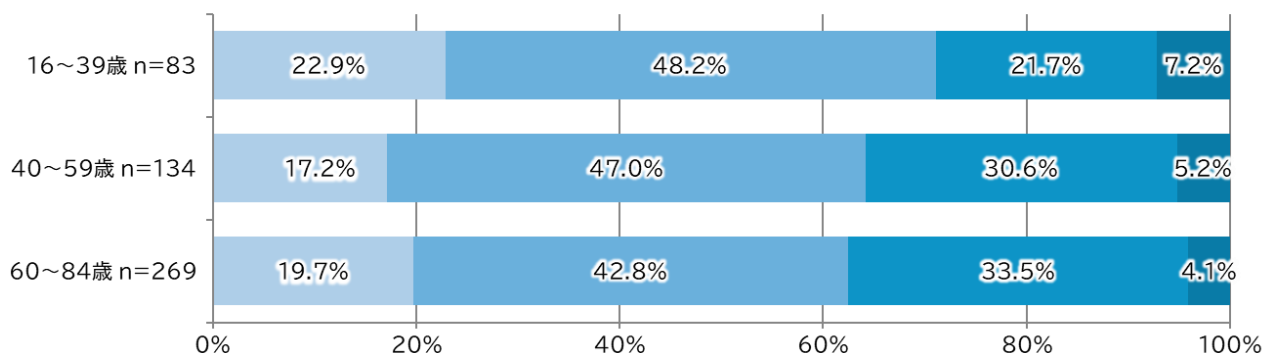
■ 全体



■ 性別



■ 年齢層別

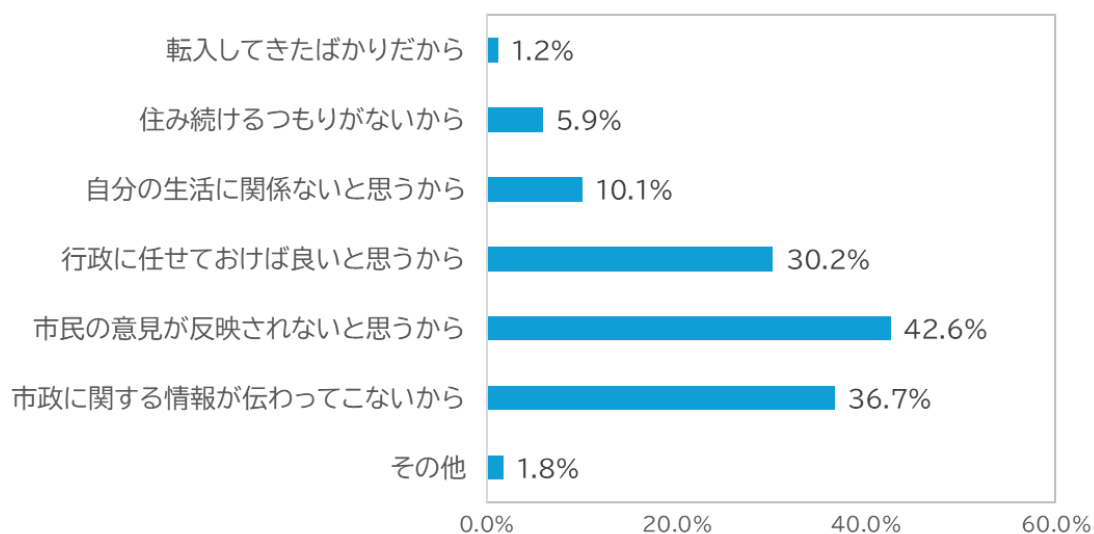


前の問で「あまりない」「ない」を選択した方にお聞きします。市政に対して関心がない理由は何ですか。（○はいくつでも）

- 全体では、「市民の意見が反映されないと思うから」が 42.6%で最も高く、次いで「市政に関する情報が伝わってこないから」が 36.7%、「行政に任せておけば良いと思うから」が 30.2%と続いている。
- 性別でみると、男女ともに「市民の意見が反映されないと思うから」が最も高くなっている。「自分の生活に関係ないと思うから」と回答した割合は、男性が 13.9%で女性の 6.8%よりも 7.1 ポイント高くなっている。
- 年齢層別でみると、「市民の意見が反映されないと思うから」と回答した割合は 60 歳から 84 歳が 44.3%で最も高くなっている。16 歳から 39 歳と 40 歳から 59 歳では「市政に関する情報が伝わってこないから」と回答した割合が最も高く、それぞれ 50.0%、47.9%となっている。

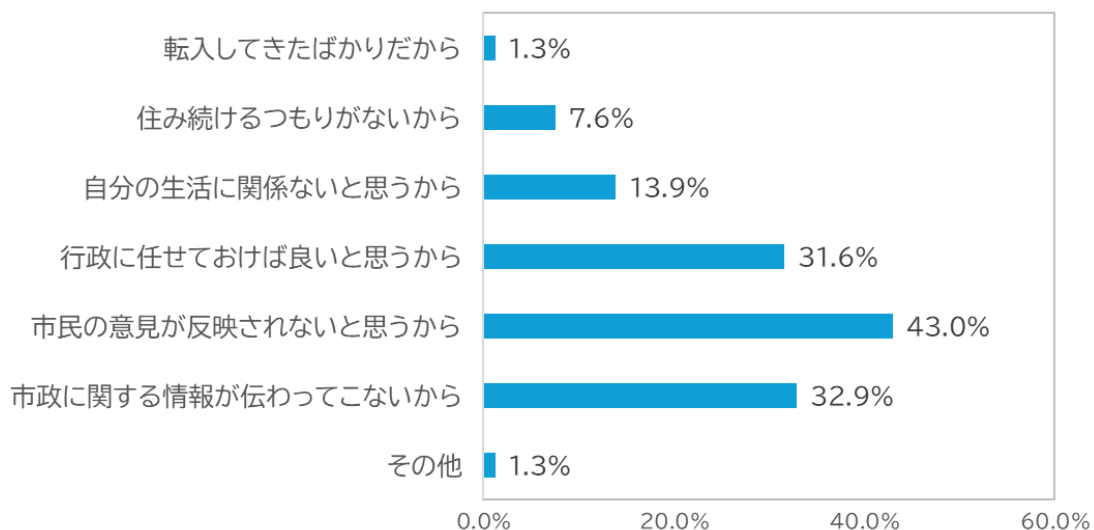
図表19 市政に対して関心がない理由

■ 全体(n=169)

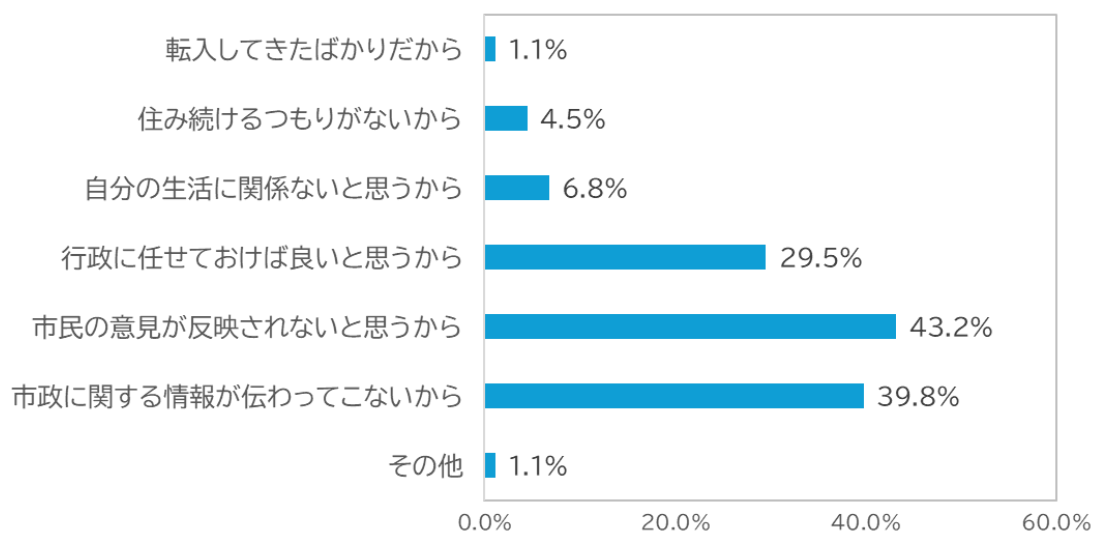


■ 性別

【男性 n=79】

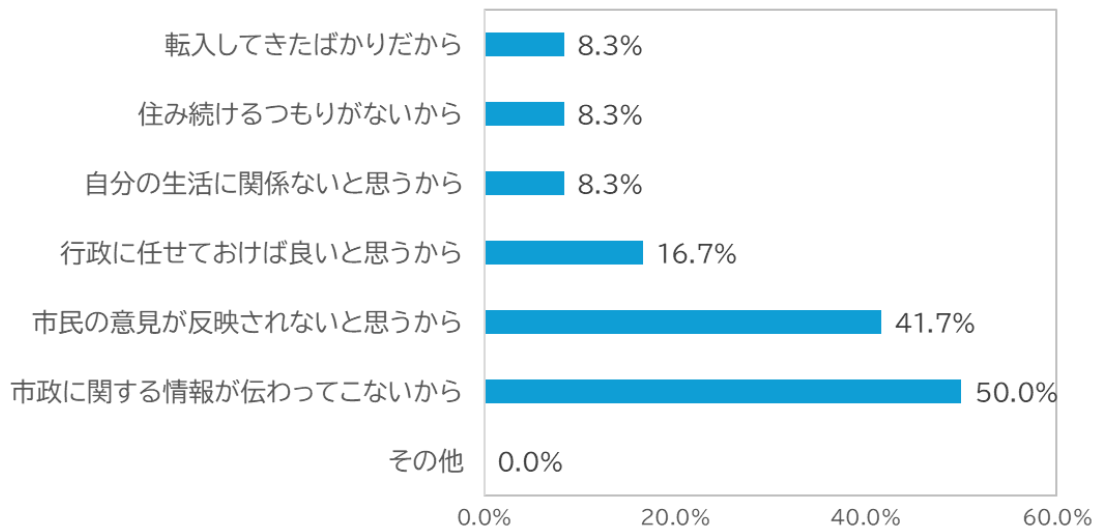


【女性 n=88】

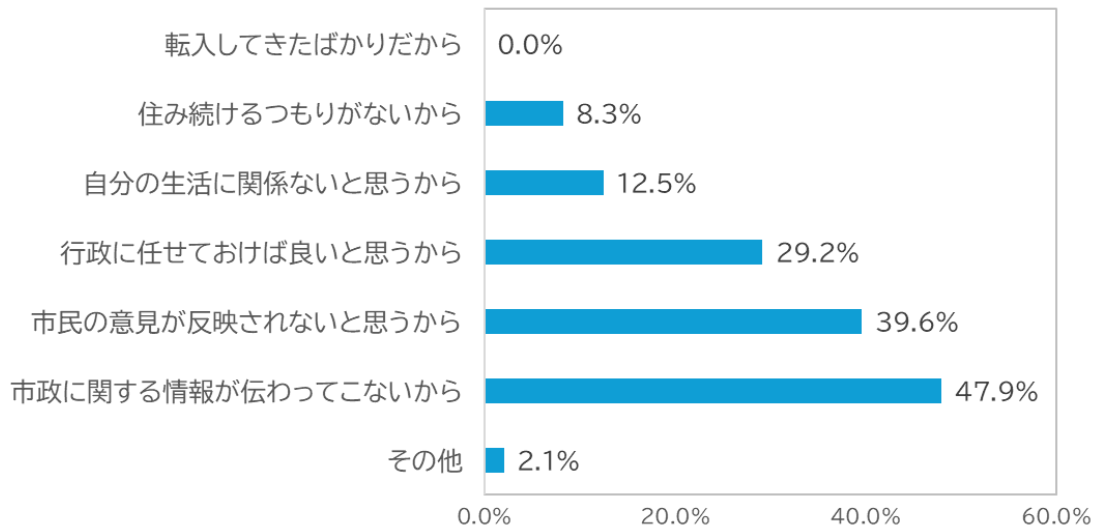


■ 年齢層別

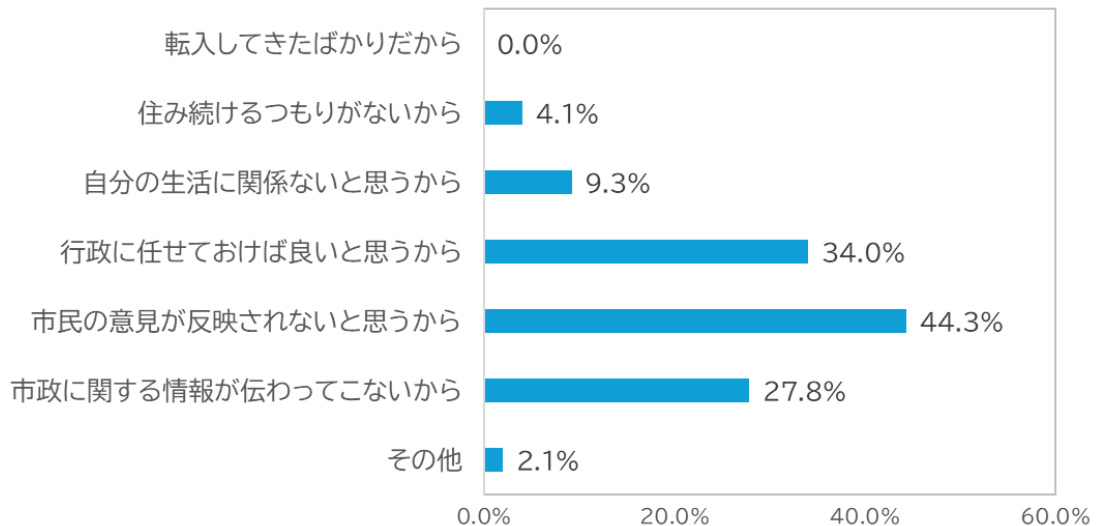
[16歳～39歳 n=24]



[40歳～59歳 n=48]



[60歳～84歳 n=97]



2.5 「市の情報発信や行政サービスのデジタル化」について

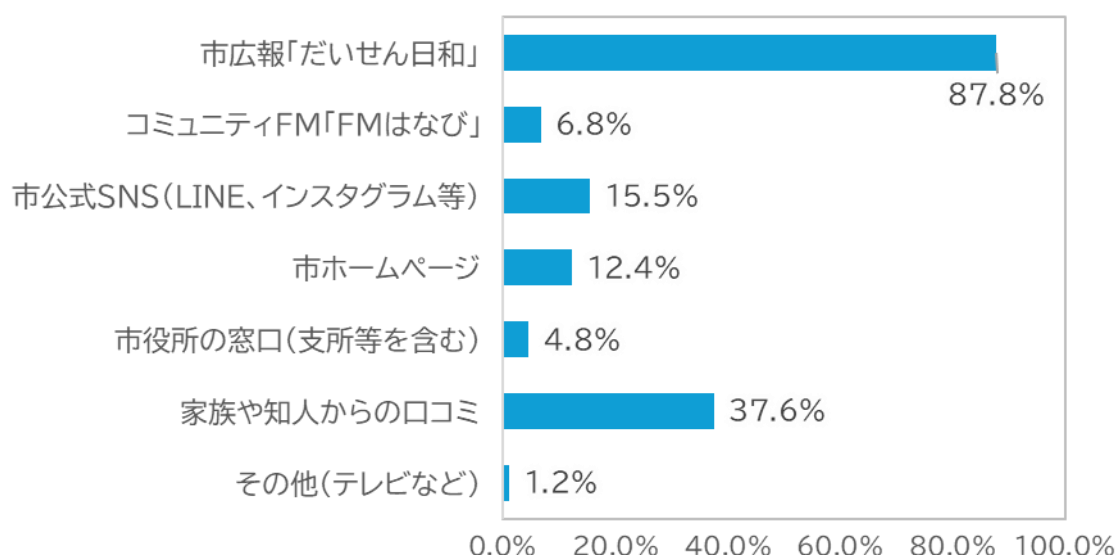
2.5.1 市政情報の入手手段

あなたは、市の情報をどのようにして入手していますか。（〇は2つまで）

- 全体では、「市広報『だいせん日和』」の割合が 87.8%で最も高く、次いで「家族や知人からの口コミ」が 37.6%、「市公式SNS（LINE、Instagram等）」が 15.5%となっている。
- 年代別でみると、全ての年代で「市広報『だいせん日和』」が最も高く 40代、70代、80代では9割を超えている。「家族や知人からの口コミ」は、70代で 47.3%と最も高く、次いで 30代で 41.0%、10代で 38.9%となっており、若年層や高齢層での割合が高くなっている。20代から 60代は「市ホームページ」や「市公式SNS（LINE、Instagram等）」の割合も高く、30代、50代、60代では「市公式SNS（LINE、Instagram等）」の割合が「市ホームページ」を上回っている。

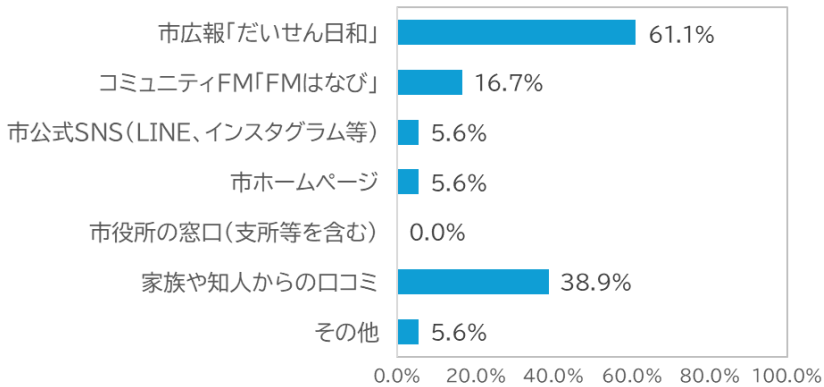
図表 20 「市政情報の入手手段」

■ 全体(n=484)

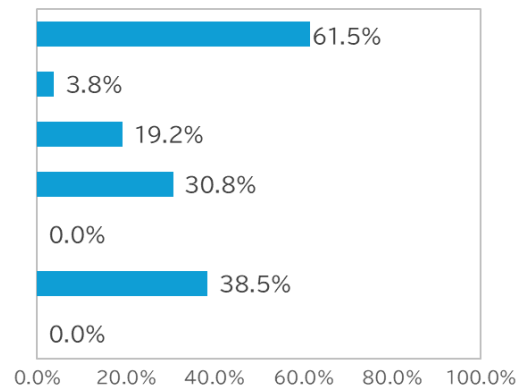


■ 年代別

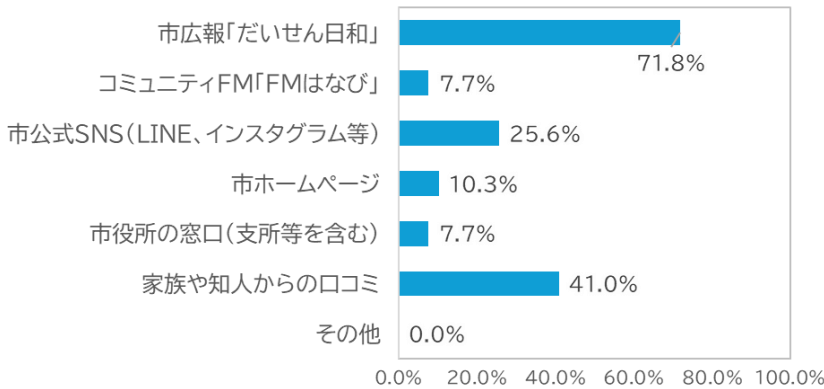
■ 10代



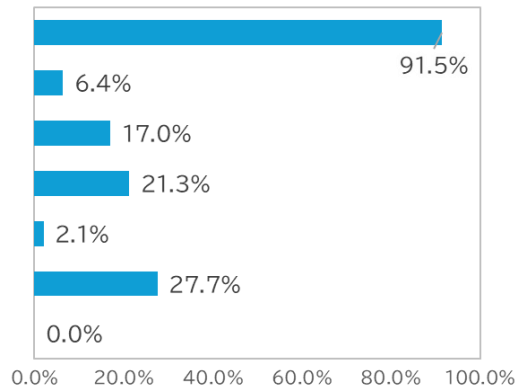
■ 20代



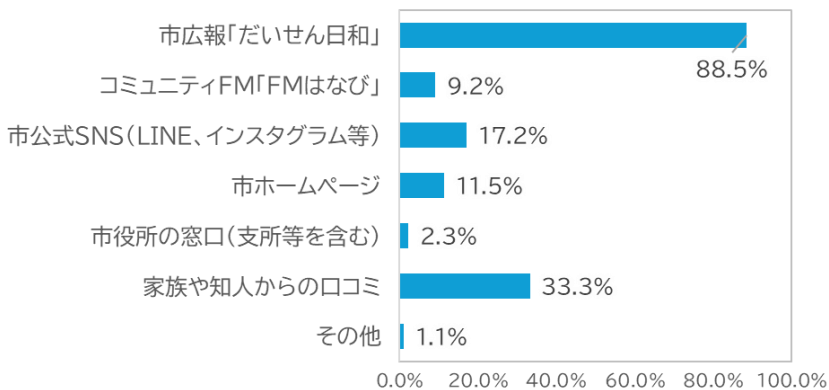
■ 30代



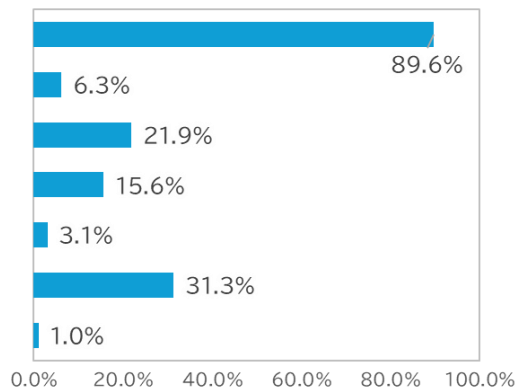
■ 40代



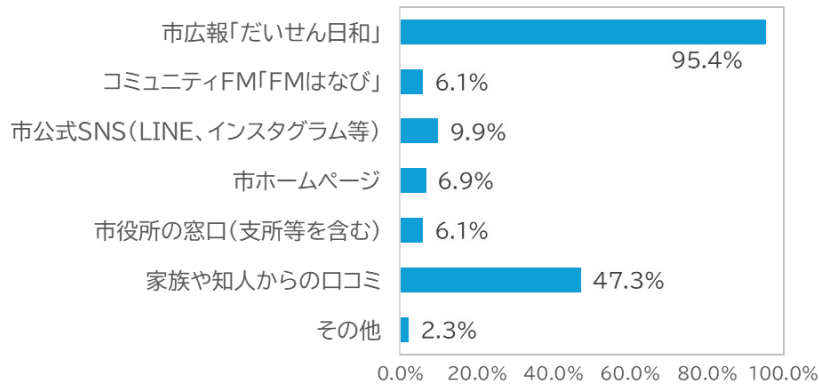
■ 50代



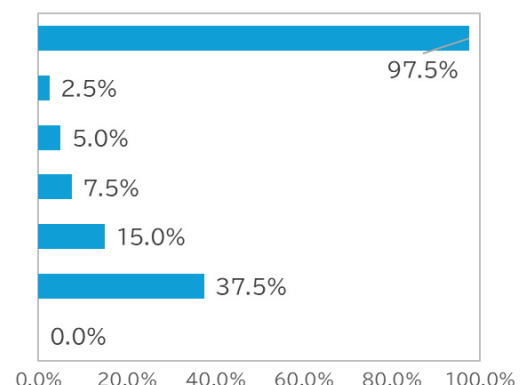
■ 60代



■ 70代



■ 80代



2.5.2 市政情報の入手しやすさ

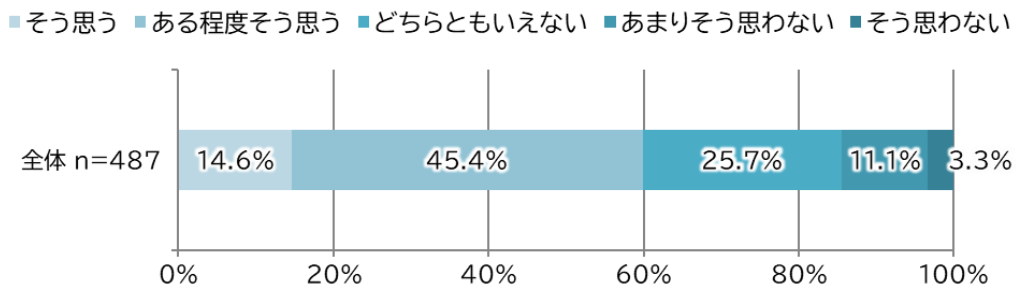
あなたは、前の問の情報入手手段は利用しやすい（情報が入手しやすい）と思いますか。
（○は1つ）

○ 全体では、「そう思う（入手しやすい）」が14.6%、「ある程度そう思う（ある程度入手しやすい）」が45.4%となっており、「そう思う」と「ある程度そう思う」をあわせた割合は60.0%となっている。

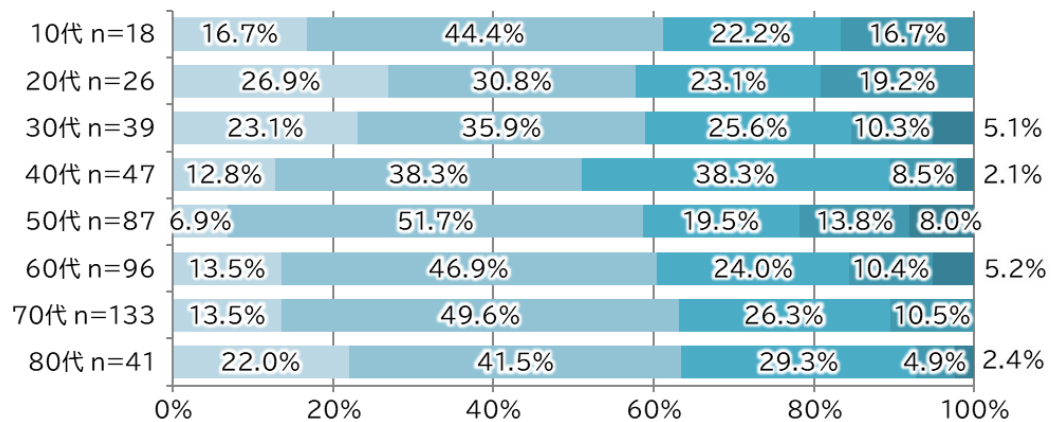
○ 年代別でみると、「そう思う」と「ある程度そう思う」をあわせた割合が最も高いのは80代で63.5%となっており、最も低い40代の51.1%とは、12.4ポイントの差がある。
「あまりそう思わない（あまり入手しやすいとは思わない）」と「そう思わない（入手しやすいとは思わない）」をあわせた割合が最も高いのは50代で21.8%となっており、最も低い80代の7.3%とは、14.5ポイントの差となっている。

図表 21 市政情報の入手しやすさ

■ 全体(n=487)



■ 年代別



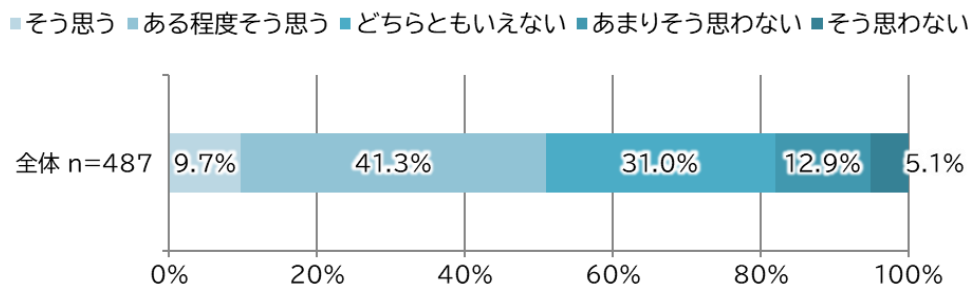
2.5.3 行政サービスの利用しやすさ

あなたは、市のサービス（全般）は利用しやすいと思いますか。（○は1つ）

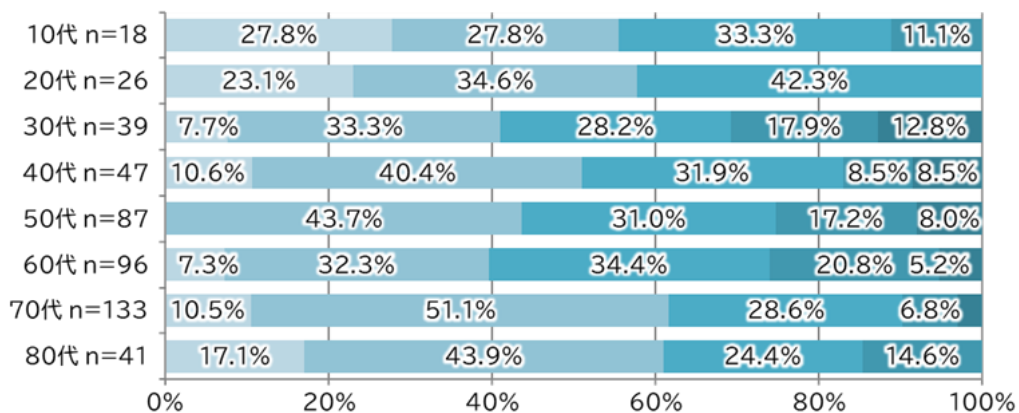
- 全体では、「そう思う（利用しやすい）」が9.7%、「ある程度そう思う（ある程度利用しやすい）」が41.3%となっており、「そう思う」と「ある程度そう思う」をあわせた割合は51.0%となっている。
- 年代別でみると、「そう思う」と「ある程度そう思う」をあわせた割合が、70代で61.6%と最も高くなっており、最も低い60代の39.6%とは22.0ポイントの差がある。一方、「あまりそう思わない（あまり利用しやすいとは思わない）」と「そう思わない（利用しやすいとは思わない）」をあわせた割合が、最も高いのは30代で30.7%となっている。

図表 22 市のサービスの利用しやすさ

■ 全体(n=487)



■ 年代別



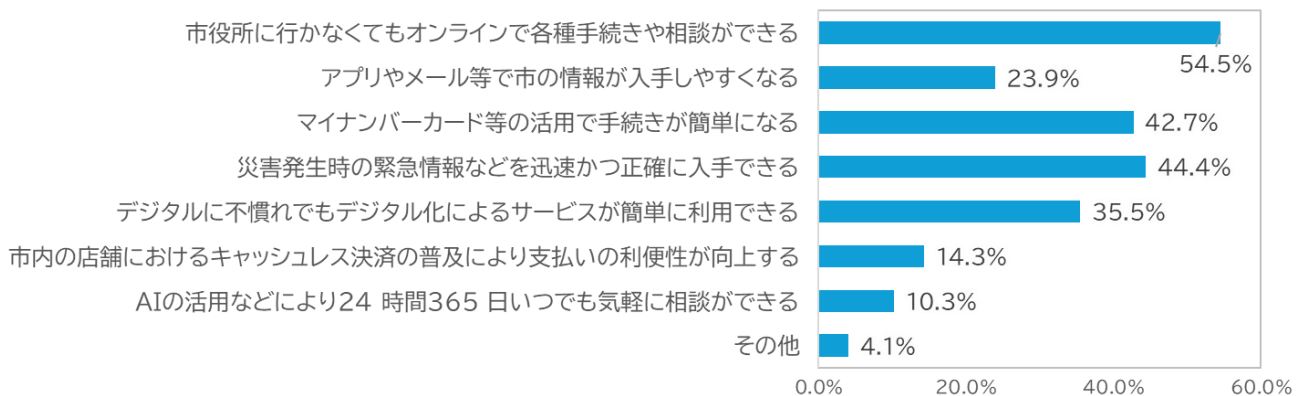
2.5.4 行政サービスのデジタル化に期待すること

あなたは、今後行政サービスや地域のデジタル化が進むことにより、どのようなサービスが受けられることを期待しますか。（〇は3つまで）

- 全体では、「市役所に行かなくてもオンラインで各種手続きや相談ができる」（以下「オンライン手続き」）の割合が54.5%で最も高く、次いで「災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる」（以下「緊急情報」）が44.4%、「マイナンバーカード等の活用で手続きが簡単になる」（以下「マイナンバー」）が42.7%、「デジタルに不慣れでもデジタル化によるサービスが簡単に利用できる」が35.5%となっている。
- 年代別にみると、50代以下は「オンライン手続き」の割合が最も高くなっており、20代と30代では8割を超えている。一方、60代以上では「緊急情報」が最も高くなっており、いずれも5割を超えている。また、20代から70代では「マイナンバー」と回答した割合が高くなっており、4割を超えている。

図表 23 「行政サービスのデジタル化に期待すること」

■ 全体(n=468)

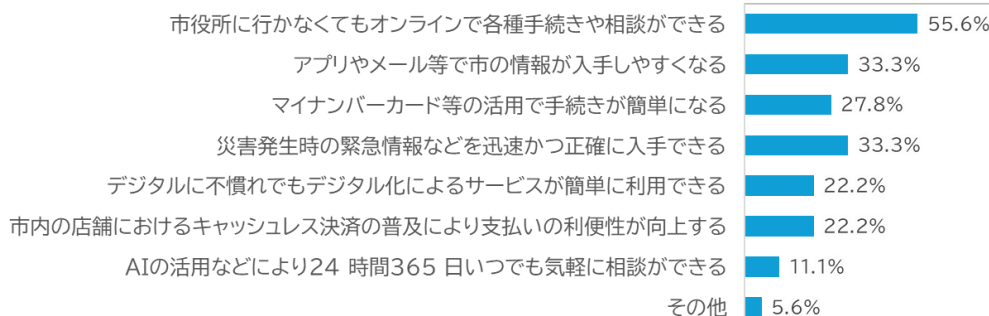


■ その他の回答

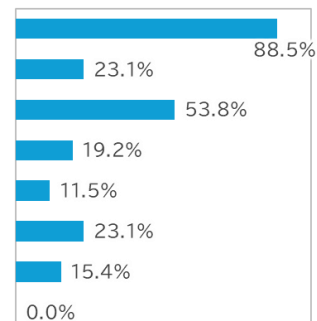
- ・ 年寄りだからあまり興味がない。(80代/男性/無職)
- ・ デジタル化についていけない人たちにも寄り添ってほしい。(60代/女性/無職)
- ・ オンライン、アプリ、メール、高齢のため分からない。
(70代/女性/パート・アルバイト・契約(派遣)社員)
- ・ サービスを受ける側のデジタル化対応が進んでいない。(70代/男性/正規社員・職員)
- ・ デジタル化が進んでもついていけないか心配。(60代/女性/パート・アルバイト・契約(派遣)社員)
- ・ 処理するのは人だから、期待しない。(10代/学生(高校生含む))
- ・ スマホに不慣れな高齢者は、「広報紙」や「FM はなび」が頼り。(70代/女性/無職)

■ 年代別

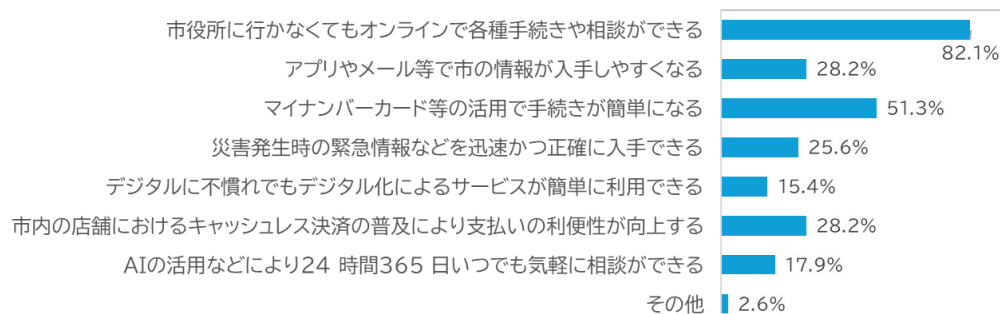
■ 10代



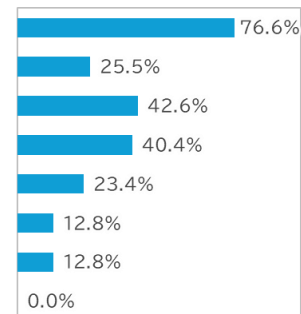
■ 20代



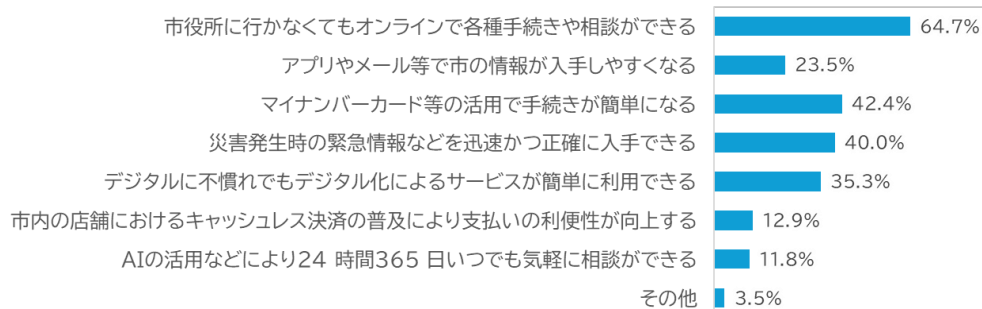
■ 30代



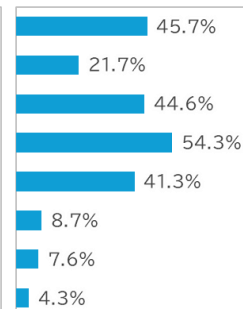
■ 40代



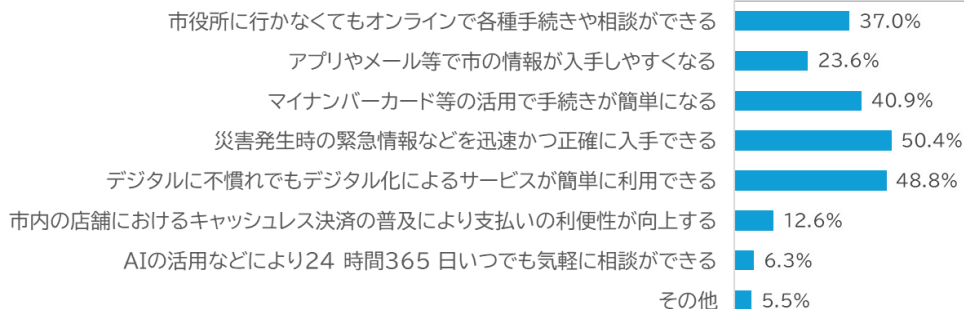
■ 50代



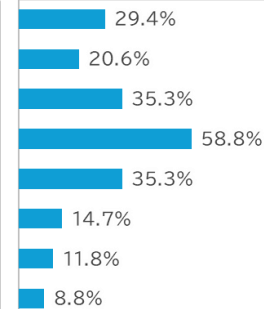
■ 60代



■ 70代



■ 80代



2.6 「施策の満足度と重要度」について

あなたは、次の設問項目について、大仙市の取組にどのくらい「満足」していますか。
また、今後、大仙市のまちづくりにとってどのくらい「重要」であるとお考えですか。
設問項目ごとに「満足度」と「重要度」について、あなたの考えに一番近い番号を選んで、○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

【満足度】 5:満足 4:まあ満足 3:どちらともいえない 2:やや不満 1:不満

【重要度】 5:重要 4:やや重要 3:どちらともいえない 2:あまり重要ではない 1:重要ではない

第3次大仙市総合計画の施策に基づく33項目について、「満足度」及び「重要度」を5段階で評価し、各項目の平均値を基に上位から下位までを表している。

2.6.1 満足の度合い

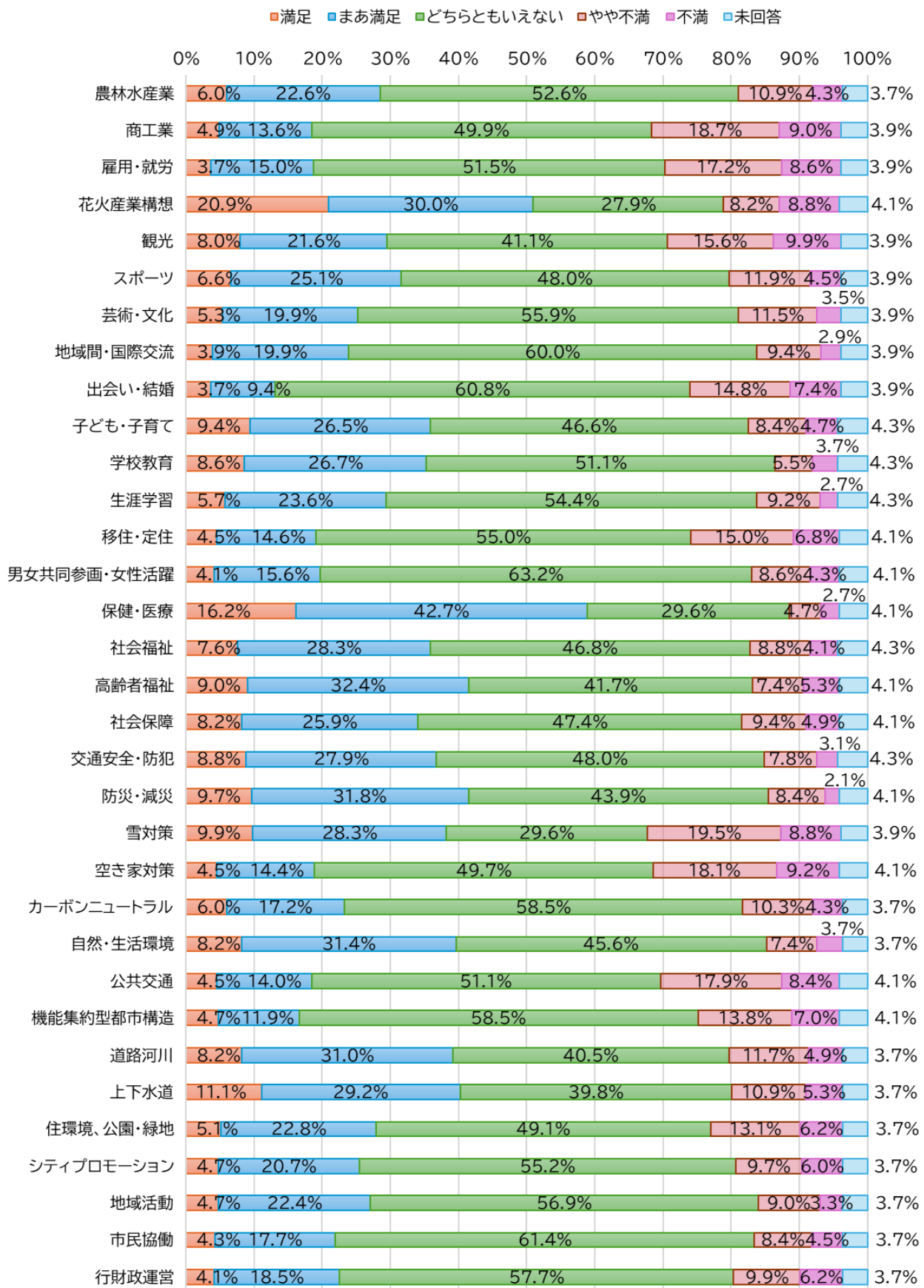
- 満足度の高い項目は、上位から「保健・医療」が 3.68、「花火産業構想」が 3.48、「防災・減災」が 3.40、「自然・生活環境」「高齢者福祉」がそれぞれ 3.34、「交通安全・防犯」が 3.33 と続いている。
- 一方、満足度の低い項目は、下位から「商工業」「空き家対策」がそれぞれ 2.86、「出会い・結婚」「雇用・就労」がそれぞれ 2.87、「公共交通」が 2.88、「機能集約型都市構造」が 2.93 となっている。
- 今年度は、第3次大仙市総合計画の施策に基づいた設問項目に変更しているため、昨年度と単純比較はできないが、上位と下位に位置している分野や項目の顔ぶれに大きな変化は見られなかった。

図表 24 満足度の一覧

評価	項目	満足度	項目説明
1	保健・医療	3.68	特定健診・がん検診などの各種健(検)診の受診促進や、心と身体の健康づくりの推進を図るとともに、予防接種の推進や地域医療体制の充実に向けた取組を進めています。
2	花火産業構想	3.48	「大曲の花火」の国内外での認知度向上に加え、そのブランド力を戦略的に活用し、観光・文化・教育などと連携して地域の活性化につなげるとともに、花火伝統文化の継承に取り組んでいます。
3	防災・減災	3.40	市民の防災意識の向上や自主防災組織の活動促進、消防団員の確保など、地域防災力や消防体制・機能の強化を図り、市民・地域・行政などが一体となった災害に強いまちづくりに取り組んでいます。
4	自然・生活環境	3.34	豊かな自然や生態系の保護、ごみ排出環境の整備、不法投棄や公害の防止など、自然環境の保全と生活環境の整備を進めています。
4	高齢者福祉	3.34	地域包括ケアシステムの推進や、認知症や介護予防の充実、高齢者生活支援サービスの充実などに取り組んでいます。
6	交通安全・防犯	3.33	関係団体と連携した啓発活動などにより、交通安全や防犯の意識向上を図るとともに、消費相談窓口の強化など、事故や犯罪被害、消費者トラブルの未然防止に向けた取組を進めています。
7	学校教育	3.32	グローバル化やデジタル化に対応しながら、子どもの学びを最優先にした教育環境の充実を図るとともに、キャリア教育やふるさと教育など、地域との交流による多様な学びを通じて、生きる力を育み、地域社会で活躍できる人材の育成に取り組んでいます。
8	上下水道	3.31	人口減少の進行に伴う水需要の減少を見据えながら、老朽化が進む施設の適切な維持管理や計画的な更新、統合等を進めるなど、効率的な運営体制のもと、上下水道サービスの安定供給に取り組んでいます。
9	子ども・子育て	3.29	不妊治療への支援や産前・産後のサポート、医療費・保育料・給食費の無償化など経済的負担の軽減、保護者の多様な就労形態に応じた保育サービスの充実や放課後児童クラブの運営など、切れ目のない支援により安心して子育てできる環境づくりを進めています。
10	社会福祉	3.28	様々な困難を抱える子どもや若者、障がい者など、地域住民の複雑・複合化した支援ニーズに適切に対応し、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう社会福祉の充実に取り組んでいます。
11	道路河川	3.27	道路、橋りょう等の計画的な維持管理や長寿命化などにより、安全・安心で快適な道路交通網を整備するとともに、護岸の補修などにより河川機能の維持・強化を図り、水害対策に取り組んでいます。
12	社会保障	3.24	国民健康保険、後期高齢者医療制度などの安定的な運営を図るとともに、生活困窮者の生活の安定と自立への支援を行うなど、安心した生活を支える公的保険・医療制度の整備を進めています。
13	生涯学習	3.21	家庭や地域、学校等と連携・協働しながら、地域の特性を活かした多様な学びの機会を創出するほか、公民館等の社会教育施設の整備を進めるなど、生涯を通じて学び、活かせる環境づくりに取り組んでいます。
14	スポーツ	3.18	屋内外のスポーツ施設の整備や関係団体への支援などにより、誰もがスポーツに参画できる環境づくりを進めるとともに、スポーツイベントや大会の開催などスポーツを通じた地域活性化に取り組んでいます。
15	地域活動	3.17	自治会活動への継続した支援や地域活動拠点の整備、地域運営組織の育成と活動へのサポートなど、住民主体の地域づくり活動の促進に向けた取組を進めています。
16	農林水産業	3.16	農畜産物のブランド化や担い手の確保・育成、生産性の向上に向けた生産基盤整備を進めているほか、森林の好循環利用の促進や鳥獣被害対策の強化、鮭・ふ化放流文化の継承などに取り組んでいます。
17	地域間・国際交流	3.13	国内外の友好交流都市等と相互の発展に向け、青少年交流や観光・文化・教育交流など、多様な交流を行っています。
17	芸術・文化	3.13	関係団体の芸術文化活動への支援や芸術鑑賞機会の創出を図るとともに、文化財の適切な保存・整備と活用などに取り組んでいます。
19	雪対策	3.11	道路の除排雪体制の強化を図るとともに、高齢者世帯等の除排雪に取り組む自治会等への支援など、地域等との協働による雪対策に取り組んでいます。
19	カーボンニュートラル	3.11	家庭や事業所における太陽光発電設備の導入支援などを通じて、地域全体で脱炭素化を推進するとともに、ごみの減量化とリサイクルの推進など循環型社会の形成に向けた取組を進めています。
21	市民協働・共創	3.09	市民による市政評価やSNS等を活用した双方向の情報共有や、市民のまちづくりへの参画機会の創出に加え、公民連携や広域連携の推進など、協働・共創のまちづくりを進めています。
21	シティプロモーション	3.09	魅力的な地域資源の掘り起こしや、広報紙・市公式SNSなどを通じた情報発信の強化に加え、市民一人ひとりが誇りを持って地域の魅力を発信できる環境づくりに取り組んでいます。
23	住環境、公園・緑地	3.08	住宅リフォーム支援の充実や市営住宅の適切な維持管理、魅力ある公園・緑地づくりなど、良好で快適な住生活環境づくりを進めています。
24	男女共同参画・女性活躍	3.07	固定的性別役割分担意識や無意識の偏見の解消に向けた、男女共同参画や女性活躍の推進に関する講座・セミナーの開催など、誰もがいきいきと活躍できるまちづくりを進めています。
25	行財政運営	3.05	デジタル技術の活用や組織機構の強化、働き方改革の推進などにより、業務効率化を図りながら、利便性や質の高い行政サービスを提供するほか、統廃合等を含めた公共施設の適正配置、財政健全化など、効率的かつ効果的で持続可能な行財政運営を進めています。
26	観光	3.02	本市の特色ある花火・歴史・文化・食・自然等の地域資源を組み合わせた観光コンテンツの創出や観光施設の魅力向上などに取り組んでいます。
27	移住・定住	2.95	本市の強みや魅力、仕事などの情報を市内外に広く発信するとともに、移住の検討段階から実際の移住までにおける各種支援制度やサポートの充実を図るなど、移住・定住の促進に向けた取組を進めています。
28	機能集約型都市構造	2.93	大仙市都市計画マスタープラン等に基づき、都市機能の集約と居住の誘導を促し、各地域の拠点を結ぶ交通ネットワークを構築するなど、持続可能で利便性が高いまちづくりを進めています。
29	公共交通	2.88	デジタル技術の活用や地域主体による移動支援の取組などを推進しながら、地域の実情やニーズに応じて、安心して快適に利用できる持続可能な地域公共交通ネットワークの形成に取り組んでいます。
30	雇用・就労	2.87	インターンシップや企業説明会の開催、求職者の資格取得や企業の人材獲得への支援など、若者やAターン希望者の市内就労の促進に向けた取組を進めています。
30	出会い・結婚	2.87	時代の変化にあわせた出会いの機会の創出と支援のほか、結婚に伴う住居取得などの経済的な支援も含めて、地域全体で結婚を希望する方を応援し、サポートする環境づくりを進めています。
32	空き家対策	2.86	空き家の発生を抑制するため、家屋の所有者や相続人の理解を促進するとともに、解体経費への補助や空き家バンク制度の活用を促進するなど、空き家の適正管理と活用の促進に向けた取組を進めています。
32	商工業	2.86	商店街等の活性化に向けた取組や起業への支援のほか、企業誘致の強化や地元企業の経営基盤の強化に向けた支援などに取り組んでいます。

2.6.2 満足度における選択肢別の回答割合

図表25 満足度における選択肢別の回答割合



2.6.3 満足度における属性別比較

○ 性別でみると、上位・下位項目とも、全体とほぼ同じ項目が挙げられており、女性の上位項目に「学校教育」が挙げられている。また、男女間で満足度に差が生じており、総じて女性の満足度が高い傾向にある。

○ 年代別でみると、上位項目については10代を除く全ての年代で「保健・医療」が挙げられており、40代以上では1位となっている。また、70代を除く全ての年代で「花火産業構想」、20代・30代、50代から80代で「防災・減災」、10代・40代から60代・80代で「自然・生活環境」が挙げられている。

下位項目については、80代を除く全ての年代で「公共交通」が挙げられているほか、10代・40代以外で「出会い・結婚」、30代・50代以外で「空き家対策」、10代・80代以外で「商工業」が挙げられている。

○ 地域別でみると、上位項目については、神岡地域を除く全ての地域で「保健・医療」が挙げられており、中仙・太田地域以外で「花火産業構想」、大曲・中仙・協和・仙北・太田地域で「防災・減災」が挙げられている。

下位項目については、全ての地域で「空き家対策」が挙げられており、仙北地域以外で「公共交通」、神岡・南外・太田地域以外で「商工業」、西仙北・中仙・南外地域以外で「出会い・結婚」、西仙北・仙北・太田地域以外で「機能集約型都市構造」が挙げられている。

■ 性別

■男性

(上位)

評価	項目	満足度
1	保健・医療	3.63
2	花火産業構想	3.39
3	防災・減災	3.38
4	高齢者福祉	3.35
5	交通安全・防犯	3.34

(下位)

評価	項目	満足度
29	空き家対策	2.85
30	雇用・就労	2.84
	商工業	2.84
32	公共交通	2.83
33	出会い・結婚	2.80

■女性

(上位)

評価	項目	満足度
1	保健・医療	3.75
2	花火産業構想	3.56
3	防災・減災	3.43
4	自然・生活環境	3.41
5	学校教育	3.38

(下位)

評価	項目	満足度
29	出会い・結婚	2.95
30	公共交通	2.92
	雇用・就労	2.92
32	商工業	2.90
33	空き家対策	2.88

■ 年代別

■10代 (上位)

評価	項目	満足度
1	道路河川	4.17
2	花火産業構想	4.11
	自然・生活環境	4.11
	観光	4.11
5	社会福祉	4.06

■20代 (上位)

評価	項目	満足度
1	花火産業構想	4.12
2	交通安全・防犯	4.04
3	防災・減災	3.92
4	保健・医療	3.85
	上下水道	3.85

■30代 (上位)

評価	項目	満足度
1	花火産業構想	3.54
2	保健・医療	3.44
3	上下水道	3.36
4	学校教育	3.33
5	防災・減災	3.31
	子ども・子育て	3.31

■40代 (上位)

評価	項目	満足度
1	保健・医療	3.51
2	花火産業構想	3.32
	自然・生活環境	3.32
4	学校教育	3.28
	社会福祉	3.28

■50代 (上位)

評価	項目	満足度
1	保健・医療	3.47
2	防災・減災	3.35
3	自然・生活環境	3.32
4	花火産業構想	3.29
5	道路河川	3.27

■60代 (上位)

評価	項目	満足度
1	保健・医療	3.66
2	花火産業構想	3.38
3	高齢者福祉	3.27
4	自然・生活環境	3.22
5	防災・減災	3.21

(下位)

評価	項目	満足度
28	シティプロモーション	3.44
	住環境、公園・緑地	3.44
	空き家対策	3.44
31	雇用・就労	3.39
32	カーボンニュートラル	3.28
	公共交通	3.28

(下位)

評価	項目	満足度
29	機能集約型都市構造	3.23
	公共交通	3.23
31	出会い・結婚	3.19
	空き家対策	3.19
33	商工業	3.12

(下位)

評価	項目	満足度
29	出会い・結婚	2.90
30	移住・定住	2.85
	公共交通	2.85
32	商工業	2.69
33	雇用・就労	2.64

(下位)

評価	項目	満足度
29	移住・定住	2.85
	雇用・就労	2.85
31	公共交通	2.81
	商工業	2.81
33	空き家対策	2.79

(下位)

評価	項目	満足度
28	観光	2.73
	出会い・結婚	2.73
30	雪対策	2.68
	公共交通	2.68
32	雇用・就労	2.65
33	商工業	2.56

(下位)

評価	項目	満足度
28	住環境、公園・緑地	2.86
	商工業	2.86
30	機能集約型都市構造	2.81
31	公共交通	2.78
32	出会い・結婚	2.74
33	空き家対策	2.71

■70代 (上位)

評価	項目	満足度
1	保健・医療	3.84
2	高齢者福祉	3.54
3	防災・減災	3.51
4	交通安全・防犯	3.50
5	上下水道	3.44

■80代 (上位)

評価	項目	満足度
1	保健・医療	3.88
2	花火産業構想	3.78
3	上下水道	3.43
4	自然・生活環境	3.40
5	防災・減災	3.32

(下位)

評価	項目	満足度
28	公共交通	2.96
	機能集約型都市構造	2.96
30	空き家対策	2.91
	雇用・就労	2.91
32	商工業	2.85
	出会い・結婚	2.85

(下位)

評価	項目	満足度
29	男女共同参画・女性活躍	2.95
	移住・定住	2.95
31	雇用・就労	2.94
32	出会い・結婚	2.86
33	空き家対策	2.82

■ 地域別

■大曲地域 (上位)

評価	項目	満足度
1	保健・医療	3.65
2	花火産業構想	3.50
3	自然・生活環境	3.39
	防災・減災	3.39
5	交通安全・防犯	3.33

(下位)

評価	項目	満足度
27	公共交通	2.93
	空き家対策	2.93
	移住・定住	2.93
30	機能集約型都市構造	2.92
31	雇用・就労	2.82
32	出会い・結婚	2.80
33	商工業	2.77

■神岡地域 (上位)

評価	項目	満足度
1	花火産業構想	3.77
2	上下水道	3.65
3	学校教育	3.58
	道路河川	3.58
	スポーツ	3.58

(下位)

評価	項目	満足度
29	移住・定住	3.00
	出会い・結婚	3.00
31	機能集約型都市構造	2.96
32	空き家対策	2.92
33	公共交通	2.73

■西仙北地域 (上位)

評価	項目	満足度
1	保健・医療	3.58
2	学校教育	3.48
3	高齢者福祉	3.44
4	社会福祉	3.40
5	花火産業構想	3.36

(下位)

評価	項目	満足度
29	観光	2.84
30	商工業	2.77
	住環境、公園・緑地	2.77
32	空き家対策	2.72
33	公共交通	2.65

■中仙地域 (上位)

評価	項目	満足度
1	保健・医療	3.86
2	交通安全・防犯	3.53
3	高齢者福祉	3.48
4	学校教育	3.43
	防災・減災	3.43

(下位)

評価	項目	満足度
29	機能集約型都市構造	2.96
30	観光	2.94
	公共交通	2.94
32	商工業	2.92
33	空き家対策	2.90

■協和地域 (上位)

評価	項目	満足度
1	保健・医療	3.89
2	上下水道	3.76
3	防災・減災	3.69
	雪対策	3.69
5	花火産業構想	3.68

■南外地域 (上位)

評価	項目	満足度
1	花火産業構想	3.58
2	保健・医療	3.26
	子ども・子育て	3.26
4	学校教育	3.21
5	高齢者福祉	3.16
	観光	3.16

■仙北地域 (上位)

評価	項目	満足度
1	保健・医療	3.80
2	花火産業構想	3.71
3	スポーツ	3.57
4	防災・減災	3.49
	自然・生活環境	3.49

■太田地域 (上位)

評価	項目	満足度
1	保健・医療	3.77
2	高齢者福祉	3.37
3	スポーツ	3.34
	交通安全・防犯	3.34
5	防災・減災	3.31

(下位)

評価	項目	満足度
28	公共交通	3.00
	商工業	3.00
30	空き家対策	2.94
31	出会い・結婚	2.92
	雇用・就労	2.92
33	機能集約型都市構造	2.89

(下位)

評価	項目	満足度
28	行財政運営	2.68
	公共交通	2.68
	機能集約型都市構造	2.68
31	雇用・就労	2.63
32	空き家対策	2.56
33	移住・定住	2.47

(下位)

評価	項目	満足度
29	芸術・文化	3.02
30	出会い・結婚	2.98
31	商工業	2.95
32	雇用・就労	2.93
33	空き家対策	2.83

(下位)

評価	項目	満足度
29	移住・定住	2.74
	雇用・就労	2.74
31	出会い・結婚	2.71
32	空き家対策	2.66
33	公共交通	2.60

2.6.4 重要の度合い

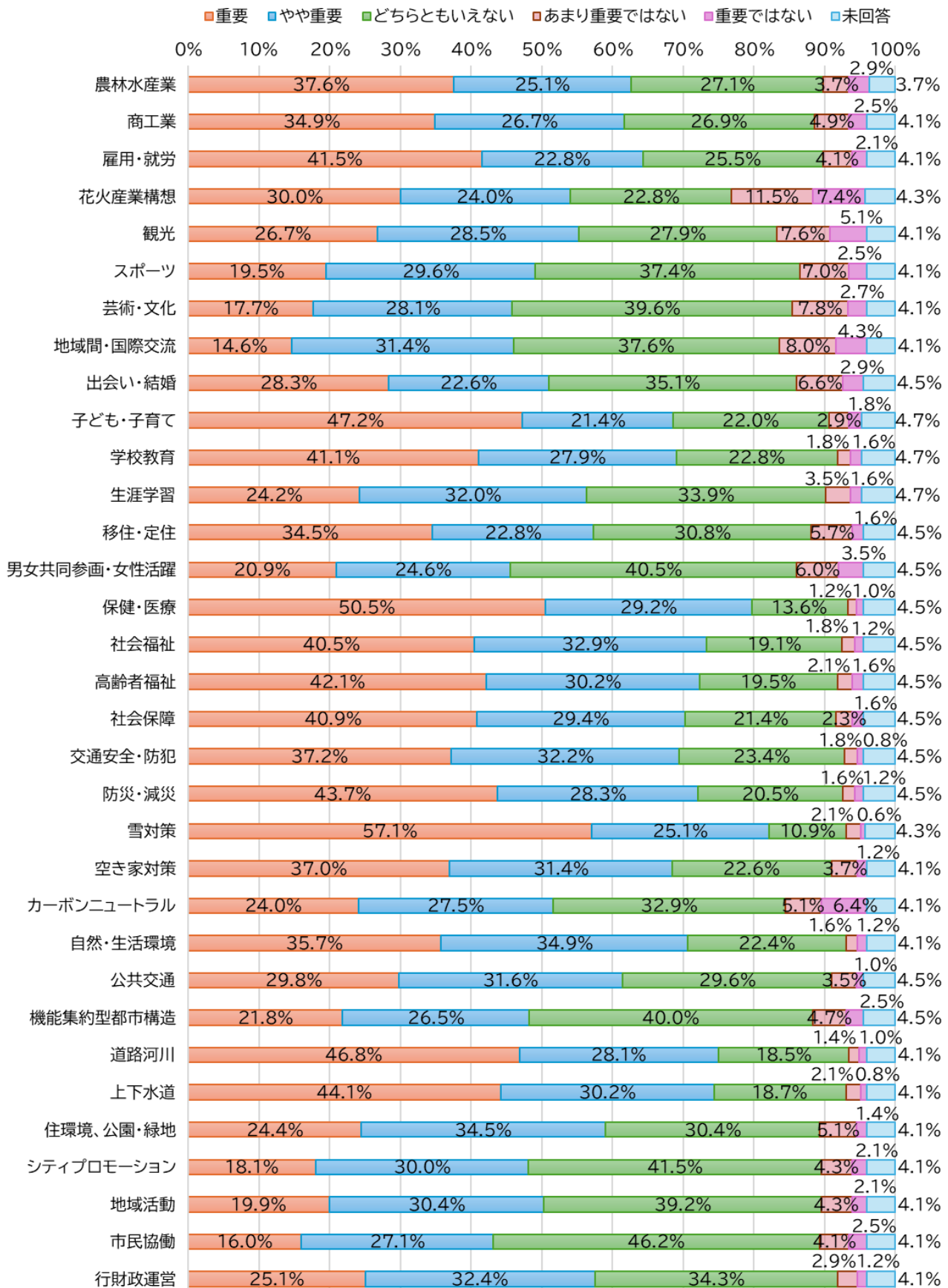
- 重要度の高い項目は、上位から「雪対策」が4.42、「保健・医療」が4.33、「道路河川」が4.23、「上下水道」が4.20、「防災・減災」が4.17と続いている。
- 一方、重要度の低い項目は、下位から「地域間・国際交流」が3.46、「市民協働・共創」と「芸術・文化」がそれぞれ3.52となっており、「男女共同参画・女性活躍」が3.56、「スポーツ」が3.59となっている。
- 満足度同様、昨年度と単純比較はできないが、上位項目の「雪対策」「防災・減災」以外は、上位と下位に位置している分野や項目の顔ぶれに大きな変化は見られなかった。

図表 26 重要度の一覧

評価	項目	重要度	項目説明
1	雪対策	4.42	道路の除排雪体制の強化を図るとともに、高齢者世帯等の除排雪に取り組む自治会等への支援など、地域等との協働による雪対策に取り組んでいます。
2	保健・医療	4.33	特定健診・がん検診などの各種健(検)診の受診促進や、心と身体の健康づくりの推進を図るとともに、予防接種の推進や地域医療体制の充実に向けた取組を進めています。
3	道路河川	4.23	道路、橋りょう等の計画的な維持管理や長寿命化などにより、安全・安心で快適な道路交通網を整備するとともに、護岸の補修などにより河川機能の維持・強化を図り、水害対策に取り組んでいます。
4	上下水道	4.20	人口減少の進行に伴う水需要の減少を見据えながら、老朽化が進む施設の適切な維持管理や計画的な更新、統合等を進めるなど、効率的な運営体制のもと、上下水道サービスの安定供給に取り組んでいます。
5	防災・減災	4.17	市民の防災意識の向上や自主防災組織の活動促進、消防団員の確保など、地域防災力や消防体制・機能の強化を図り、市民・地域・行政などが一体となった災害に強いまちづくりに取り組んでいます。
6	子ども・子育て	4.15	不妊治療への支援や産前・産後のサポート、医療費・保育料・給食費の無償化など経済的負担の軽減、保護者の多様な就労形態に応じた保育サービスの充実や放課後児童クラブの運営など、切れ目のない支援により安心して子育てできる環境づくりを進めています。
6	社会福祉	4.15	様々な困難を抱える子どもや若者、障がい者など、地域住民の複雑・複合化した支援ニーズに適切に対応し、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう社会福祉の充実に取り組んでいます。
8	高齢者福祉	4.14	地域包括ケアシステムの推進や、認知症や介護予防の充実、高齢者生活支援サービスの充実などに取り組んでいます。
9	社会保障	4.11	国民健康保険、後期高齢者医療制度などの安定的な運営を図るとともに、生活困窮者の生活の安定と自立への支援を行うなど、安心した生活を支える公的保険・医療制度の整備を進めています。
10	学校教育	4.10	グローバル化やデジタル化に対応しながら、子どもの学びを最優先にした教育環境の充実を図るとともに、キャリア教育やふるさと教育など、地域との交流による多様な学びを通じて、生きる力を育み、地域社会で活躍できる人材の育成に取り組んでいます。
11	交通安全・防犯	4.08	関係団体と連携した啓発活動などにより、交通安全や防犯の意識向上を図るとともに、消費相談窓口の強化など、事故や犯罪被害、消費者トラブルの未然防止に向けた取組を進めています。
12	自然・生活環境	4.07	豊かな自然や生態系の保護、ごみ排出環境の整備、不法投棄や公害の防止など、自然環境の保全と生活環境の整備を進めています。
13	空き家対策	4.03	空き家の発生を抑制するため、家屋の所有者や相続人の理解を促進するとともに、解体経費への補助や空き家バンク制度の活用を促進するなど、空き家の適正管理と活用の促進に向けた取組を進めています。
14	雇用・就労	4.02	インターンシップや企業説明会の開催、求職者の資格取得や企業の人材獲得への支援など、若者やAターン希望者の市内就労の促進に向けた取組を進めています。
15	農林水産業	3.94	農畜産物のブランド化や担い手の確保・育成、生産性の向上に向けた生産基盤整備を進めているほか、森林の好循環利用の促進や鳥獣被害対策の強化、鮭ふ化放流文化の継承などに取り組んでいます。
16	商工業	3.90	商店街等の活性化に向けた取組や起業への支援のほか、企業誘致の強化や地元企業の経営基盤の強化に向けた支援などに取り組んでいます。
16	公共交通	3.90	デジタル技術の活用や地域主体による移動支援の取組などを推進しながら、地域の実情やニーズに応じて、安心して快適に利用できる持続可能な地域公共交通ネットワークの形成に取り組んでいます。
18	移住・定住	3.87	本市の強みや魅力、仕事などの情報を市内外に広く発信するとともに、移住の検討段階から実際の移住までにおける各種支援制度やサポートの充実を図るなど、移住・定住の促進に向けた取組を進めています。
19	行財政運営	3.81	デジタル技術の活用や組織機構の強化、働き方改革の推進などにより、業務効率化を図りながら、利便性や質の高い行政サービスを提供するほか、統廃合等を含めた公共施設の適正配置、財政健全化など、効率的かつ効果的で持続可能な行財政運営を進めています。
20	住環境、公園・緑地	3.79	住宅リフォーム支援の充実や市営住宅の適切な維持管理、魅力ある公園・緑地づくりなど、良好で快適な住生活環境づくりを進めています。
21	生涯学習	3.77	家庭や地域、学校等と連携・協働しながら、地域の特性を活かした多様な学びの機会を創出するほか、公民館等の社会教育施設の整備を進めるなど、生涯を通じて学び、活かせる環境づくりに取り組んでいます。
22	出会い・結婚	3.70	時代の変化にあわせた出会いの機会の創出と支援のほか、結婚に伴う住居取得などの経済的な支援も含めて、地域全体で結婚を希望する方を応援し、サポートする環境づくりを進めています。
23	観光	3.67	本市の特色ある花火・歴史・文化・食・自然等の地域資源を組み合わせた観光コンテンツの創出や観光施設の魅力向上などに取り組んでいます。
24	地域活動	3.64	自治会活動への継続した支援や地域活動拠点の整備、地域運営組織の育成と活動へのサポートなど、住民主体の地域づくり活動の促進に向けた取組を進めています。
25	機能集約型都市構造	3.63	大仙市都市計画マスタープラン等に基づき、都市機能の集約と居住の誘導を促し、各地域の拠点を結ぶ交通ネットワークを構築するなど、持続可能で利便性が高いまちづくりを進めています。
26	花火産業構想	3.60	「大曲の花火」の国内外での認知度向上に加え、そのブランド力を戦略的に活用し、観光・文化・教育などと連携して地域の活性化につなげるとともに、花火伝統文化の継承に取り組んでいます。
26	カーボンニュートラル	3.60	家庭や事業所における太陽光発電設備の導入支援などを通じて、地域全体で脱炭素化を推進するとともに、ごみの減量化とリサイクルの推進など循環型社会の形成に向けた取組を進めています。
26	シティプロモーション	3.60	魅力的な地域資源の掘り起こしや、広報紙・市公式SNSなどを通じた情報発信の強化に加え、市民一人ひとりが誇りを持って地域の魅力を発信できる環境づくりに取り組んでいます。
29	スポーツ	3.59	屋内外のスポーツ施設の整備や関係団体への支援などにより、誰もがスポーツに参画できる環境づくりを進めるとともに、スポーツイベントや大会の開催などスポーツを通じた地域活性化に取り組んでいます。
30	男女共同参画・女性活躍	3.56	固定的性別役割分担意識や無意識の偏見の解消に向けた、男女共同参画や女性活躍の推進に関する講座・セミナーの開催など、誰もがいきいきと活躍できるまちづくりを進めています。
31	芸術・文化	3.52	関係団体の芸術文化活動への支援や芸術鑑賞機会の創出を図るとともに、文化財の適切な保存・整備と活用などに取り組んでいます。
31	市民協働・共創	3.52	市民による市政評価やSNS等を活用した双方向の情報共有や、市民のまちづくりへの参画機会の創出に加え、公民連携や広域連携の推進など、協働・共創のまちづくりを進めています。
33	地域間・国際交流	3.46	国内外の友好交流都市等と相互の発展に向け、青少年交流や観光・文化・教育交流など、多様な交流を行っています。

2.6.5 重要度における選択肢別の回答割合

図表 27 重要度における選択肢別の回答割合



2.6.6 重要度における属性別比較

- 性別でみると、上位項目については、男女ともに「雪対策」「保健・医療」「道路河川」「防災・減災」が挙げられている。そのほか、男性の3位に全体4位の「上下水道」が挙げられており、女性の5位に全体8位の「高齢者福祉」が挙げられている。下位項目については、男女とも全体の項目と同様に「地域間・国際交流」と「芸術・文化」が挙げられている。また、男性は「カーボンニュートラル」「花火産業構想」「男女共同参画・女性活躍」、女性は「市民協働・共創」「機能集約型都市構造」「出会い・結婚」が挙げられている。
- 年代別でみると、上位項目については、全ての年代で「保健・医療」、10代を除く全ての年代で「雪対策」、10代・20代・40代で「子ども・子育て」、30代・60代から80代で「道路河川」が挙げられている。また、「雪対策」は30代から60代・80代で1位となっており、「花火産業構想」は10代、「保健・医療」は20代・70代で1位となっている。

下位項目については、50代を除く全ての年代で「地域間・国際交流」が挙げられており、10代から30代以外で「芸術・文化」、30代・40代・70代以外で「市民協働・共創」、60代から80代以外で「カーボンニュートラル」が挙げられている。
- 地域別でみると、上位項目については、全ての地域で「保健・医療」が挙げられており、協和・仙北地域で1位となっている。また、仙北地域を除く全ての地域で「雪対策」が挙げられており、大曲・神岡・西仙北・中仙・南外・太田地域では1位となっている。そのほか、協和・南外地域以外で「道路河川」が挙げられている。下位項目については、全ての地域で「地域間・国際交流」、西仙北地域以外で「市民協働・共創」が挙げられている。また、協和・太田地域以外で「芸術・文化」、神岡・協和・仙北・太田地域で「機能集約型都市構造」が挙げられている。

■ 性別

■男性

(上位)

評価	項目	重要度
1	雪対策	4.34
2	保健・医療	4.27
3	上下水道	4.18
4	道路河川	4.17
5	防災・減災	4.07

(下位)

評価	項目	重要度
29	芸術・文化	3.47
	男女共同参画・女性活躍	3.47
31	花火産業構想	3.45
32	カーボンニュートラル	3.42
33	地域間・国際交流	3.37

■女性

(上位)

評価	項目	重要度
1	雪対策	4.52
2	保健・医療	4.41
3	道路河川	4.32
4	防災・減災	4.29
5	高齢者福祉	4.28

(下位)

評価	項目	重要度
28	出会い・結婚	3.66
	シティプロモーション	3.66
30	機能集約型都市構造	3.65
31	芸術・文化	3.58
32	市民協働・共創	3.57
33	地域間・国際交流	3.55

■ 年代別

■10代

(上位)

評価	項目	重要度
1	花火産業構想	4.72
2	学校教育	4.56
	保健・医療	4.56
4	子ども・子育て	4.50
	自然・生活環境	4.50
	雇用・就労	4.50
	観光	4.50

(下位)

評価	項目	重要度
29	住環境、公園・緑地	3.83
	機能集約型都市構造	3.83
31	市民協働・共創	3.78
32	地域間・国際交流	3.67
33	カーボンニュートラル	3.61

■20代

(上位)

評価	項目	重要度
1	保健・医療	4.62
2	雪対策	4.58
	防災・減災	4.58
4	学校教育	4.54
	子ども・子育て	4.54

(下位)

評価	項目	重要度
27	地域活動	3.92
	シティプロモーション	3.92
	地域間・国際交流	3.92
30	出会い・結婚	3.85
31	男女共同参画・女性活躍	3.81
32	市民協働・共創	3.73
33	カーボンニュートラル	3.38

■30代

(上位)

評価	項目	重要度
1	雪対策	4.72
2	道路河川	4.49
3	保健・医療	4.46
4	上下水道	4.36
5	交通安全・防犯	4.28

(下位)

評価	項目	重要度
29	スポーツ	3.51
30	出会い・結婚	3.46
31	男女共同参画・女性活躍	3.36
32	カーボンニュートラル	3.28
33	地域間・国際交流	3.18

■40代 (上位)

評価	項目	重要度
1	雪対策	4.38
2	保健・医療	4.28
	交通安全・防犯	4.28
4	子ども・子育て	4.26
5	上下水道	4.21

■50代 (上位)

評価	項目	重要度
1	雪対策	4.40
2	保健・医療	4.26
3	上下水道	4.20
	防災・減災	4.20
	高齢者福祉	4.20

■60代 (上位)

評価	項目	重要度
1	雪対策	4.43
2	保健・医療	4.16
3	高齢者福祉	4.14
	道路河川	4.14
	社会保障	4.14

■70代 (上位)

評価	項目	重要度
1	保健・医療	4.40
2	雪対策	4.35
3	道路河川	4.29
4	高齢者福祉	4.22
5	社会福祉	4.18

■80代 (上位)

評価	項目	重要度
1	雪対策	4.42
2	保健・医療	4.30
3	高齢者福祉	4.28
4	上下水道	4.21
5	防災・減災	4.15
	社会保障	4.15
	道路河川	4.15
	自然・生活環境	4.15

(下位)

評価	項目	重要度
28	男女共同参画・女性活躍	3.49
	カーボンニュートラル	3.49
30	シティプロモーション	3.47
	花火産業構想	3.47
32	地域間・国際交流	3.38
33	芸術・文化	3.36

(下位)

評価	項目	重要度
29	市民協働・共創	3.44
	芸術・文化	3.44
31	地域活動	3.40
	カーボンニュートラル	3.40
33	花火産業構想	3.38

(下位)

評価	項目	重要度
29	機能集約型都市構造	3.48
30	芸術・文化	3.46
31	男女共同参画・女性活躍	3.43
32	市民協働・共創	3.37
33	地域間・国際交流	3.35

(下位)

評価	項目	重要度
29	花火産業構想	3.53
30	観光	3.52
31	スポーツ	3.50
32	芸術・文化	3.48
	地域間・国際交流	3.48

(下位)

評価	項目	重要度
28	出会い・結婚	3.56
	観光	3.56
	地域間・国際交流	3.56
31	芸術・文化	3.53
32	シティプロモーション	3.51
	市民協働・共創	3.51

■ 地域別

■大曲地域

(上位)

評価	項目	重要度
1	雪対策	4.51
2	保健・医療	4.35
3	上下水道	4.28
4	道路河川	4.26
5	子ども・子育て	4.22

■神岡地域

(上位)

評価	項目	重要度
1	雪対策	4.50
2	保健・医療	4.46
	子ども・子育て	4.46
4	道路河川	4.38
5	防災・減災	4.35
	社会保障	4.35

■西仙北地域

(上位)

評価	項目	重要度
1	雪対策	4.33
	道路河川	4.33
3	保健・医療	4.26
	高齢者福祉	4.26
5	上下水道	4.21

■中仙地域

(上位)

評価	項目	重要度
1	雪対策	4.38
2	保健・医療	4.22
3	社会福祉	4.18
	交通安全・防犯	4.18
	道路河川	4.18

■協和地域

(上位)

評価	項目	重要度
1	保健・医療	4.47
2	雪対策	4.42
3	上下水道	4.35
4	防災・減災	4.31
5	社会福祉	4.17

■南外地域

(上位)

評価	項目	重要度
1	雪対策	4.56
2	上下水道	4.22
3	保健・医療	4.17
	子ども・子育て	4.17
5	高齢者福祉	4.11
	学校教育	4.11

(下位)

評価	項目	重要度
29	地域活動	3.57
	男女共同参画・女性活躍	3.57
31	芸術・文化	3.53
	地域間・国際交流	3.53
33	市民協働・共創	3.49

(下位)

評価	項目	重要度
28	観光	3.88
	シティプロモーション	3.88
30	市民協働・共創	3.81
31	機能集約型都市構造	3.77
32	地域間・国際交流	3.73
33	芸術・文化	3.54

(下位)

評価	項目	重要度
29	芸術・文化	3.58
30	観光	3.51
31	花火産業構想	3.45
32	スポーツ	3.42
33	地域間・国際交流	3.30

(下位)

評価	項目	重要度
29	市民協働・共創	3.46
30	男女共同参画・女性活躍	3.41
31	地域間・国際交流	3.37
32	芸術・文化	3.35
33	花火産業構想	3.27

(下位)

評価	項目	重要度
29	機能集約型都市構造	3.54
30	市民協働・共創	3.53
31	カーボンニュートラル	3.49
32	出会い・結婚	3.45
33	地域間・国際交流	3.42

(下位)

評価	項目	重要度
29	市民協働・共創	3.39
30	芸術・文化	3.33
	シティプロモーション	3.33
32	スポーツ	3.28
33	地域間・国際交流	3.06

■仙北地域

(上位)

評価	項目	重要度
1	保健・医療	4.29
2	防災・減災	4.22
	社会保障	4.22
4	道路河川	4.15
5	学校教育	4.14

■太田地域

(上位)

評価	項目	重要度
1	雪対策	4.34
2	保健・医療	4.29
3	道路河川	4.17
4	子ども・子育て	4.14
5	自然・生活環境	4.11

(下位)

評価	項目	重要度
29	機能集約型都市構造	3.61
	市民協働・共創	3.61
31	芸術・文化	3.60
32	シティプロモーション	3.59
33	地域間・国際交流	3.52

(下位)

評価	項目	重要度
29	市民協働・共創	3.40
30	男女共同参画・女性活躍	3.34
	地域間・国際交流	3.34
32	機能集約型都市構造	3.26
33	カーボンニュートラル	3.23

2.6.7 要望度

- 重要度から満足度を引いた数値を「要望度」と定義する。
- 要望度の高い項目は、上位から「雪対策」が 1.31、「空き家対策」が 1.17、「雇用・就労」が 1.14、「商工業」が 1.04、「公共交通」が 1.02 と続いている。一方、要望度が低い項目は、下位から「花火産業構想」が 0.12、「地域間・国際交流」が 0.33、「芸術・文化」が 0.40、「スポーツ」が 0.41、「市民協働・共創」が 0.43 となっている。
- 満足度や重要度と同様、昨年度と単純比較はできないが、「空き家対策」や「雇用・就労」「商工業」「公共交通」については、今年度も上位に挙げられている。

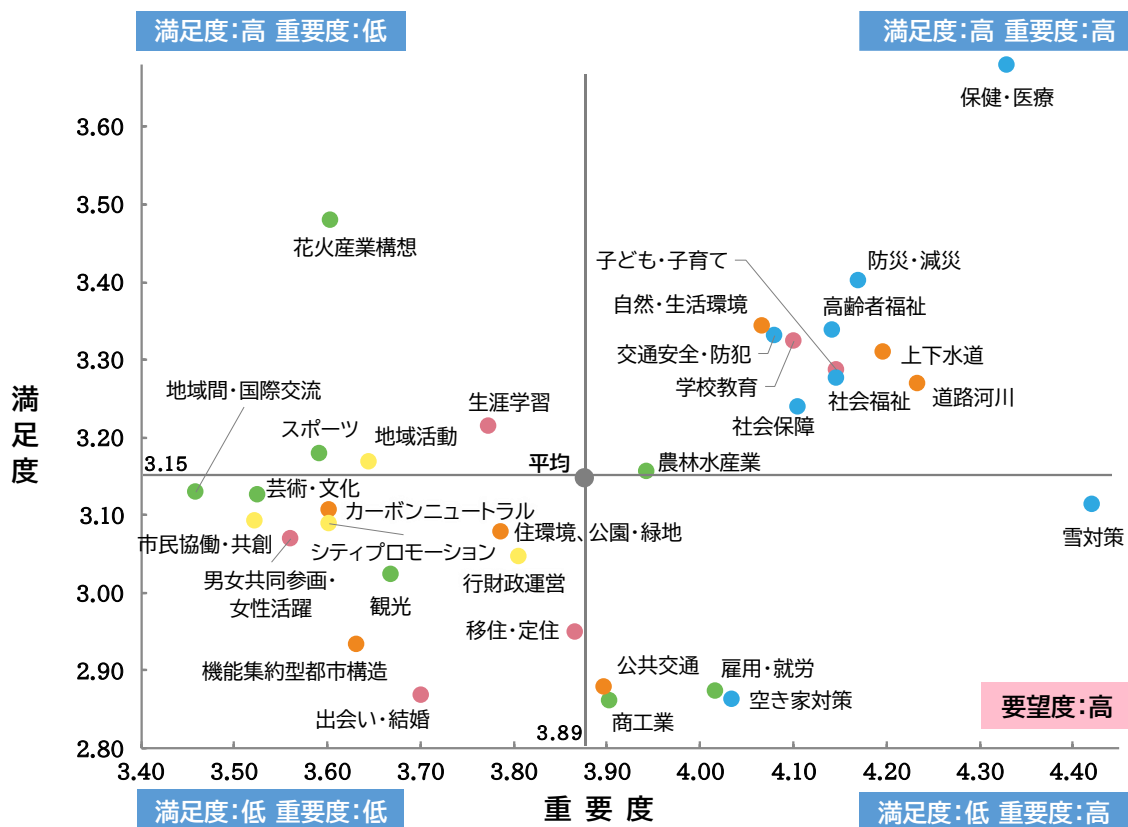
図表 28 要望度（重要度－満足度）の一覧表

評価	項目	要望度	項目説明
1	雪対策	1.31	道路の除排雪体制の強化を図るとともに、高齢者世帯等の除排雪に取り組む自治会等への支援など、地域等との協働による雪対策に取り組んでいます。
2	空き家対策	1.17	空き家の発生を抑制するため、家屋の所有者や相続人の理解を促進するとともに、解体経費への補助や空き家バンク制度の活用を促進するなど、空き家の適正管理と活用の促進に向けた取組を進めています。
3	雇用・就労	1.14	インターンシップや企業説明会の開催、求職者の資格取得や企業の人材獲得への支援など、若者やAターン希望者の市内就労の促進に向けた取組を進めています。
4	商工業	1.04	商店街等の活性化に向けた取組や起業への支援のほか、企業誘致の強化や地元企業の経営基盤の強化に向けた支援などに取り組んでいます。
5	公共交通	1.02	デジタル技術の活用や地域主体による移動支援の取組などを推進しながら、地域の実情やニーズに応じて、安心して快適に利用できる持続可能な地域公共交通ネットワークの形成に取り組んでいます。
6	道路河川	0.96	道路、橋りょう等の計画的な維持管理や長寿命化などにより、安全・安心で快適な道路交通網を整備するとともに、護岸の補修などにより河川機能の維持・強化を図り、水害対策に取り組んでいます。
7	移住・定住	0.92	本市の強みや魅力、仕事などの情報を市内外に広く発信するとともに、移住の検討段階から実際の移住までにおける各種支援制度やサポートの充実を図るなど、移住・定住の促進に向けた取組を進めています。
8	上下水道	0.89	人口減少の進行に伴う水需要の減少を見据えながら、老朽化が進む施設の適切な維持管理や計画的な更新、統合等を進めるなど、効率的な運営体制のもと、上下水道サービスの安定供給に取り組んでいます。
9	社会福祉	0.87	様々な困難を抱える子どもや若者、障がい者など、地域住民の複雑・複合化した支援ニーズに適切に対応し、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう社会福祉の充実に取り組んでいます。
9	社会保障	0.87	国民健康保険、後期高齢者医療制度などの安定的な運営を図るとともに、生活困窮者の生活の安定と自立への支援を行うなど、安心した生活を支える公的保険・医療制度の整備を進めています。
11	子ども・子育て	0.86	不妊治療への支援や産前・産後のサポート、医療費・保育料・給食費の無償化など経済的負担の軽減、保護者の多様な就労形態に応じた保育サービスの充実や放課後児童クラブの運営など、切れ目のない支援により安心して子育てできる環境づくりを進めています。
12	出会い・結婚	0.83	時代の変化にあわせた出会いの機会の創出と支援のほか、結婚に伴う住居取得などの経済的な支援も含めて、地域全体で結婚を希望する方を応援し、サポートする環境づくりを進めています。
13	高齢者福祉	0.80	地域包括ケアシステムの推進や、認知症や介護予防の充実、高齢者生活支援サービスの充実などに取り組んでいます。
14	農林水産業	0.79	農畜産物のブランド化や担い手の確保・育成、生産性の向上に向けた生産基盤整備を進めているほか、森林の好循環利用の促進や鳥獣被害対策の強化、鮭ふ化放流文化の継承などに取り組んでいます。
15	学校教育	0.78	グローバル化やデジタル化に対応しながら、子どもの学びを最優先にした教育環境の充実を図るとともに、キャリア教育やふるさと教育など、地域との交流による多様な学びを通じて、生きる力を育み、地域社会で活躍できる人材の育成に取り組んでいます。
16	防災・減災	0.77	市民の防災意識の向上や自主防災組織の活動促進、消防団員の確保など、地域防災力や消防体制・機能の強化を図り、市民・地域・行政などが一体となった災害に強いまちづくりに取り組んでいます。
17	行財政運営	0.76	デジタル技術の活用や組織機構の強化、働き方改革の推進などにより、業務効率化を図りながら、利便性や質の高い行政サービスを提供するほか、統廃合等を含めた公共施設の適正配置、財政健全化など、効率的かつ効果的に持続可能な行財政運営を進めています。
18	交通安全・防犯	0.75	関係団体と連携した啓発活動などにより、交通安全や防犯の意識向上を図るとともに、消費相談窓口の強化など、事故や犯罪被害、消費者トラブルの未然防止に向けた取組を進めています。
19	自然・生活環境	0.72	豊かな自然や生態系の保護、ごみ排出環境の整備、不法投棄や公害の防止など、自然環境の保全と生活環境の整備を進めています。
20	住環境、公園・緑地	0.71	住宅リフォーム支援の充実や市営住宅の適切な維持管理、魅力ある公園・緑地づくりなど、良好で快適な住生活環境づくりを進めています。
21	機能集約型都市構造	0.70	大仙市都市計画マスタープラン等に基づき、都市機能の集約と居住の誘導を促し、各地域の拠点を結ぶ交通ネットワークを構築するなど、持続可能で利便性が高いまちづくりを進めています。
22	保健・医療	0.65	特定健診・がん検診などの各種健（検）診の受診促進や、心と身体の健康づくりの推進を図るとともに、予防接種の推進や地域医療体制の充実に向けた取組を進めています。
23	観光	0.64	本市の特色ある花火・歴史・文化・食・自然等の地域資源を組み合わせた観光コンテンツの創出や観光施設の魅力向上などに取り組んでいます。
24	生涯学習	0.56	家庭や地域、学校等と連携・協働しながら、地域の特性を活かした多様な学びの機会を創出するほか、公民館等の社会教育施設の整備を進めるなど、生涯を通じて学び、活かせる環境づくりに取り組んでいます。
25	シティプロモーション	0.51	魅力的な地域資源の掘り起こしや、広報紙・市公式SNSなどを通じた情報発信の強化に加え、市民一人ひとりが誇りを持って地域の魅力を発信できる環境づくりに取り組んでいます。
26	カーボンニュートラル	0.50	家庭や事業所における太陽光発電設備の導入支援などを通じて、地域全体で脱炭素化を推進するとともに、ごみの減量化とリサイクルの推進など循環型社会の形成に向けた取組を進めています。
27	男女共同参画・女性活躍	0.49	固定的性別役割分担意識や無意識の偏見の解消に向けた、男女共同参画や女性活躍の推進に関する講座・セミナーの開催など、誰もがいきいきと活躍できるまちづくりを進めています。
28	地域活動	0.48	自治会活動への継続した支援や地域活動拠点の整備、地域運営組織の育成と活動へのサポートなど、住民主体の地域づくり活動の促進に向けた取組を進めています。
29	市民協働・共創	0.43	市民による市政評価やSNS等を活用した双方向の情報共有や、市民のまちづくりへの参画機会の創出に加え、公民連携や広域連携の推進など、協働・共創のまちづくりを進めています。
30	スポーツ	0.41	屋内外のスポーツ施設の整備や関係団体への支援などにより、誰もがスポーツに参画できる環境づくりを進めるとともに、スポーツイベントや大会の開催などスポーツを通じた地域活性化に取り組んでいます。
31	芸術・文化	0.40	関係団体の芸術文化活動への支援や芸術鑑賞機会の創出を図るとともに、文化財の適切な保存・整備と活用などに取り組んでいます。
32	地域間・国際交流	0.33	国内外の友好交流都市等と相互の発展に向け、青少年交流や観光・文化・教育交流など、多様な交流を行っています。
33	花火産業構想	0.12	「大曲の花火」の国内外での認知度向上に加え、そのブランド力を戦略的に活用し、観光・文化・教育などと連携して地域の活性化につなげるとともに、花火伝統文化の継承に取り組んでいます。

2.6.8 満足度、重要度の総括

- 満足度、重要度の総括として、満足度を縦軸、重要度を横軸として要望度の高さを示した散布図を作成した。図表 29 は、33 項目の満足度と重要度のそれぞれの位置を示したものである。
- 図の右上に位置するほど満足度と重要度が高い項目であり、逆に図の左下に位置するほど満足度と重要度が低い項目となっている。満足度が低く重要度が高い項目（図の右下にある項目）ほど相対的に要望度が高い項目となっている。
- 今回の満足度と重要度の結果から相対的に要望度が高い項目は、「雪対策」「空き家対策」「雇用・就労」「商工業」「公共交通」となっている。

図表 29 満足度・重要度の項目別比較



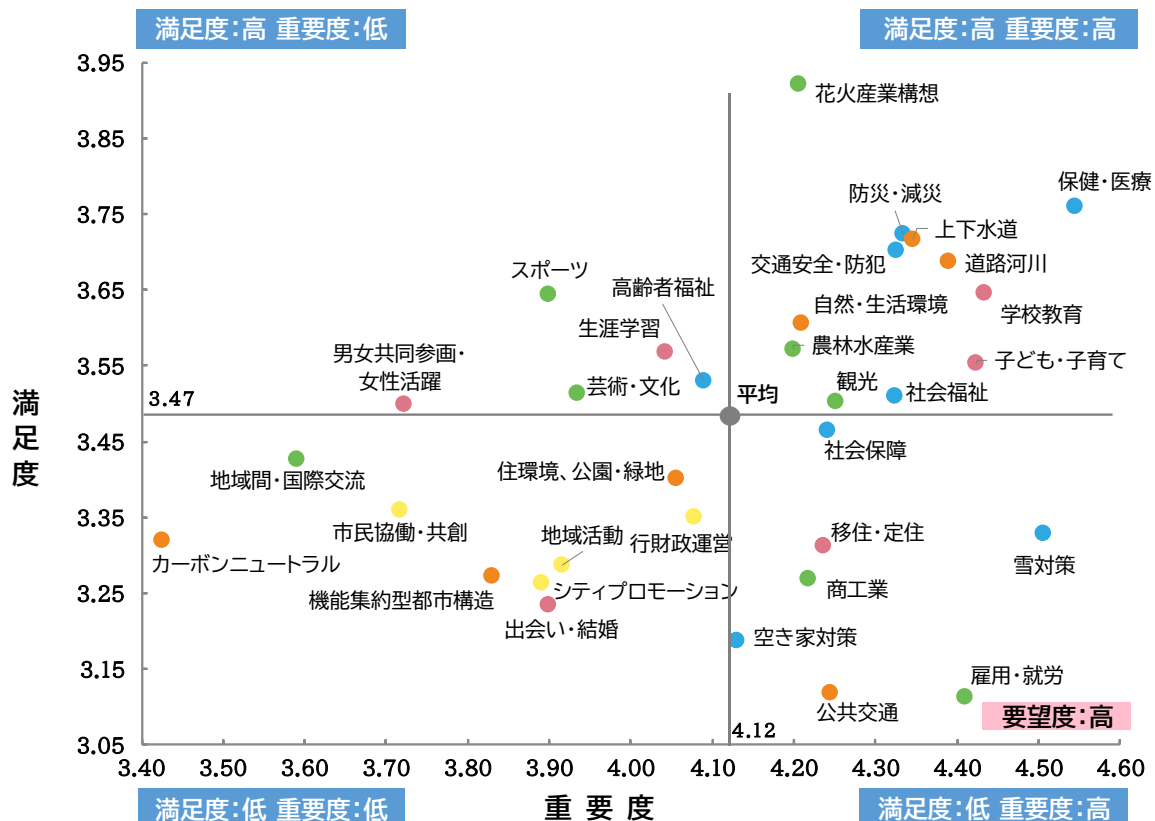
第3次大仙市総合計画 基本目標

- 基本目標 1 魅力ある産業と地域資源により、にぎわいがあふれるまち
- 基本目標 2 地域の活力を生み、誰もがいきいきと活躍できるまち
- 基本目標 3 誰もが安全・安心で、幸せに暮らせるまち
- 基本目標 4 豊かな自然を守り、快適な住みよいまち
- 基本目標 5 地域と共に創る、未来に続く持続可能なまち

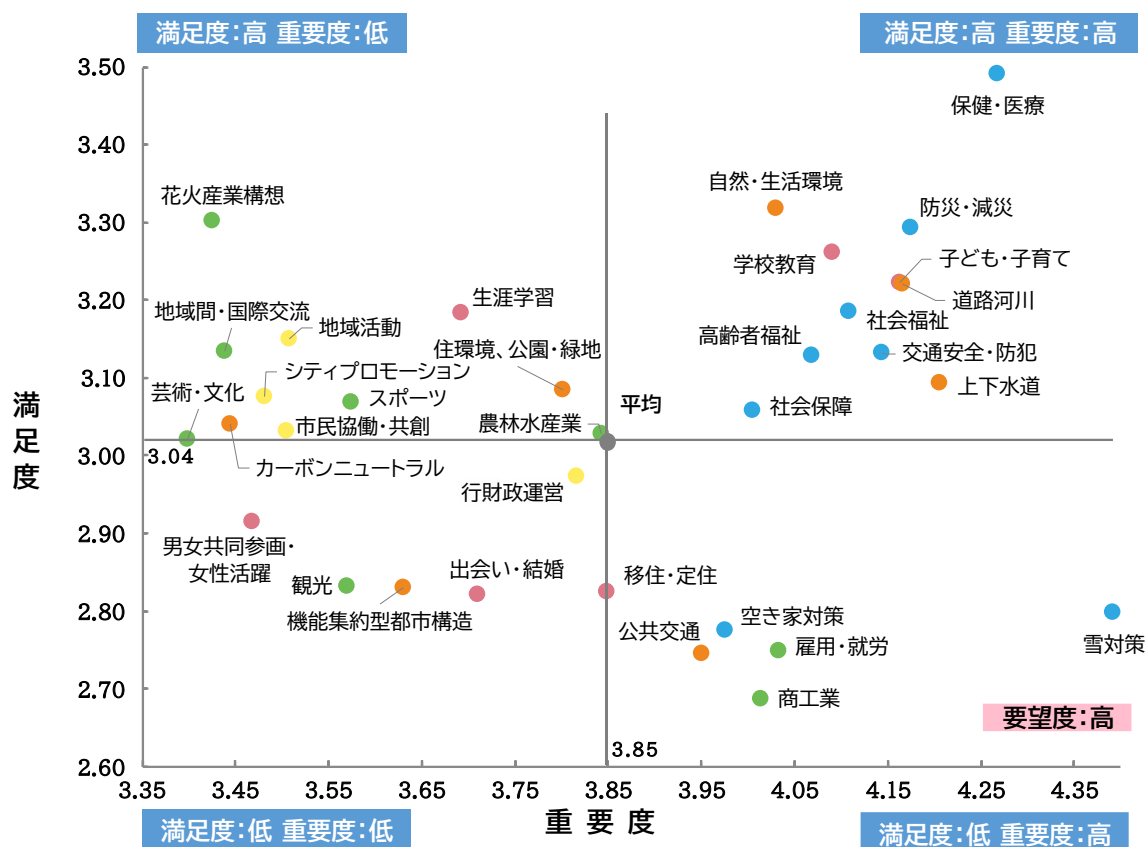
2.6.9 満足度、重要度の年齢層別比較

- 16 歳から 39 歳(図表 30)、40 歳から 59 歳(図表 31)、60 歳から 84 歳(図表 32)の3つの年齢層別に散布図を作成し比較した。
- 16 歳から 39 歳までの年齢層では、満足度・重要度の平均がともに全体と比べて高くなっており、相対的に要望度が高い項目は「雪対策」「雇用・就労」「公共交通」となっている。また、満足度は「花火産業構想」、重要度は「保健・医療」が最も高くなっている。他の年齢層と比較した場合、満足度は40 歳から 59 歳では「商工業」、60 歳から 84 歳では「出会い・結婚」が最も低くなっているのに対し、本年齢層では「雇用・就労」が最も低くなっている。
- 40 歳から 59 歳までの年齢層は、満足度・重要度の平均がともに全体と比べて低くなっており、相対的に要望度が高い項目は「雪対策」「商工業」となっている。満足度は「保健・医療」、重要度は「雪対策」が最も高くなっている。
- 60 歳から 84 歳までの年齢層は、満足度・重要度の平均がともに全体と比べて低くなっており、相対的に要望度が高い項目は、「空き家対策」「雇用・就労」となっている。

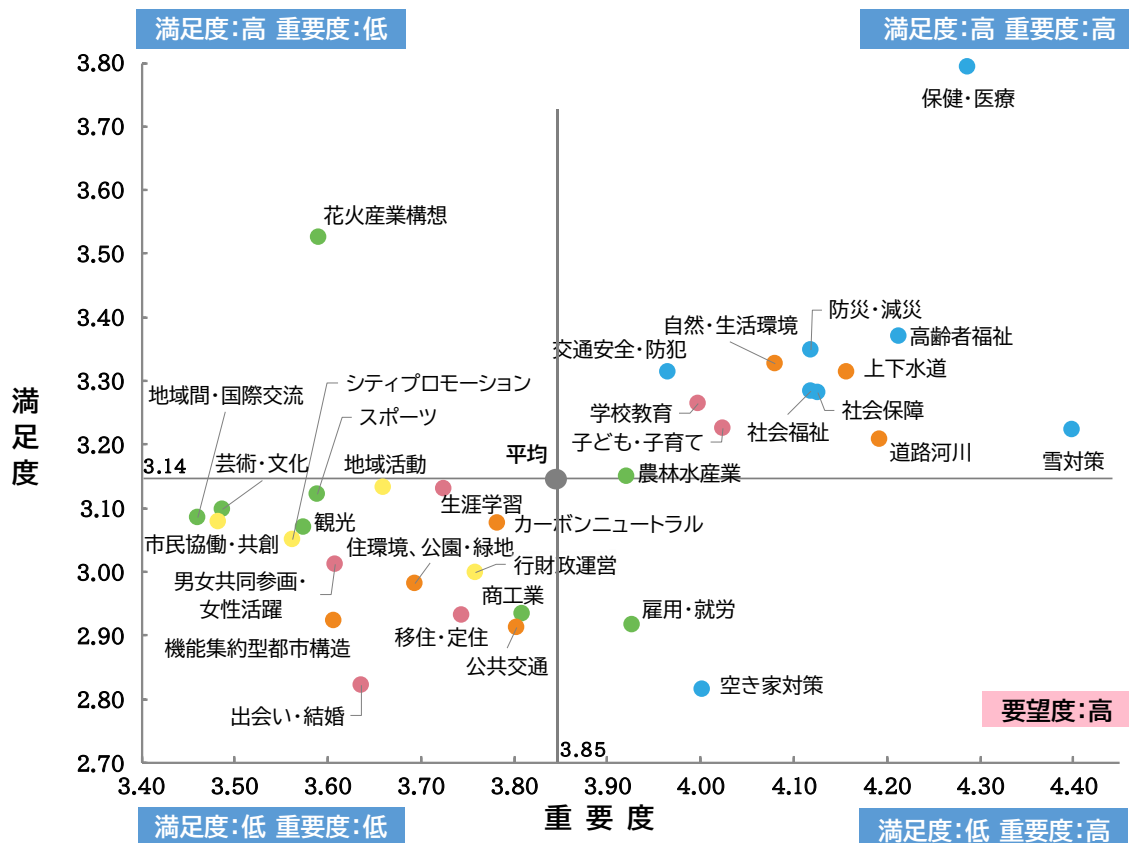
図表 30 満足度・重要度の年齢層別比較(16 歳から 39 歳)



図表 31 満足度・重要度の年齢層別比較(40 歳から 59 歳)



図表 32 満足度・重要度の年齢層別比較(60 歳から 84 歳)

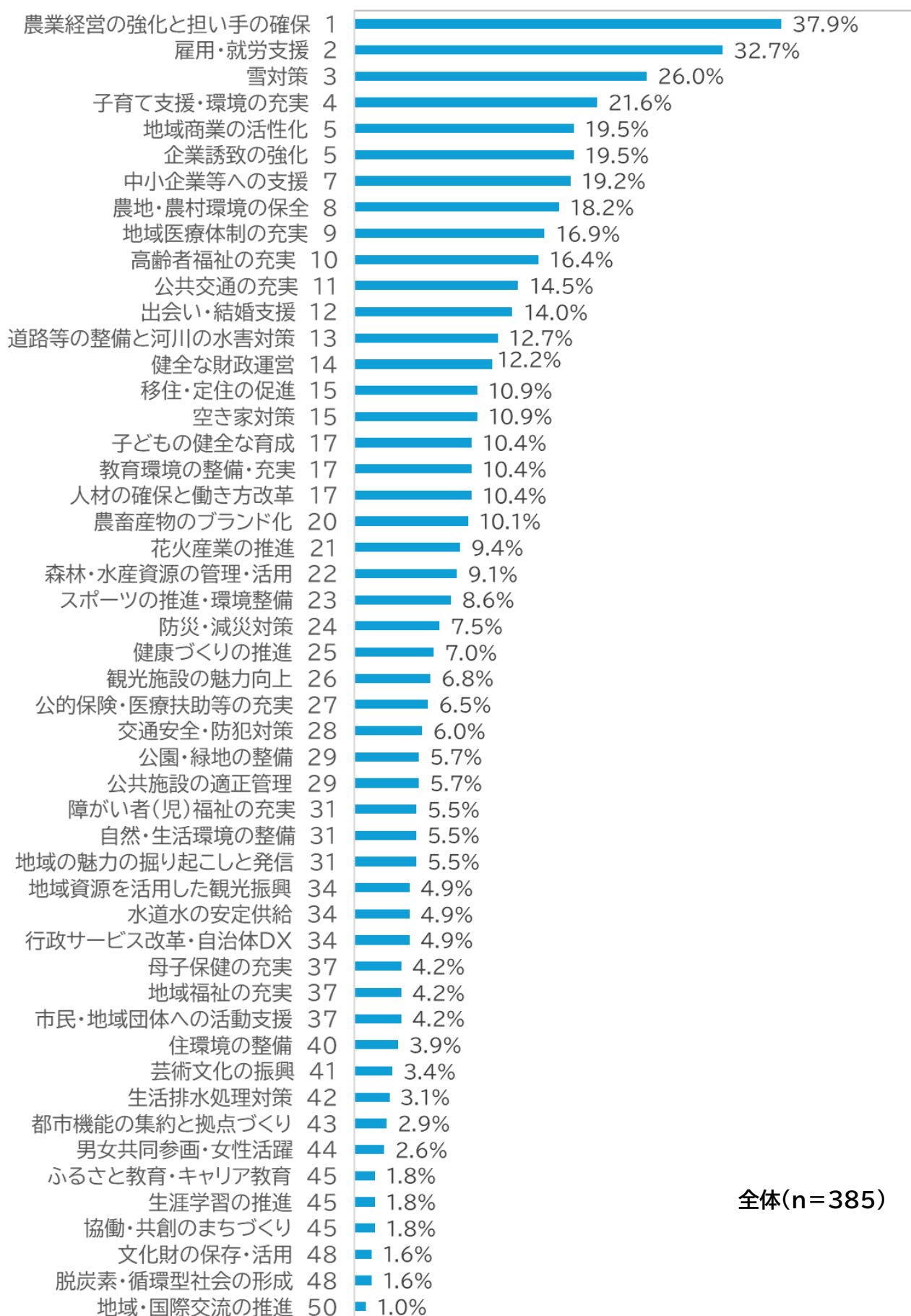


2.7 「今後、市に力を入れてほしいこと」について

2.7.1 今後、市に力を入れてほしいこと

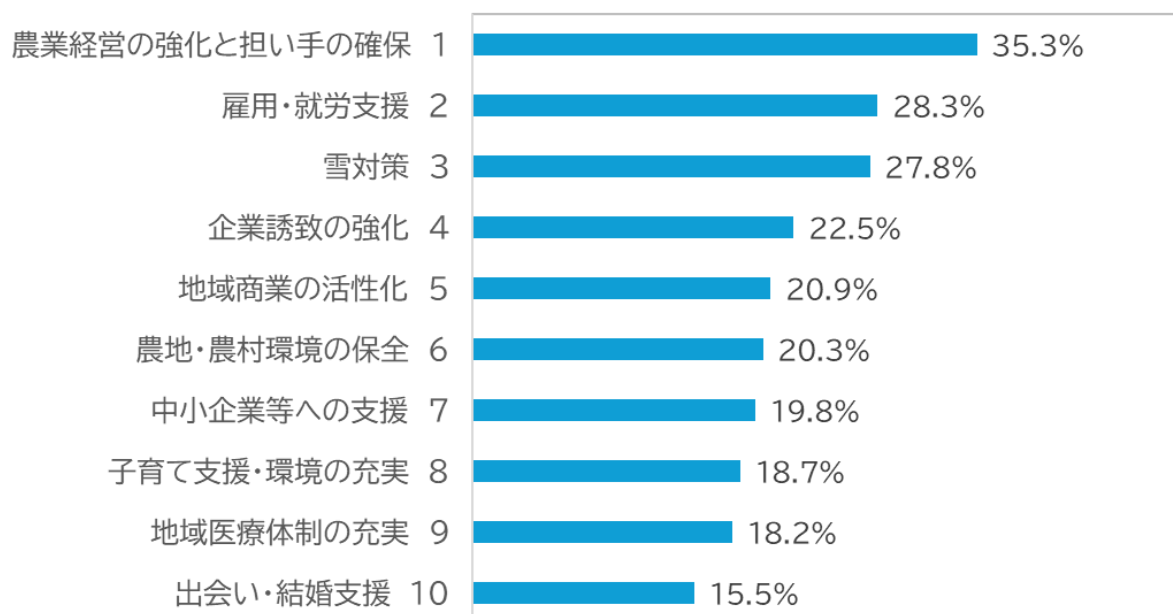
- 上位項目については、「農業経営の強化と担い手の確保」「雇用・就労支援」「雪対策」「子育て支援・環境の充実」となっており、「地域商業の活性化」と「企業誘致の強化」が同順で続いている。一方、下位項目については、下から「地域・国際交流の推進」「脱炭素・循環型社会の形成」「文化財の保存・活用」の順となっている。
- 性別でみると、男女ともに「農業経営の強化と担い手の確保」が最も高くなっており、男性が35.3%、女性が40.6%となっている。次いで「雇用・就労支援」は、女性が35.9%と男性の28.3%より7.6ポイント高くなっている。また、男性は「雪対策」「企業誘致の強化」「地域商業の活性化」、女性は「子育て支援・環境の充実」「雪対策」「高齢者福祉の充実」の順で続いている。
- 年齢層別でみると、全ての年齢層で「雇用・就労支援」「農業経営の強化と担い手の確保」「子育て支援・環境の充実」「雪対策」が上位10項目に入っており、16歳から39歳、40歳から59歳では「雇用・就労支援」の割合が最も高く、60歳から84歳では「農業経営の強化と担い手の確保」が最も高くなっている。また、40歳以上で「高齢者福祉の充実」「地域医療体制の充実」「農地・農村環境の保全」、59歳以下で「中小企業等への支援」「企業誘致の強化」「地域商業の活性化」が上位10項目に挙げられている。

図表 33 今後、市に力を入れてほしいこと

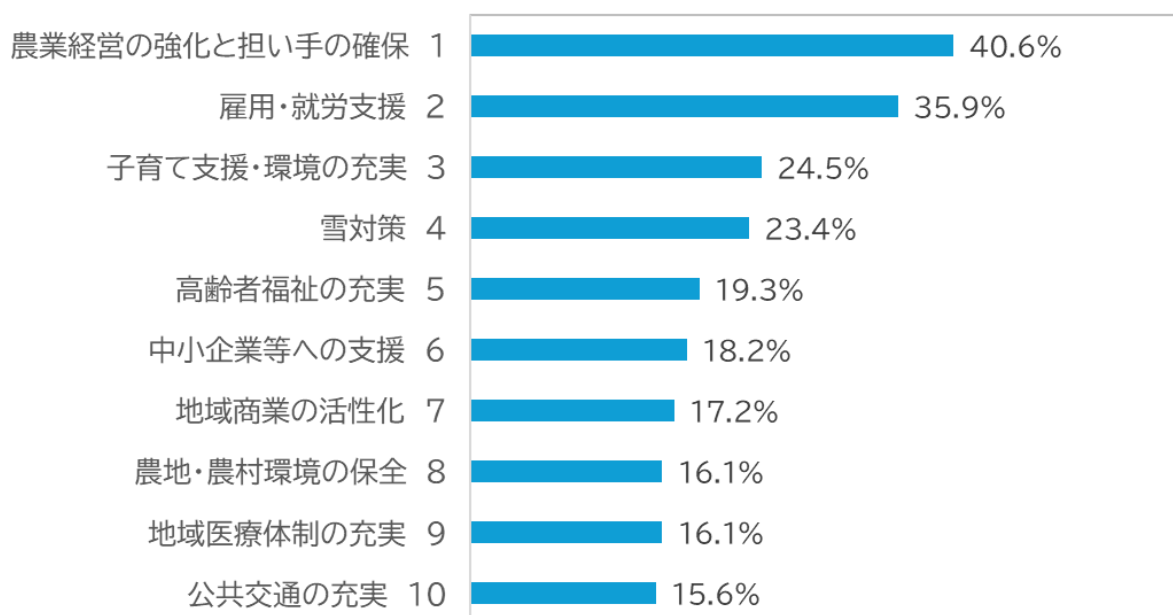


■ 性別

[男性 n=187]

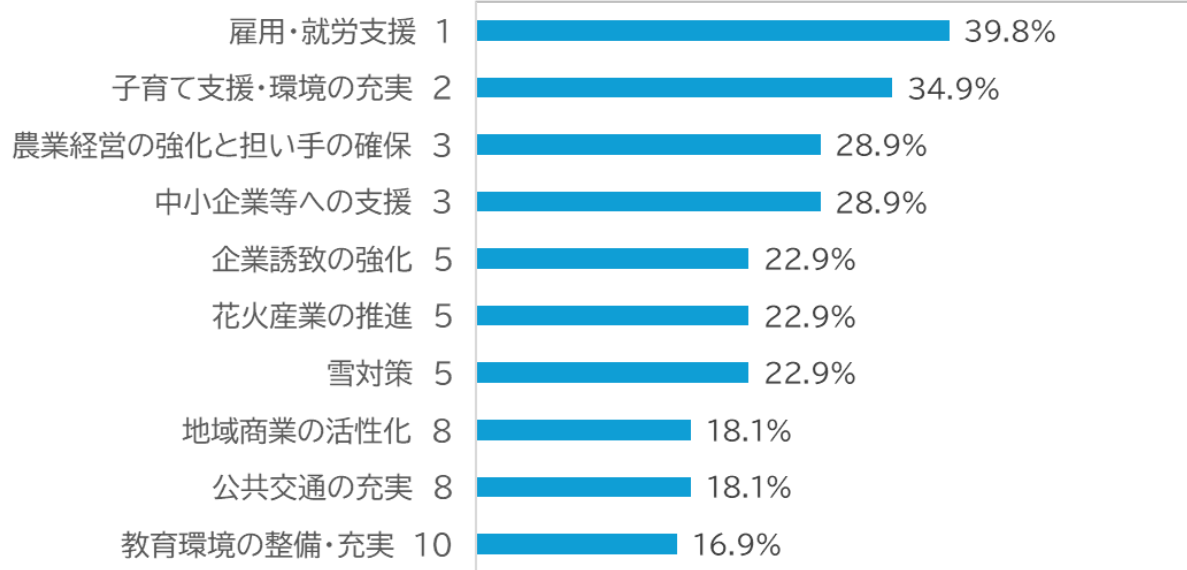


[女性 n=192]

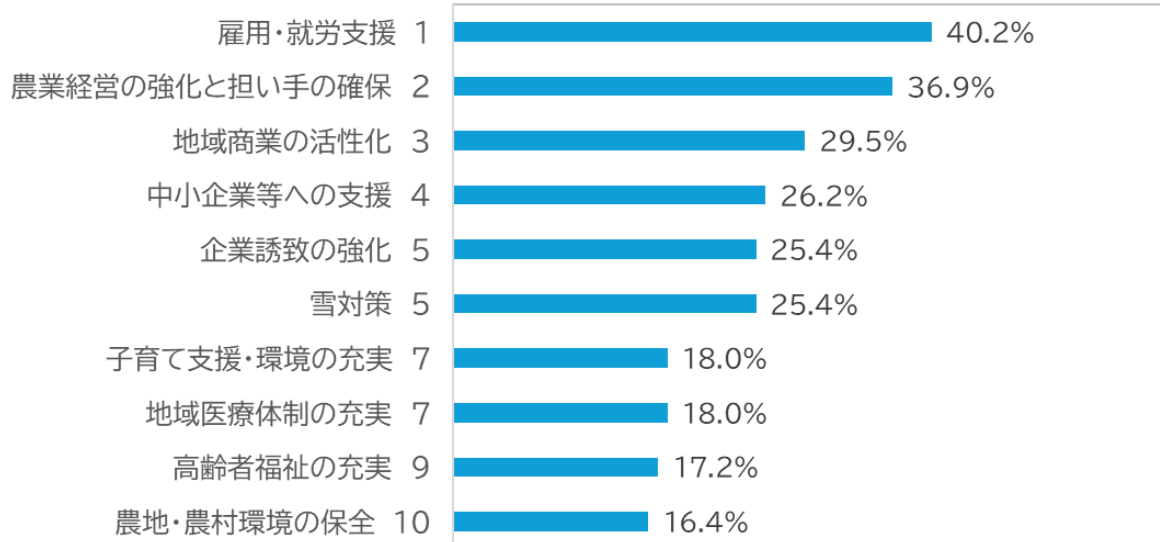


■ 年齢層別

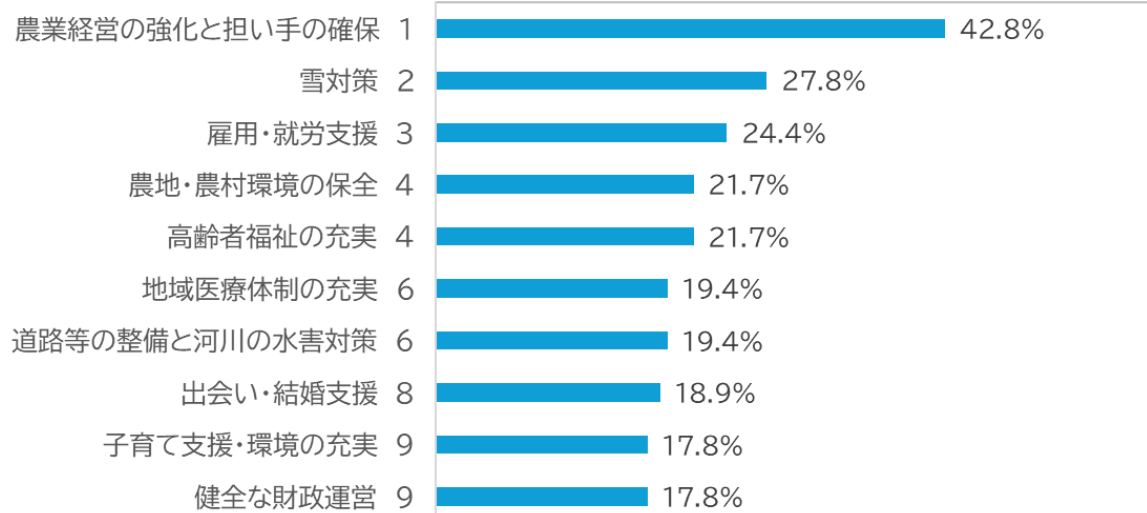
[16歳～39歳 n=83]



[40歳～59歳 n=122]



[60歳～84歳 n=180]



2.8 経年比較（5 か年分）について

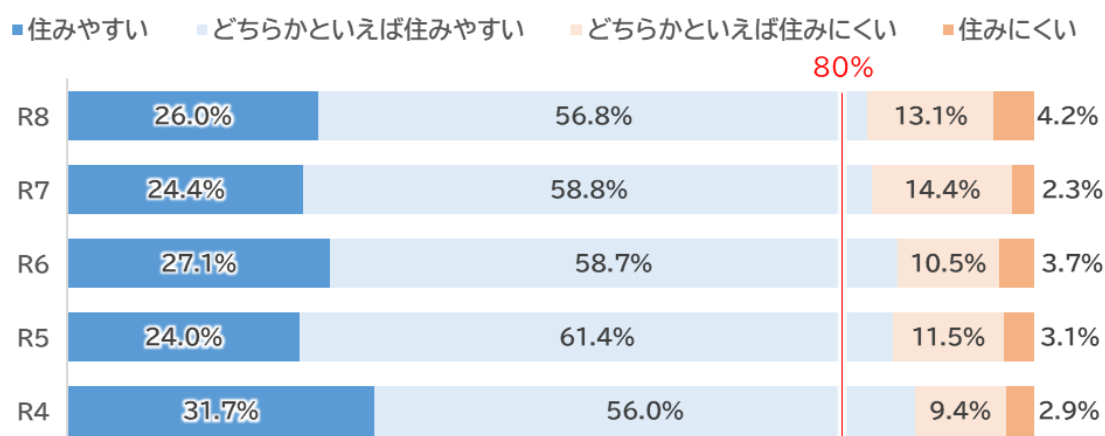
本市の住みやすさについて、令和4年度から令和8年度までの5か年の推移をまとめた。

2.8.1 住みやすさ

- 「住みやすい」は昨年度から 1.6 ポイント上昇したものの、「どちらかといえば住みやすい」が 2.0 ポイント低下したため、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」をあわせた割合は 0.4 ポイント低下した。一方、「どちらかといえば住みにくい」は 1.3 ポイント低下したものの、「住みにくい」が 1.9 ポイント上昇する結果となった。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」をあわせた割合は、令和4年度の 87.7%から令和8年度の 82.8%にかけて 4.9 ポイント低下しているものの、8割を超えて推移している。
- 性別でみると、「住みやすい」と回答した割合は、令和4年度と令和8年度以外では女性の方が男性よりも高くなっている。

■ 全体

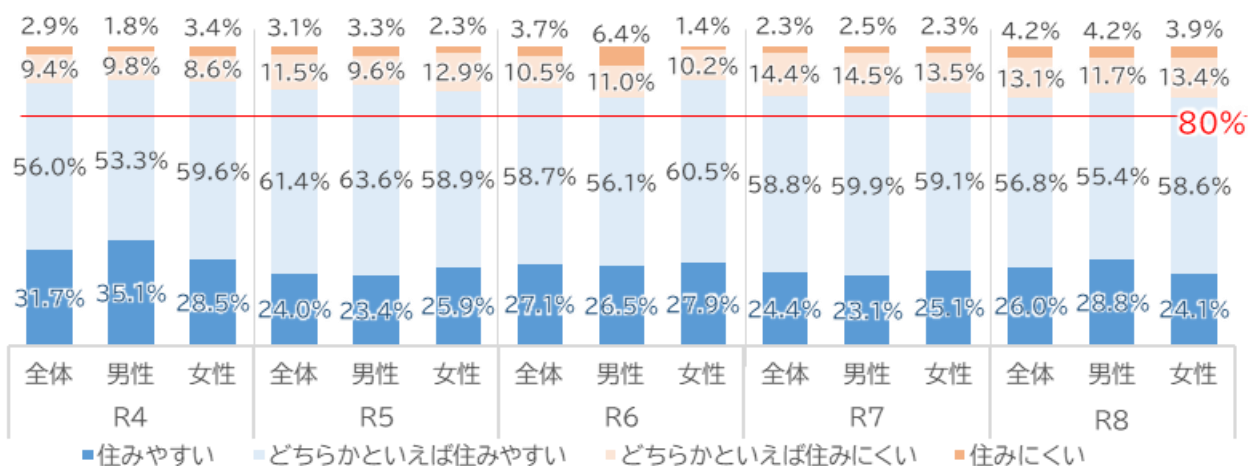
住みやすさ	R4	R5	R6	R7	R8
住みやすい ①	31.7%	24.0%	27.1%	24.4%	26.0%
どちらかといえば住みやすい ②	56.0%	61.4%	58.7%	58.8%	56.8%
①+②	87.7%	85.4%	85.8%	83.2%	82.8%
どちらかといえば住みにくい ③	9.4%	11.5%	10.5%	14.4%	13.1%
住みにくい ④	2.9%	3.1%	3.7%	2.3%	4.2%
③+④	12.3%	14.6%	14.2%	16.7%	17.3%



■ 性別

住みやすさ	R4		R5		R6		R7		R8	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
住みやすい ①	35.1%	28.5%	23.4%	25.9%	26.5%	27.9%	23.1%	25.1%	28.8%	24.1%
どちらかといえば住みやすい ②	53.3%	59.6%	63.6%	58.9%	56.1%	60.5%	59.9%	59.1%	55.4%	58.6%
①+②	88.4%	88.0%	87.0%	84.8%	82.6%	88.4%	83.1%	84.2%	84.2%	82.7%
どちらかといえば住みにくい ③	9.8%	8.6%	9.6%	12.9%	11.0%	10.2%	14.5%	13.5%	11.7%	13.4%
住みにくい ④	1.8%	3.4%	3.3%	2.3%	6.4%	1.4%	2.5%	2.3%	4.2%	3.9%
③+④	11.6%	12.0%	13.0%	15.2%	17.4%	11.6%	16.9%	15.8%	15.9%	17.3%

※数値表記について、小数点第2位以下で四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しない。



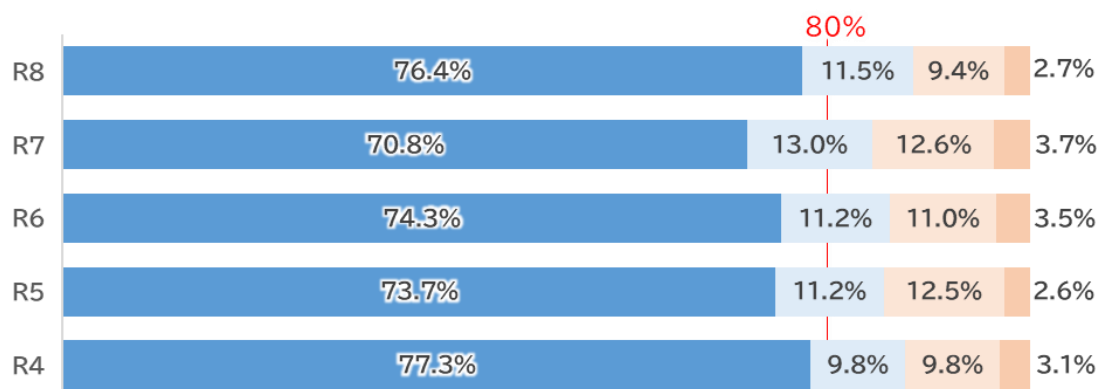
2.8.2 住み続けたさ

- 「今の場所に住み続けたい」は昨年度と比較すると 5.6 ポイント上昇しており、「市内の別の場所へ移りたい」は 1.5 ポイント低下している。一方、「市外に移りたい」「住み続けたいが、移らざるを得ない」は、昨年度と比較するとそれぞれ 3.2 ポイント、1.0 ポイント低下している。「今の場所に住み続けたい」と「市内の別の場所へ移りたい」をあわせた割合は、令和 4 年度の 87.1% から令和 8 年度の 87.9% にかけて 0.8 ポイント上昇しているが、概ね横ばいとなっている。
- 性別でみると、「今の場所に住み続けたい」と回答した割合は、男性が 79.0% で昨年度と比較すると 11.0 ポイント高くなっており、女性は 75.3% で 2.4 ポイント高い結果となった。過去 5 か年の結果をみると、女性は「今の場所に住み続けたい」と回答した割合が 7 割を超えている。

■ 全体

住み続けたさ	R4	R5	R6	R7	R8
今の場所に住み続けたい ①	77.3%	73.7%	74.3%	70.8%	76.4%
市内の別の場所へ移りたい ②	9.8%	11.2%	11.2%	13.0%	11.5%
①+②	87.1%	84.9%	85.5%	83.8%	87.9%
市外に移りたい ③	9.8%	12.5%	11.0%	12.6%	9.4%
住み続けたいが、移らざるを得ない ④	3.1%	2.6%	3.5%	3.7%	2.7%
③+④	12.9%	15.1%	14.5%	16.3%	12.1%

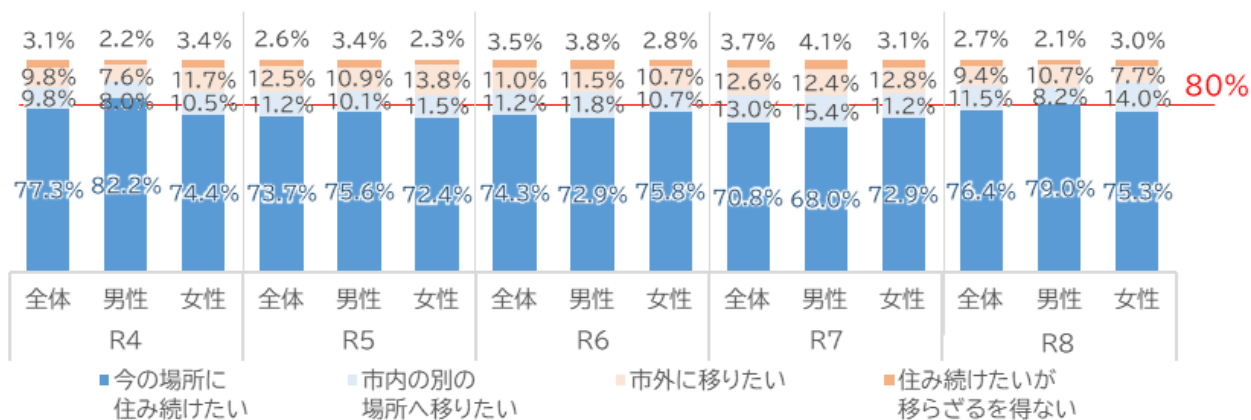
■ 今の場所に住み続けたい ■ 市内の別の場所へ移りたい ■ 市外に移りたい ■ 住み続けたいが、移らざるを得ない



■ 性別

住み続けたさ	R4		R5		R6		R7		R8	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
今の場所に住み続けたい ①	82.2%	74.4%	75.6%	72.4%	72.9%	75.8%	68.0%	72.9%	79.0%	75.3%
市内の別の場所へ移りたい ②	8.0%	10.5%	10.1%	11.5%	11.8%	10.7%	15.4%	11.2%	8.2%	14.0%
①+②	90.2%	85.0%	85.7%	83.9%	84.7%	86.5%	83.4%	84.1%	87.2%	89.3%
市外に移りたい ③	7.6%	11.7%	10.9%	13.8%	11.5%	10.7%	12.4%	12.8%	10.7%	7.7%
住み続けたいが、移らざるを得ない ④	2.2%	3.4%	3.4%	2.3%	3.8%	2.8%	4.1%	3.1%	2.1%	3.0%
③+④	9.8%	15.0%	14.3%	16.1%	15.3%	13.5%	16.6%	15.9%	12.8%	10.7%

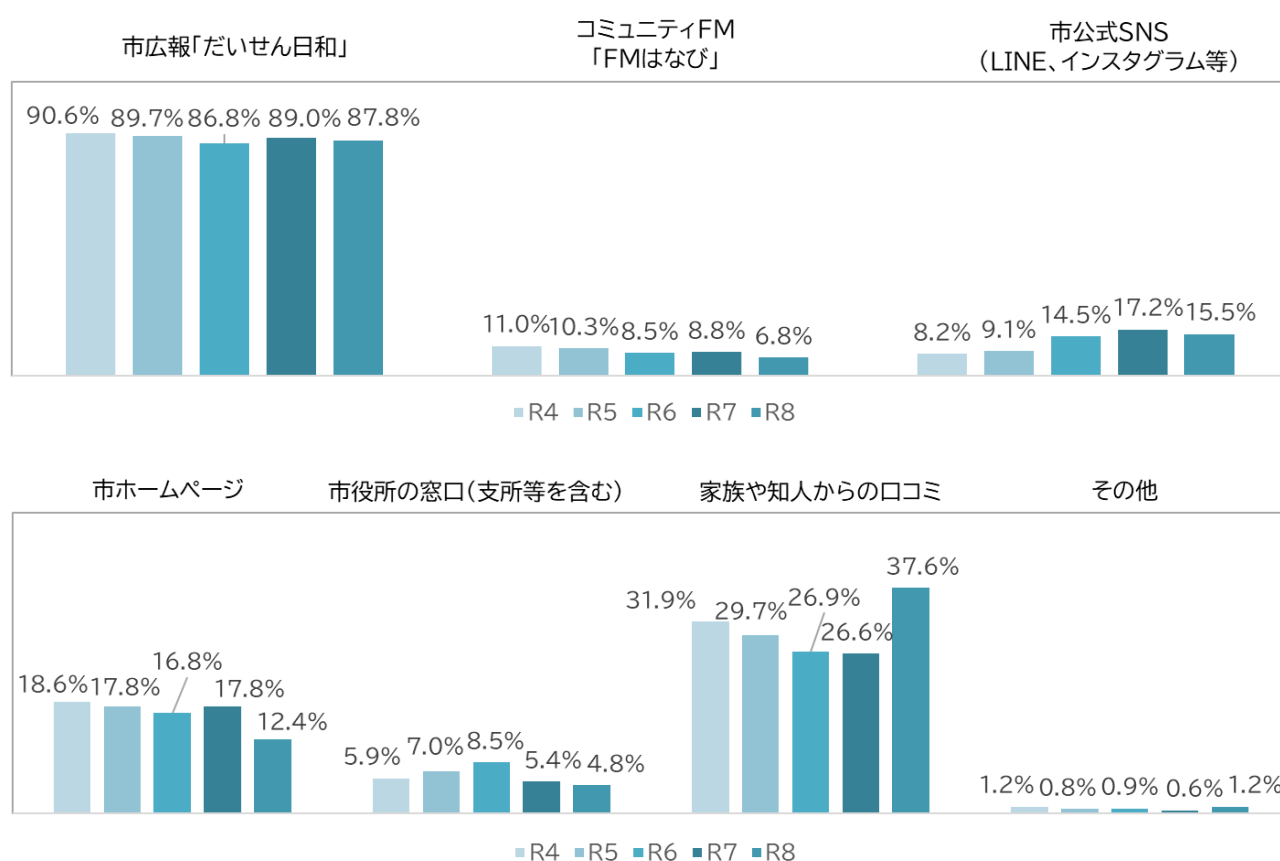
※数値表記について、小数点第2位以下で四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しない。



2.8.3 市政情報の入手手段

- 「市広報『だいせん日和』」は、87.8%で昨年度と比較すると1.2ポイント低下しているが、9割近い割合で推移している。「市公式SNS(LINE、インスタグラム等)」は、15.5%で昨年度と比較すると1.7ポイント低下しているが、令和4年度から上昇傾向となっており、今年度は「市ホームページ」の割合を超える結果となった。「家族や知人からの口コミ」は、37.6%で昨年度と比較すると11.0ポイント上昇している。

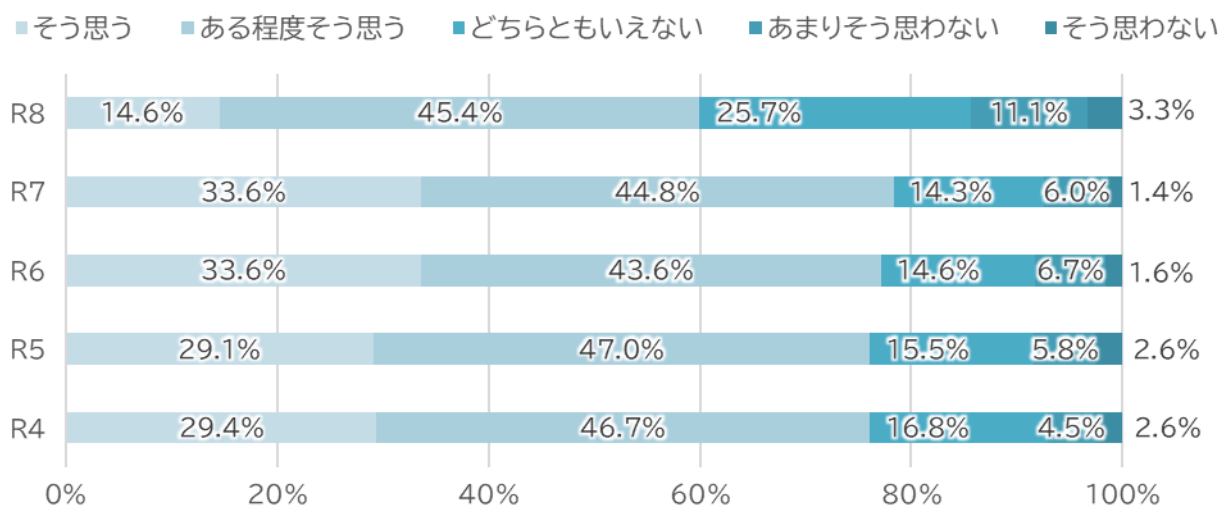
市政情報の入手手段	R4	R5	R6	R7	R8
市広報「だいせん日和」	90.6%	89.7%	86.8%	89.0%	87.8%
コミュニティFM「FMはなび」	11.0%	10.3%	8.5%	8.8%	6.8%
市公式SNS(LINE、インスタグラム等)	8.2%	9.1%	14.5%	17.2%	15.5%
市ホームページ	18.6%	17.8%	16.8%	17.8%	12.4%
市役所の窓口(支所等を含む)	5.9%	7.0%	8.5%	5.4%	4.8%
家族や知人からの口コミ	31.9%	29.7%	26.9%	26.6%	37.6%
その他	1.2%	0.8%	0.9%	0.6%	1.2%



2.8.4 市政情報の入手しやすさ

- 「ある程度そう思う」が45.4%で、昨年度と比較して0.6ポイント上昇しているものの、「そう思う」が14.6%で、19.0ポイントと大きく低下しているため、「そう思う」と「ある程度そう思う」をあわせた割合も、60.0%で18.4ポイント低下した。
- 一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」の割合は、それぞれ5.1ポイント、1.9ポイント上昇しているほか、「どちらともいえない」が25.7%で11.4ポイント上昇している。

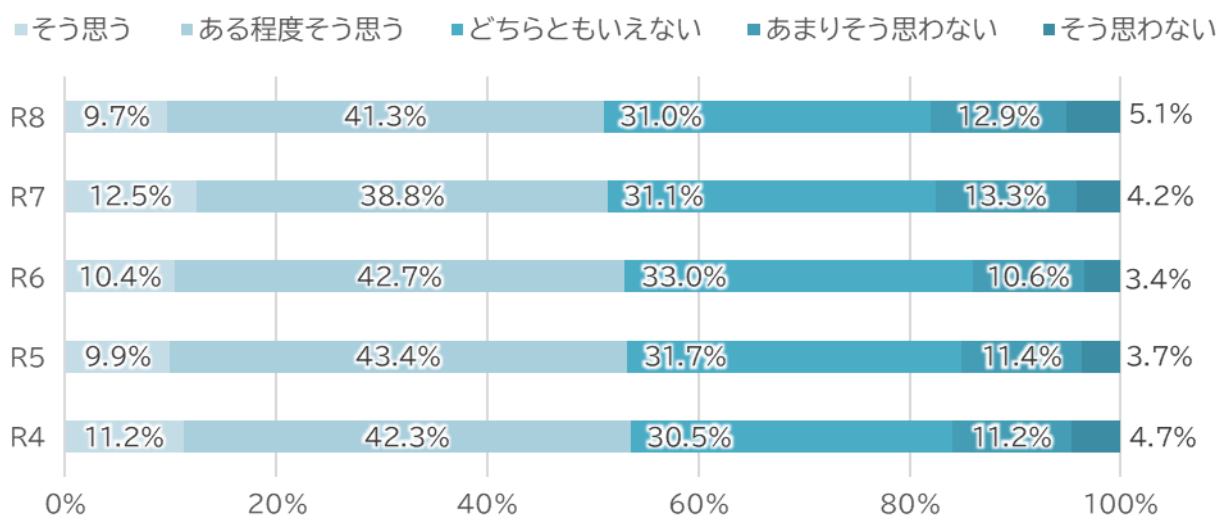
市政情報の入手しやすさ	R4	R5	R6	R7	R8
そう思う①	29.4%	29.1%	33.6%	33.6%	14.6%
ある程度そう思う②	46.7%	47.0%	43.6%	44.8%	45.4%
①+②	76.1%	76.1%	77.2%	78.4%	60.0%
どちらともいえない③	16.8%	15.5%	14.6%	14.3%	25.7%
あまりそう思わない④	4.5%	5.8%	6.7%	6.0%	11.1%
そう思わない⑤	2.6%	2.6%	1.6%	1.4%	3.3%
④+⑤	7.1%	8.4%	8.3%	7.4%	14.4%



2.8.5 市の行政サービスの利用しやすさ

- 「ある程度そう思う」が41.3%で、昨年度と比較して2.5ポイント上昇しているものの、「そう思う」が9.7%で昨年度から2.8ポイント低下しているため、「そう思う」「ある程度そう思う」をあわせた割合は0.3ポイント低下で同水準となっており、令和4年度からほぼ横ばいで推移している。
- 「あまりそう思わない」「そう思わない」、さらにそれらをあわせた割合はいずれも令和6年度まで低下傾向であったが、それ以降は上昇傾向で推移している。

市の行政サービスの利用しやすさ	R4	R5	R6	R7	R8
そう思う①	11.2%	9.9%	10.4%	12.5%	9.7%
ある程度そう思う②	42.3%	43.4%	42.7%	38.8%	41.3%
①+②	53.5%	53.3%	53.1%	51.3%	51.0%
どちらともいえない③	30.5%	31.7%	33.0%	31.1%	31.0%
あまりそう思わない④	11.2%	11.4%	10.6%	13.3%	12.9%
そう思わない⑤	4.7%	3.7%	3.4%	4.2%	5.1%
④+⑤	15.9%	15.1%	14.0%	17.5%	18.0%



3 自由意見

3 自由意見

令和8年度「市民による市政評価」の調査票に記述のあった、市政に関するご意見・ご提案などの自由意見について、主なものを分野別に掲載した。

(1) 農林水産業について

- クマによる被害が多い。農作物を安定して収穫できるようクマ対策に力を入れてほしい。
(60代／男性／大曲)
- 市のクマ対策が見えてこない。広報車だけでは何も変化はないと思う。
(60代／男性／大曲)
- クマ対策を最重要課題に、今までとは違う対策をしていかなければならない。
(70代／男性／西仙北)
- 熊の出没が増え、安全な土地ではなくなっている。熊対策（市民の人命安全）を最優先に考えてほしい。(40代／女性／大曲)
- 少子高齢化が進む中で、地域コミュニティや農業を将来にわたり維持・発展させるための取り組みを強化していただきたい。特に、市の基幹産業である農業については、担い手不足対策や新規就農者支援、スマート農業の導入支援、農産物のブランド化、販路拡大支援の充実を望みます。また、異常気象や資材価格の高騰など厳しさを増す経営環境に対応できるよう、生産者への支援体制の強化も必要だと考えます。(30代／男性／大曲)
- 熊対策のため、雑草が生い茂っているところを緑地整備してほしい。
(60代／女性／中仙)
- 高騰する農薬、肥料などを使った農法は難しくなると思う。環境に配慮した有機農法への支援体制の強化が必要だと思う。(50代／女性／太田)
- 農業は高齢化が進んで、特に担い手が不足している。個人で田んぼをやっている人は大変です。いずれ田畑を辞める農家は多くなります。(50代／男性／協和)
- すぐそばにクマが出ている。家主がいなく、管理されていないカキやクリの木を撤去してほしい。(60代／女性／西仙北)

(2) 商工業について

- 花火通り商店街が寂しい。花火大会に海外や全国から人が来ているのにとっても残念。大型ショップが郊外にあり街中では、ほとんど食料品しか手に入らないので、日用品や電化製品など、車が無い高齢者でも利用できる店があると助かる。(70代/女性/大曲)
- 車を走らせないと楽しめる場所が無い。若者の目を引く企業等の誘致をもっと頑張してほしい。県外に住む娘も帰ってきたいとは言うものの働く場所も楽しみもなく、帰って来いとは言えない現状。(60代/女性/大曲)
- 大曲地域に住んでいるため衣食住にあまり不便を感じない。だが、駅周辺が便利だけで、それ以外は不便。若い方や商工会の方が地域おこしに頑張っているのは応援しているが、働くところや賃金が十分な状態かと考えると残念。(50代/女性/大曲)
- 市内で働く環境が無ければどんどん人口が減ってしまいます。自動車関係や半導体、IT関連などの企業を誘致し、企業誘致にもっと投資してほしいです。(50代/男性/協和)
- 雪を活用したサーバーの冷却室と半導体工場の誘致を検討してほしい。雪冷サーバーは、既に北海道で実証実験されています。雪は厄介者ですが、使いようによっては資源になります。(30代/男性/大曲)
- 県外の企業を誘致するために、大曲西根地区に企業団地を整備したと思っていたが、市内企業が移転して来ただけのように感じたのは私だけだろうか？横手市は、県外からの誘致に成功しているように感じた。(50代/男性/仙北)
- 今後、ますます高齢化が進むので、徒歩圏内にスーパー等がないところへ商店を新設してほしい。(60代/男性/協和)
- スーパー等の値上げが日々の生活に堪えます。個人に対するお買い物助成券等の配布ではなく、お店に対して物価上昇抑制のための施策(補助など)があればよいと感じます。(60代/男性/大曲)
- ショッピングモールの空きテナント活用と商業施設の誘致。(30代/男性/大曲)
- 住みやすい街の条件の一つに雇用環境の充実が挙げられる。既存の企業と共存できる企業誘致を進めるために、廃校舎を無償提供し、活用してもらうのはどうか。そのほか、通年生産可能な野菜生産企業を育成する事業はできないでしょうか。(80代/男性/大曲)
- 花火以外にも力を入れてほしい。飲食店とかアパレルとかイオンモール以外のものを建ててほしい。(20代/男性/大曲)

(3) 雇用・就労について

- 若者が都会に出て行かないように、働く場所の確保や企業の賃金が増えるような色々な支援を実施してほしい。(40代/女性/大曲)
- 働く場所、会社がもっとほしいです。民間の大きな会社がほしいです。花火だけでは食べていけません。(50代/女性/大曲)

(4) 花火産業構想について

- 大曲は花火に力を入れていますが、昔と違って市民が楽しめる花火大会でなくなってきたように思います。花火のほかに誇れるものはないのでしょうか。(80代/女性/大曲)
- 花火大会のチケット代が上昇し、市民にはなかなか手が届かない現状。観光で収益を上げることも必要だが、市民がもっと楽しむことができ、花火のまちに誇りを持てるように考えてほしい。(60代/女性/大曲)
- 花火は大切な観光で地域の伝統であるが、ほかの地域の活性化にも力を入れてほしい。地元の人が昔のように観覧できることを考えてほしい。(60代/女性/西仙北)
- 花火をもっと国際的に広げられないのか。仙北市と協力して新しい花火大会を企画してはどうか。新幹線も停まるし宿泊施設も多いので。(50代/女性/協和)
- 花火だけはもうやめてほしい。(50代/男性/西仙北)
- 花火について、そろそろ費用対効果を検証すべきではないか。かけている費用に対して、街は発展しているのか甚だ疑問である。(40代/男性/大曲)
- 花火は、年一回で良い。(50代/男性/大曲)
- 花火大会の観光客のゴミ捨てや一時的な治安悪化の対策をちゃんとしてほしい。(30代/男性/大曲)
- 花火に集中しすぎ。観光資源ではあるが、市民が気軽に見られない状態になっている。市が補助してるなら花火を上げなくても良い。(60代/男性/太田)
- 「大曲の花火」へ過大に関わりすぎではないかと感じます。市民にどれだけの恩恵、効果があるのか疑問です。河川敷公園は花火のための公園となり、野球やテニスもできなくなり残念です。費用等について詳細な情報発信をしてください。(50代/男性/大曲)
- 花火大会がお金を稼ぐ目的で運営されていることに落胆しています。市民、県民が誇りに感じる大会から乖離していつています。何の為に、誰の為に開催しているのでしょうか？(50代/男性/大曲)
- 花火について、夏の大会は必要だと思うが春、秋、冬は必要か？どのくらいの予算でどのくらいの収支なのか。(70代/男性/西仙北)

(5) 観光について

- 「クレヨンしんちゃん」のテーマパークを誘致してほしい。しんちゃんのお父さんが大曲出身のため臼井儀人プロダクションへ交渉してみてはいかがでしょうか？しんちゃんの居住地、埼玉県春日部市では関連事業でまちおこしを実施して、活気づいている印象を受ける。（60代／男性／太田）
- 国指定名勝旧池田氏庭園をもっと全国に発信して観光客を増やすことはできないか。最近庭園への観光客が落ち込んでいるように感じる。払田柵跡、はなびアム、旧本郷家住宅、古四王神社、県立農業科学館などを結び付けて観光誘客を図れないか。（70代／男性／仙北）
- 大曲駅の周辺は、空き地やご飯を食べに行くところが少ないので、駅の隣に3階建てくらいのビルを建てて、はなびアムや図書館、観光客が買い物やご飯を食べられる場所があると活気が出ると思う。（50代／無回答／大曲）
- 駅前のこまちのモニュメントとってもよかった！ああいうモニュメントが所々にあると回ってみようかなと思う。毎月イベントや祭りもやっていて、移住してきてよかったなと感じる。もっと知らない良い所がたくさんあるんだろうと感じるが、知る術がなくいつも同じ場所ばかりに行ってしまう。（30代／女性／大曲）
- 花火の街大曲だが、花火を取ると何も魅力がない。市は花火に依存している。花火だけでは人口は増えない。また市内の他の地域に有名な祭り等はあるが、それ以外の魅力は特段感じられない。一時的な魅力ではなく、常に魅力を感じてもらえるよう、県内外問わず成長・発展している市町村の取り組みも参考にしながら、積極的に独自の取り組みをお願いします。（30代／男性／大曲）
- 市内に新しい綺麗なホテルが無いので泊まりたいと思わない。このほか、観光人材がいないので人材を育てるための支援が必要だと思う。（40代／女性／大曲）
- 「大曲の花火」だけでなく、野外音楽フェスなど県外の人に来てほしいと思うイベント等があれば嬉しい！（50代／男性／仙北）
- 観光誘客を進めるには、秋田空港へのアクセス改善が必要だと思います。例えば、横手市のような施策があれば、県外との往来がしやすくなり、とても助かります。横手市と事業を共同で実施してもらいたいです。（30代／女性／大曲）

(6) スポーツについて

- 大きい大会を開催できる施設が1つもないのがとても気になる。周りを見渡しても、ちゃんとした施設がないところは大仙市ぐらい。残念です。新しいものを造っても駐車場がないとか……。施設利用にしても平等性がないように感じる。貸出団体など、最初から決まってるのか？（50代／男性／大曲）

(7) 地域間・国際交流について

- 外国人が定住しないような政策を行ってほしい。大仙市は住みやすい街だと思います。（60代／男性／大曲）

(8) 出会い・結婚について

- 若い人たちに結婚してもらいたい。昔のように仲人が必要だと思う。（80代／無回答／南外）

(9) 子ども・子育てについて

- 子どもが屋内で遊べる無料の施設を増やしてほしい。（60代／女性／中仙）
- 移住定住の促進も大事だが、子どもを増やせる環境づくりに様々なアイデアを出していただきたい。（70代／男性／大曲）
- 子どもが遊べる施設の整備（30代／男性／大曲）
- 誰もが安心して子どもを育てられる地域づくりをどうぞよろしくお願いいたします。（30代／男性／太田）
- 子どもの医療費や給食費が無料でとても助かります。ありがとうございます。（40代／女性／大曲）
- 仙北地域では、小中学生が道路上で遊んでいる町内が多い、車や家にボールを当てたりするトラブルが発生した例もある。子ども達が安全・安心に遊べる場所を整備してもらいたい。（60代／男性／仙北）
- 若い人に「住みやすい街だよ」と自慢してもらえる大仙市になれば嬉しいです。（70代／女性／西仙北）
- 子育て支援をもっと充実してほしい。以前まであった女性への生理用品の無料支援、どうしてなくなってしまったのでしょうか…少し困っています。また、同じような女性への支援をやっていただきたいです。（30代／女性／大曲）

(10) 学校教育について

- 少子化の進行に伴い、子どもを取り巻く環境は複雑になっていると思うが、それに対して学校などの公的機関が悩みを抱える子どもや、その家族に寄り添っているのか甚だ疑問である。必要な効率化をすることは致し方ないところがあっても、子どもを守り育む体制は効率化してはならないと思う。子育て世帯からの信頼なくして、市政全体への信頼向上に繋がらないと考えます。（40代／男性／中仙）

(11) 生涯学習について

- 図書館のリニューアルを望みます。大曲地域の図書館も好きですが、駐車場の問題(冬場は特に)や自習室の不便さ、蔵書の豊富さなどから、横手市のアオーナをよく利用しています。

以下のような特徴がある図書館があると便利だと感じます。

- ・ 明るく座席数の多い自習室。
- ・ 高齢者だけでなく、児童や学生向けの居場所がある。
- ・ 座席にコンセントがありパソコンでのレポート課題などがしやすい。
- ・ 駅からもアクセスが良く、ふらっと立ち寄ることができる施設。
- ・ 6台以上停めることができる駐車場がある。

今後、当分この土地で生活する予定です。ご検討いただけると幸いです。

（20代／女性／大曲）

(12) 移住・定住について

- 若い人たちの移住を推進する政策をしてほしい（空き家を活かす、農業体験を企画するなど）。（50代／女性／大曲）

(13) 保健・医療について

- 大仙市は、耳鼻科、産婦人科、小児科などの個人病院が減ってきていると思います。厚生医療センターで診てもらうまでではないけれど、気になる症状があつて受診したい時、個人病院があると助かります。市外に行くのは足が遠いので、大仙市で病院を開業しやすい制度などがあれば、これから開業される医師や診てもらう市民も助かります。地域医療の充実をお願いしたいです。（40代／女性／大曲）
- 是非、市の健診を全部無料にしてほしい。無料にして受診率が上がれば必ず医療費の削減につながると思う。予防に勝る健康法はない。（60代／男性／大曲）

- 市役所ではどうしようもないかもしれませんが、市内に耳鼻科がないので不便です。
(20 代／女性／大曲)
- 産院が少ない。耳鼻科がない。(30 代／女性／大曲)
- 耳鼻科、皮膚科などの病院の充実。(30 代／男性／大曲)

(14) 高齢者福祉について

- 年金生活者、老人に対して細やかな援助が少ない。介護を受ける側になったが、入居できるお金がなく、年金で入れる施設、安心して暮らせる施設を探している。広報やお知らせでもカタカタ語が多くて分かりづらい。(80 代／女性／仙北)
- ケーブルテレビを全世帯にやってほしい。災害、クマ情報など高齢者はネットも使えないのでリアルタイムの情報を知ることができない。(80 代／女性／大曲)
- コロナ禍を境に敬老会等は中止されたようだが、年一回ほど 75 歳以上の高齢者には旧市町村別にお知らせしてほしい(80 代／女性／協和)
- 高齢になると買い物の不便さ、交通機関の不便さを感じると思う。高齢者が住みやすい環境、支援を引き続き考えてほしい(60 代／女性／中仙)

(15) 交通安全・防犯について

- 自動車、自転車の交通マナー向上をしてほしい。一時停止を無視する自動車が多い。特に停止線が薄れてほとんど消えている箇所もあるため、道路のいち早い補修とドライバーや自転車利用者のマナー向上を求めます。(30 代／女性／大曲)

(16) 防災・減災について

- 長年、消防団に入っていたので、最近の各地での災害情報を聞くと不安になる日がある。どうか大仙市全体の危険な場所に排水ポンプの設置をお願いしたい。
(70 代／男性／仙北)
- クマ被害が相次ぐ中、小中学生が暗いところを下校する姿をみて危ないと思うので、特に山の麓などに街灯を増やしてもらいたい！それと美郷町のように防災無線を各地に用意してもらいたい！大曲地域だけじゃなく、色々と強化してもらいたい！
(30 代／男性／太田)
- 大雨の時、いつも同じ所が洪水になるので対策が必要なのは？花火はもういいので市民のインフラ整備、補修をお願いしたい。(80 代／女性／太田)

(17) 雪対策について

- 大雪の時に除雪車がなかなか来てくれない。大曲地域だけ特別扱いされて盛り上がっている気がする。平等にしてほしい。(50代／女性／太田)
- 除雪が以前より行き届いていない。わだちになって怖い時が多いので除雪をしっかりしてほしい。(70代／男性／大曲)
- 除雪について、大きい道路だけでなく細道も除雪してほしい。あと、家の前に大きい雪の塊を置いていかないでほしい。大きすぎて除雪が困難だという高齢のお宅がありました。(60代／女性／南外)
- 高齢者宅前の排雪作業の支援。(70代／男性／大曲)
- 消雪道路の維持に、もう少し補助金を出してほしい。(80代／男性／大曲)
- 横手市の様に自治体で道路の消雪水が出るようにしてもらえるとありがたい。(50代／女性／大曲)
- 雪捨て場がないので、流雪溝が未設置の住宅街へ設置してほしい。(30代／男性／大曲)
- 除雪も大変お世話になっている。(50代／女性／協和)
- 雪が多くて驚きますが、消雪に感謝です。(20代／女性／大曲)
- 除雪について、地域の業者に委託するのは良いが、出動の指示を出すときは状況の確認をしてほしい。特に吹雪・大雪・雨降り後は、市で状況確認すべき。通勤時間に除雪しているのに遅くとも7時までに終わらせるよう指示・確認すべき。除雪幅や除雪後の雪の厚さ等、業者間の除雪レベルを統一してもらいたい。本当に除雪したのかといった状態があるので、住民からの評価によってランク付けするなどして、地域差を無くしてもらいたい。(60代／男性／太田)
- 大曲地域の除雪は酷すぎる。路線バスと交差できない場所が多々ある。事故が起こってもおかしくない。(80代／女性／太田)
- 市の雪対策の遅れにより、老後は県外に移住して生活したいと考える方が増えると思います。(50代／男性／大曲)

(18) 空き家対策について

- 人口減少で空き家や耕作放棄された土地が増えている。以前のような状態になることは困難になってきたと思うが、住民が安心安全に生活できることを望んでいる。
(70代／女性／大曲)
- 嫁にきて50年が過ぎた。隣に空き家が出てくることを想像していなかった。空き家対策をなんとかしてほしい。(70代／女性／神岡)
- 最近、崩れている空き家が多く見られます。近隣に迷惑をかけているところもあるので解体してほしいです。まだまだ、住める空き家もありそうなので、中古住宅として情報をいただきたいです。(50代／男性／大曲)

(19) カーボンニュートラルについて

- プラスチックごみを出すようになってから「燃やせるごみ」の指定ゴミ袋が大きいと感じる。レジ袋大くらいの大きさの指定ゴミ袋がほしい。(60代／女性／大曲)
- ゴミの回収分別をもっと簡略化してほしい。持ち込みルールを守らない人が多く、いつまでも回収されず集積所に置かれている。(70代／男性／大曲)
- 昨今は、ゴミ分別の種類を減らす自治体があるようだ。分別する労力が減るだけでなく、燃やす量を増やすことで電気を発電することができると思います。(30代／男性／大曲)
- ゴミ収集が厳しすぎます。シールを貼って残されているのを見ると悲しくなります。
(50代／女性／大曲)

(20) 自然・環境衛生について

- 春の全市一斉清掃やアメシロの消毒など、とても良いと思います。(70代／女性／大曲)
- 河川への不法投棄が非常にみられます。橋の上からの不法投棄だと思うが、橋に防犯カメラの設置を希望します。7、8年前になりますが、川底にビー玉程の花火の火薬が大量に投棄されていることがありました。(60代／男性／中仙)
- タバコのポイ捨てが気になります。(60代／女性／大曲)

(21) 公共交通について

- コミュニティバス路線の見直しをしてほしい。バスを利用したい人が多い路線を走ればいいのにとっている。(50代/女性/太田)
- 車がなければ何もできないのはどうかと思います。乗り合いタクシーはありますが、地域の方々は生活に不便を感じていないか調査したことはあるのでしょうか。
(50代/女性/大曲)
- 市域が広いので、公共交通の利便性に地域間の差があるのが現状です。路線変更やダイヤの改正は厳しいと思いますが、高齢者やハンディキャップがある人などを対象に補助制度がより充実すると良いと思います。一人当たりの上限を定めるのはもちろんですが、利用料金を補助するというのではなく、いかに気軽に利用したいと思ってもらえるかが大事だと考えます。運転手は外部委託だとしても、市が運営する乗り合いタクシーのようなものがあれば普及しやすいのかなと思います。(20代/女性/中仙)
- 市バスが駅から大曲イオンや農業科学館まで走るなら、免許返納しても買い物やイベントに行きやすい。(50代/無回答/大曲)
- 買い物や病院へ行くには車が必要です。高齢者の免許返納が必要と言われる時代ですが、まだまだ難しいです。あちこち寄れる相乗りバスみたいなものがほしいです。
(60代/女性/仙北)
- 高齢者の車の免許返納に備え、公共交通の利便性の向上を図ってほしい。先日、協和地域でタクシーを利用しようとしたところ「空車がないため、協和地域には行けない」とのことになかなか利用できませんでした。将来、免許返納を検討してもこのような現状では、免許返納は不安です。(60代/男性/協和)
- 免許返納した場合、交通の便が心配。(60代/女性/西仙北)

(22) 機能集約型都市構造について

- 大仙市はコンパクトで住みやすい。(50代／女性／大曲)
- 子どもがどんどん減っていくので、市直営の施設は大曲地域に集中していく必要があると思う。若い夫婦や子育て世帯は、最初は大曲地域に住むことが多いと思う。様々な施設を大曲駅やバイパスの商業施設のあたりから離れた場所に作っても、近い将来、遠くて閑古鳥のようになると思う。大曲地域又はバイパスあたりに集中させていかないと、街は発展していかないと思う。点々と施設を整備しても利用者が少なく利益も生まないため、維持費がかかり、発展しないと思う。(40代／女性／大曲)
- 大曲駅前、新幹線の停車駅とは思えません。駅周辺に人が集まりやすく整備された公園や広場のような場所がなく、誰でも利用できるような場所も少ないため寄るところがありません。人口流出の歯止めや人の集約化を図るためには、都市集約型のコンパクトシティ化を目指す必要があると考えます。そのため、公共交通機関の利用を促進するような街づくりを目指しながら、車を利用する方も訪れやすい駐車場の整備をし、施設を充実させることが今後の大仙市には必要だと思っています。
(30代／男性／大曲)
- 市のコンパクト化は、「促す」レベルではなく「強制」レベルでもっと加速度的に進める必要がある。(40代／男性／大曲)

(23) 道路河川について

- 3年前に大仙市に引越してきましたが、道路に白線がない箇所が多いと感じました。どの世代も車がないと生活が難しい地域なので、せめて道路の白線を引き直してほしいです。
(30代／女性／大曲)
- 道路のセンターラインが消えている場所が多く、暗い時間の車の運転が危険。横断歩道もはっきりさせてほしい。(60代／女性／大曲)
- 道路は最近、穴だらけ。(80代／女性／太田)

(24) 上下水道について

- 下水道使用料が高いと思う。(80代／男性／大曲)
- 上下水道の整備がされていない地域に、早期に整備されることを期待します。
(60代／女性／大曲)
- 住民の間でも意見は様々かと思われるが、私の地域ではまだ上下水道が整備されていないので、最低限の生活インフラの整備は行うべきと考えます。(40代／女性／中仙)

(25) 住環境、公園・緑地について

- 私が住んでいるところは建物は素晴らしいけれども、入居している子どもたちや高齢者の集う場所が無くて残念に思う。建物の中には使われていないところがあるので、月に一回でいいから入居している人たちが、利用できたらうれしい。（70代／女性／大曲）

(26) シティプロモーションについて

- デジタルコンテンツの充実を図り、誰にでもわかりやすい市政の情報発信が必要だと思います。（60代／男性／大曲）
- 農業の担い手不足や災害対策などの課題はありますが、子育てするには大仙市は素晴らしいところだと思います。もっとPRしても良いと思います。（40代／男性／西仙北）
- 大仙市の魅力を市外にたくさんアピールして、盛り上げていただきたいです。（30代／男性／太田）
- 花火以外で、他のところへもっとアピールしていくべきだと思う。（50代／女性／太田）
- SNSで海外にもっと花火をPRする。（50代／女性／大曲）

(27) 地域活動について

- 大曲地域だけ輝くまちづくりはどうか、平等なまちづくりを推進してほしい。支所にも予算配分してほしい。全て本庁舎に伺いをとるのが残念だ。（80代／男性／協和）
- 神岡地域からプールがなくなり悲しい。大曲地域だけが発展している。もう少し神岡地域など各地域も楽しめる場をつくってほしい。（70代／女性／神岡）
- 沢山の方々の努力あっての大仙市。現実、若い人たちは便利さを求めて中心部へ移住してしまう。山間部は景色が良く、空気も良いところだが不便が目立つ。雪の問題、空き家、交通、買い物。市全体が明るく楽しく希望が持てるようになってほしい。（60代／女性／太田）
- 大曲駅周辺が閑散として暗いので、もっと花壇を増やすなど、にぎやかな雰囲気になってほしいです。（20代／男性／大曲）
- これからの子どもや、青年達に予算のばらまきのようなことではなく、がっちりとしたお金をかけていただきたい。「大仙市で、人口3万人になっただよ。だけど若い衆がすごい。のびっかりいて、歩けば、知的で、活力があって、燃えてるだよ」とはいかないにせよ、あってほしいものである。70歳のつぶやき。．．．．．。（70代／男性／太田）

- 高齢者の1人暮らしや低所得者世帯には支援金がありますが、3世帯4世帯の同居家族も暮らしが大変です。皆が幅広く暮らしに使える割引きクーポン券などほしいです。
(60代／女性／仙北)
- 市長等との懇談会が各地で開催されていると思いますが、なかなか足を運べないのでオンラインなどを活用できるようであれば、参加してみたい。(40代／男性／中仙)
- 市政が大曲地域に偏っている感じがする。人口が多く仕方がない面もあるが。
(60代／男性／太田)
- 若い世代や子育て世帯が安心して暮らし続けられる環境整備、除雪や道路管理など生活インフラの維持に加え、企業誘致や地域産業・観光振興による雇用創出にも積極的に取り組んでいただきたいです。地元で働き、結婚・子育てをしながら安心して暮らせる環境づくりが、人口減少対策と地域活性化につながると考えます。(30代／男性／大曲)

(28) 市民協働・共創について

- 他市町村に比べ、何も魅力を感じられない。若い人たちが県外などにどんどん出て行ってしまうのではないかと心配である。市議会でもう少し若い議員が増えて、現役世代や子育て世代の声を市政に反映させてほしいと切に願っております。(50代／女性／西仙北)
- 市民の情報をさらに吸い上げ、広める施策に力を入れてほしいです。
(50代／男性／大曲)
- 市民と職員の間が、住んでよし・働いてよし、明るく楽しく安心できるまちづくりに向けた改善と改革をより推進していけるようお願いいたします。(50代／男性／大曲)
- 市民の声をもっと聴いて、市民の声をもっと反映してほしい。(40代／男性／大曲)
- アンケートを書いても反映されないと親が言っていた。(10代／女性／大曲)
- リタイヤした高齢者の積極的な活用や若い人たちとの交流。(50代／女性／大曲)

(29) 行財政運営について

- 大仙市民のためになるような施設、若者の遊び、交流の場が無い。若者の流出を止める対策を願う。市役所職員を減らすべき。大仙市が大きく変わることを期待する。
(60代／男性／大曲)
- デジタル化に大いに賛成だが、高齢化でついていけない現実。地域に出張講座の形で教えてほしい。(60代／男性／南外)
- スマートフォン、パソコンが苦手な人はどんどん遅れて、ますます心細くなっていくのでこの先が心配。(70代／女性／中仙)

- A I の活用は大変良いことと思うが、頼りすぎずA I が暴走しないよう、監視者の育成に努めてください。（70 代／男性／大曲）
- 大仙市の人口に対して市の職員が多すぎる（各支所含め）。デジタル化を進めるのであれば職員は減らすべきでしょう。（60 代／女性／大曲）
- 大仙市＝大曲地域に偏り過ぎ。以前、市役所へ行った時に対応した女性職員の態度で嫌な思いをしたので職員のイメージが悪い。そのまま市政も悪いイメージ。
（70 代／女性／太田）
- 「市民のために」という情熱が感じられない。高齢化の時代です。いっそ長生き日本一の市を目指したらどうか。大仙市は「お年寄りが幸せなまち」でよいではないか。雪問題、交通問題、高齢者が自立して、いつまでも大仙市で暮らせるために真剣に取り組んでほしい。（70 代／女性／大曲）
- 大曲一極集中ではなく、旧市町村に住む市民が公平に行政サービスを受けられる体制の維持を望みます。今後、社会体育施設の老朽化に伴い廃止が検討されていくと思いますが、廃止ありきではなく、利用率などを見たうえで様々な検討をしてほしいです。
（40 代／男性／中仙）
- ふるさと納税に力を入れてほしい。（50 代／男性／大曲）
- 大仙市は無理にA I 事業を発展させるのではなく、田畑が多いため、一次産業を中心に考えてみてはいかがでしょうか？（10 代／女性／太田）
- 市政情報の見える化を進めてほしい。ホームページ検索をしやすくすることで、インターネットから市政のデータにアクセスしやすくなるのではないかと。予算や市政の状況、議員活動報告など（視察における報告、支出明細）。（70 代／男性／中仙）
- 周辺市町との合併も視野に入れていかないと、行政サービスの低下や経済低迷に陥ると思っています。人口減少が深刻化する前に、上質な田舎を目指すべきだと思います。
（20 代／男性／太田）
- 子ども達が使用するスポーツクラブ等の練習施設を点検、修理しながらやってほしい。
（60 代／女性／西仙北）
- 市が発信する文書等は重複している内容が多いと感じる。そのため無駄な紙や郵送代がかかっていると思うので、もっと簡単にしてほしい。（70 代／男性／大曲）
- 物価高対策として、中所得世帯にも手厚い対応をお願いします。商品券や給付などがあると助かる。対象がいつも低所得世帯なので苦しいです。（50 代／女性／大曲）
- 物価高で打撃を受けています。低所得者に限定した補助金の制度を見直してください。
（20 代／女性／南外）
- 他の市と比べて給付金などの対応が早くて助かる。（50 代／女性／協和）

(30) その他

- 年代、職業によって意見のバラつきがかなりあると思います。アンケート集計結果に興味があります。(70代／女性／仙北)
- 私の年代へのアンケートは不要かと思った。20代～60代を対象にしたら市にも効果の得られる回答があったのではないか。(70代／女性／大曲)
- 届く郵便物について内容が分かりにくいものが多い。～の場合は提出不要など具体的な例をあげてもらえると分かりやすいのではと思う。(60代／女性／大曲)
- アンケートに回答してみて大仙市は花火以外にいろいろな施策が行われていることが分かってホッとした。花火産業への投資がクローズアップされているので、他のことが置き去りになっているような印象。(80代／女性／太田)
- 市のトップにあたる人達は現場をよく見てほしい。紙に書かれたものを難しい言葉でやり過ごしている。(70代／男性／大曲)
- 市役所に限らず、相談がしづらい。素早くにこやかに出迎えてくれると行きやすく、相談しやすいところになるのではないか。忙しい中で申し訳ない思いながら正直な感想です。(50代／女性／大曲)
- 日々の暮らしのために頑張っていただきありがとうございます。(40代／女性／大曲)
- 市役所に相談したいことがあって行くのですが、どの窓口でも親切に対応していただき感謝しております。他の自治体ではこんなに親切にしてもらえないと聞くこともあります。職員の方々は大変なことも沢山あるかと思いますが、これからも優しい窓口でいてほしいです。(50代／女性／大曲)
- 花火以外にも魅力を感じる何かを作してほしい。(40代／女性／大曲)
- 自分から聞かないと分からなかったりする部分があり、アドバイスもらえるだけでも助けられた経験があります。(50代／女性／西仙北)
- 非課税世帯ですが、固定資産税が高く、近年の物価高等で非常に苦しい状況が続いています。もしも減免措置等があるようでした、市から積極的に情報発信していただいて、市民に寄り添う市政を行ってほしいです。(50代／男性／大曲)
- SNSで、議会について開催告知してほしい。特にY o u t u b eの配信については画像よりも音声に重きを置いてほしい。質問内容や答弁内容が重要なので。画角的には議長や答弁者がアップすぎる、引き絵にした方が良いと思われる。(70代／男性／中仙)

4 資料（調査票）

令和8年度「市民による市政評価」へのご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃から市政に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、令和8年度にスタートした新たなまちづくりの羅針盤となる「第3次大仙市総合計画」のもと、本市を取り巻く変化や課題に対応し、新たな時代の変化を取り入れながら、引き続き将来都市像である「人が活き 人が集う 夢のある田園交流都市」の実現に向け、市民の皆さまと手を携えながら、より一層、市民目線に立った実効性のある取組を推進しているところであります。

この「市政評価」は、市民の皆さまが日ごろ感じていることや、市政に対するご意見をお伺いするもので、いただいたご回答は、施策の見直しや市民の皆さまとの協働・共創のまちづくりを進めるための基礎資料の一つとして活用させていただきます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにお答えいただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。

令和8年5月 大仙市長 老 松 博 行

回答にあたっての注意点

- このアンケートは、市内にお住まいになっている16歳以上の方の中から無作為（性別、年齢、地域については考慮）に1,000人を抽出させていただき、無記名形式で行います。
- このアンケートは、原則として封筒の宛名にあるご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方（ただし、16歳以上の方）がお答えいただいても結構です。また、設問が難しいと感じられた場合は、ご家族の方と相談しながらお答えいただいても結構です。
- ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。※宛名ラベル右下の番号は回答状況を確認するためのものです。
- このアンケートの結果は、後日（秋頃を予定）市のホームページ等で公表します。

回答方法

◆ **6月19日（金）**までに、ご回答いただきますようお願いいたします。

スマートフォンまたはパソコンを持っていますか？



◆ 本アンケートは「(株) サキガケアドバ」に委託して実施しております。
返信用封筒の宛先は、委託先の住所となっております。

「あなたご自身のこと」についてお聞きします

問 1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性 3. 無回答

問 2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代

問 3 あなたのお住まいの地域を教えてください。(○は1つ)

1. 大曲地域 2. 神岡地域 3. 西仙北地域 4. 中仙地域
5. 協和地域 6. 南外地域 7. 仙北地域 8. 太田地域

問 4 あなたの職業を教えてください。(○は1つ)

1. 正規社員・職員 2. 自営業・家族従業者（農林水産業含む）
3. パート・アルバイト・契約（派遣）社員 4. 専業主婦・主夫
5. 学生（高校生含む） 6. 無職 7. その他（ ）

問 5 あなたの世帯構成を教えてください。(○は1つ)

1. 単身世帯 2. 夫婦世帯 3. 2世代世帯 4. 3世代世帯
5. その他（ ）

問 6 あなたが大仙市に住んでいる経緯を教えてください。(○は1つ)

1. 生まれてからずっと住んでいる
2. 市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た
3. 市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た

問 7 あなたの大仙市（旧市町村を含む）での通算居住年数を教えてください。(○は1つ)

1. 1年未満 2. 1～4年 3. 5～9年
4. 10～19年 5. 20～29年 6. 30年以上

「大仙市の住みやすさ」についてお聞きします

問 8 大仙市は住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |

問 9 大仙市の「住みやすいところ」と「住みにくいところ」はどんなところですか。
(○はそれぞれ3つまで)
※問8の回答内容に関わらずお答えください。

住みやすいところ (○は3つまで)	住みにくいところ (○は3つまで)
1. 買い物などの日常生活が便利	1. 買い物などの日常生活が不便
2. 働く場所がある	2. 働く場所が少ない
3. 医療・福祉施設やサービスが充実している	3. 医療・福祉施設やサービスが充実していない
4. 子育て環境が充実している	4. 子育て環境が充実していない
5. 教育環境が充実している	5. 教育環境が充実していない
6. 交通の便が良い	6. 交通の便が良くない
7. 自然が豊か	7. 自然が少ない
8. 観光資源が豊富	8. 観光資源が少ない
9. 公共施設が充実している	9. 公共施設が充実していない
10. 災害対策が充実している	10. 災害対策が充実していない
11. 治安が良い	11. 治安が良くない
12. 地域のつながりが良い	12. 地域のつながりが良くない
13. 上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている	13. 上下水道やごみの収集などの生活環境が整っていない
14. その他 ()	14. その他 ()

問 10 これからも大仙市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)
※今後の予定などに関わらず、あなたの考えに最もあてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. この場所に住み続けたい | 2. 市内の別の場所へ移りたい |
|----------------|-----------------|

問 12 へ

- | | |
|------------|---------------------|
| 3. 市外に移りたい | 4. 住み続けたいが、移らざるを得ない |
|------------|---------------------|

問 11

問 10 で、「市外に移りたい」「住み続けたいが、移らざるを得ない」を選択した方にお聞きします。市外に移りたい、または移らざるを得ない理由は何ですか。(○は1つ)

1. 市外での仕事や進学が決まっているから
2. 市外で仕事や進学をしたいから
3. 大仙市での生活に不満があるから
4. 仕事などの都合で、一時的に大仙市に住んでいるだけだから
5. その他 ()

問 12

住む場所を選ぶ際に重視することは何ですか。(○は3つまで)

1. 買い物などの日常生活が便利なこと
2. 働きたい仕事や働く場所があること
3. 地域の産業や経済が活発なこと
4. 医療や福祉が充実していること
5. 子育てしやすい環境であること
6. 教育環境が充実していること
7. 交通の便が良いこと
8. 自然環境が充実していること
9. 娯楽やレジャー施設が充実していること
10. 災害対策が充実していること
11. 治安が良いこと
12. 地域コミュニティや地域活動が充実していること
13. 上下水道やごみの収集などの生活環境が整っていること
14. その他 ()

問 13

大仙市に誇りや愛着を感じますか。(○は1つ)

1. 感じる
2. やや感じる
3. あまり感じない
4. 感じない

「まちづくりへの意識」についてお聞きします

問 14

ご自身の経験などから、市民の意見や要望が市政に反映されていると思いますか。(○は1つ)

1. 反映されている
2. やや反映されている
3. あまり反映されていない
4. 反映されていない
5. どちらともいえない・わからない

問 15

あなたは、市政に対して関心はありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ややある
3. あまりない
4. ない

問 17 へ

問 16

問 15 で、「あまりない」「ない」を選択した方にお聞きます。

市政に対して関心がない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 転入してきたばかりだから | 2. 住み続けるつもりがないから |
| 3. 自分の生活に関係ないと思うから | 4. 行政に任せておけば良いと思うから |
| 5. 市民の意見が反映されないと思うから | 6. 市政に関する情報が伝わってこないから |
| 7. その他 (|) |

「市の情報発信や行政サービスのデジタル化」についてお聞きます

問 17

あなたは、市の情報をどのようにして入手していますか。(○は2つ)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 市広報「だいせん日和」 | 2. コミュニティFM「FMはなび」 |
| 3. 市公式SNS (LINE、インスタグラム等) | 4. 市ホームページ |
| 5. 市役所の窓口 (支所等を含む) | 6. 家族や知人からの口コミ |
| 7. その他 (|) |

問 18

あなたは、問 17 の情報入手手段は利用しやすい(情報が入手しやすい)と思いますか。
(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ある程度そう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

問 19

あなたは、市のサービス(全般)は利用しやすいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ある程度そう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

問 20

あなたは、今後行政サービスや地域のデジタル化が進むことにより、どのようなサービスが受けられることを期待しますか。(○は3つまで)

- | | |
|---|---|
| 1. 市役所に行かなくてもオンラインで各種手続きや相談ができる | |
| 2. アプリやメール等で市の情報が入手しやすくなる | |
| 3. マイナンバーカード等の活用で手続きが簡単になる | |
| 4. 災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる | |
| 5. デジタルに不慣れでもデジタル化によるサービスが簡単に利用できる | |
| 6. 市内の店舗におけるキャッシュレス決済の普及により支払いの利便性が向上する | |
| 7. AI の活用などにより 24 時間 365 日いつでも気軽に相談ができる | |
| 8. その他 (|) |

「施策の満足度と重要度」についてお聞きします

問 21

あなたは、下表の設問項目について、大仙市の取組にどのくらい「満足」していますか。
また、今後、大仙市のまちづくりにとってどのくらい「重要」であるとお考えですか。
下表の設問項目ごとに、「満足度」と「重要度」について、あなたの考えに一番近い
番号を選んで、○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

【満足度】5:満足 4:まあ満足 3:どちらともいえない 2:やや不満 1:不満

【重要度】5:重要 4:やや重要 3:どちらともいえない 2:あまり重要ではない 1:重要ではない

基本目標1 魅力ある産業と地域資源により、にぎわいがあふれるまち

① 農林水産業の振興

農畜産物のブランド化や担い手の確保・育成、生産性の向上に向けた生産基盤整備を進めているほか、森林の好循環利用の促進や鳥獣被害対策の強化、鮭ふ化放流文化の継承などに取り組んでいます。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ←→ 低				
重要度	5	4	3	2	1

② 商工業の振興

商店街等の活性化に向けた取組や起業への支援のほか、企業誘致の強化や地元企業の経営基盤の強化に向けた支援などに取り組んでいます。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ←→ 低				
重要度	5	4	3	2	1

③ 雇用・就労の促進

インターンシップや企業説明会の開催、求職者の資格取得や企業の人材獲得への支援など、若者やAターン希望者の市内就労の促進に向けた取組を進めています。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ←→ 低				
重要度	5	4	3	2	1

④ 花火産業構想の推進

「大曲の花火」の国内外での認知度向上に加え、そのブランド力を戦略的に活用し、観光・文化・教育などと連携して地域の活性化につなげるとともに、花火伝統文化の継承に取り組んでいます。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ←→ 低				
重要度	5	4	3	2	1

⑤ 観光の振興

本市の特色ある花火・歴史・文化・食・自然等の地域資源を組み合わせた観光コンテンツの創出や観光施設の魅力向上などに取り組んでいます。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ←→ 低				
重要度	5	4	3	2	1

⑥ スポーツの振興

屋内外のスポーツ施設の整備や関係団体への支援などにより、誰もがスポーツに参画できる環境づくりを進めるとともに、スポーツイベントや大会の開催などスポーツを通じた地域活性化に取り組んでいます。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ←→ 低				
重要度	5	4	3	2	1

⑦ 芸術・文化の振興

関係団体の芸術文化活動への支援や芸術鑑賞機会の創出を図るとともに、文化財の適切な保存・整備と活用などに取り組んでいます。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ←→ 低				
重要度	5	4	3	2	1

⑧ 地域間交流・国際交流の推進

国内外の友好交流都市等と相互の発展に向け、青少年交流や観光・文化・教育交流など、多様な交流を行っています。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ←→ 低				
重要度	5	4	3	2	1

【満足度】5:満足 4:まあ満足 3:どちらともいえない 2:やや不満 1:不満

【重要度】5:重要 4:やや重要 3:どちらともいえない 2:あまり重要ではない 1:重要ではない

基本目標2 地域の活力を生み、誰もがいきいきと活躍できるまち

① 出会い・結婚支援の充実

時代の変化にあわせた出会いの機会の創出と支援のほか、結婚に伴う住居取得などの経済的な支援も含めて、地域全体で結婚を希望する方を応援し、サポートする環境づくりを進めています。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ← → 低				
重要度	5	4	3	2	1

② 子ども・子育て支援の充実

不妊治療への支援や産前・産後のサポート、医療費・保育料・給食費の無償化など経済的負担の軽減、保護者の多様な就労形態に応じた保育サービスの充実や放課後児童クラブの運営など、切れ目のない支援により安心して子育てできる環境づくりを進めています。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ← → 低				
重要度	5	4	3	2	1

③ 学校教育の充実

グローバル化やデジタル化に対応しながら、子どもの学びを最優先にした教育環境の充実を図るとともに、キャリア教育やふるさと教育など、地域との交流による多様な学びを通じて、生きる力を育み、地域社会で活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ← → 低				
重要度	5	4	3	2	1

④ 生涯学習の推進

家庭や地域、学校等と連携・協働しながら、地域の特性を活かした多様な学びの機会を創出するほか、公民館等の社会教育施設の整備を進めるなど、生涯を通じて学び、活かせる環境づくりに取り組んでいます。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ← → 低				
重要度	5	4	3	2	1

⑤ 移住・定住の促進

本市の強みや魅力、仕事などの情報を市内外に広く発信するとともに、移住の検討段階から実際の移住までにおける各種支援制度やサポートの充実を図るなど、移住・定住の促進に向けた取組を進めています。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ← → 低				
重要度	5	4	3	2	1

⑥ 男女共同参画・女性活躍の推進

固定的性別役割分担意識や無意識の偏見の解消に向けた、男女共同参画や女性活躍の推進に関する講座・セミナーの開催など、誰もがいきいきと活躍できるまちづくりを進めています。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ← → 低				
重要度	5	4	3	2	1

【満足度】5:満足 4:まあ満足 3:どちらともいえない 2:やや不満 1:不満

【重要度】5:重要 4:やや重要 3:どちらともいえない 2:あまり重要ではない 1:重要ではない

基本目標3 誰もが安全・安心で、幸せに暮らせるまち

① 保健・医療の充実

特定健診・がん検診などの各種健（検）診の受診促進や、心と身体の健康づくりの推進を図るとともに、予防接種の推進や地域医療体制の充実に向けた取組を進めています。

満足度	5	4	3	2	1
	高				低
重要度	5	4	3	2	1

② 社会福祉の充実

様々な困難を抱える子どもや若者、障がい者など、地域住民の複雑・複合化した支援ニーズに適切に対応し、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう社会福祉の充実に取り組んでいます。

満足度	5	4	3	2	1
	高				低
重要度	5	4	3	2	1

③ 高齢者福祉の充実

地域包括ケアシステムの推進や、認知症や介護予防の充実、高齢者生活支援サービスの充実などに取り組んでいます。

満足度	5	4	3	2	1
	高				低
重要度	5	4	3	2	1

④ 社会保障の充実

国民健康保険、後期高齢者医療制度などの安定的な運営を図るとともに、生活困窮者の生活の安定と自立への支援を行うなど、安心した生活を支える公的保険・医療制度の整備を進めています。

満足度	5	4	3	2	1
	高				低
重要度	5	4	3	2	1

⑤ 交通安全・防犯対策の強化

関係団体と連携した啓発活動などにより、交通安全や防犯の意識向上を図るとともに、消費相談窓口の強化など、事故や犯罪被害、消費者トラブルの未然防止に向けた取組を進めています。

満足度	5	4	3	2	1
	高				低
重要度	5	4	3	2	1

⑥ 防災・減災対策の強化

市民の防災意識の向上や自主防災組織の活動促進、消防団員の確保など、地域防災力や消防体制・機能の強化を図り、市民・地域・行政などが一体となった災害に強いまちづくりに取り組んでいます。

満足度	5	4	3	2	1
	高				低
重要度	5	4	3	2	1

⑦ 雪対策の強化

道路の除排雪体制の強化を図るとともに、高齢者世帯等の除排雪に取り組む自治会等への支援など、地域等との協働による雪対策に取り組んでいます。

満足度	5	4	3	2	1
	高				低
重要度	5	4	3	2	1

⑧ 空き家対策の推進

空き家の発生を抑制するため、家屋の所有者や相続人の理解を促進するとともに、解体経費への補助や空き家バンク制度の活用を促進するなど、空き家の適正管理と活用の促進に向けた取組を進めています。

満足度	5	4	3	2	1
	高				低
重要度	5	4	3	2	1

【満足度】5:満足 4:まあ満足 3:どちらともいえない 2:やや不満 1:不満

【重要度】5:重要 4:やや重要 3:どちらともいえない 2:あまり重要ではない 1:重要ではない

基本目標4 豊かな自然を守り、快適な住みよいまち

① カーボンニュートラルの推進

家庭や事業所における太陽光発電設備の導入支援などを通じて、地域全体で脱炭素化を推進するとともに、ごみの減量化とリサイクルの推進など循環型社会の形成に向けた取組を進めています。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ←→ 低				
重要度	5	4	3	2	1

② 自然・生活環境の整備

豊かな自然や生態系の保護、ごみ排出環境の整備、不法投棄や公害の防止など、自然環境の保全と生活環境の整備を進めています。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ←→ 低				
重要度	5	4	3	2	1

③ 公共交通の充実

デジタル技術の活用や地域主体による移動支援の取組などを推進しながら、地域の実情やニーズに応じて、安心して快適に利用できる持続可能な地域公共交通ネットワークの形成に取り組んでいます。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ←→ 低				
重要度	5	4	3	2	1

④ 機能集約型都市構造の形成

大仙市都市計画マスタープラン等に基づき、都市機能の集約と居住の誘導を促し、各地域の拠点を結ぶ交通ネットワークを構築するなど、持続可能で利便性が高いまちづくりを進めています。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ←→ 低				
重要度	5	4	3	2	1

⑤ 道路河川等の整備

道路、橋りょう等の計画的な維持管理や長寿命化などにより、安全・安心で快適な道路交通網を整備するとともに、護岸の補修などにより河川機能の維持・強化を図り、水害対策に取り組んでいます。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ←→ 低				
重要度	5	4	3	2	1

⑥ 上下水道等の整備

人口減少の進行に伴う水需要の減少を見据えながら、老朽化が進む施設の適切な維持管理や計画的な更新、統合等を進めるなど、効率的な運営体制のもと、上下水道サービスの安定供給に取り組んでいます。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ←→ 低				
重要度	5	4	3	2	1

⑦ 住環境、公園、緑地の整備

住宅リフォーム支援の充実や市営住宅の適切な維持管理、魅力ある公園・緑地づくりなど、良好で快適な住生活環境づくりを進めています。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ←→ 低				
重要度	5	4	3	2	1

【満足度】5:満足 4:まあ満足 3:どちらともいえない 2:やや不満 1:不満

【重要度】5:重要 4:やや重要 3:どちらともいえない 2:あまり重要ではない 1:重要ではない

基本目標5 地域と共に創る、未来に続く持続可能なまち

① シティプロモーションの推進

魅力的な地域資源の掘り起こしや、広報紙・市公式SNSなどを通じた情報発信の強化に加え、市民一人ひとりが誇りを持って地域の魅力を発信できる環境づくりに取り組んでいます。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ←→ 低				
重要度	5	4	3	2	1

② 地域活動の維持・活性化

自治会活動への継続した支援や地域活動拠点の整備、地域運営組織の育成と活動へのサポートなど、住民主体の地域づくり活動の促進に向けた取組を進めています。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ←→ 低				
重要度	5	4	3	2	1

③ 市民や多様な主体との協働・共創

市民による市政評価やSNS等を活用した双方向の情報共有や、市民のまちづくりへの参画機会の創出に加え、公民連携や広域連携の推進など、協働・共創のまちづくりを進めています。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ←→ 低				
重要度	5	4	3	2	1

④ 行財政運営の効率化

デジタル技術の活用や組織機構の強化、働き方改革の推進などにより、業務効率化を図りながら、利便性や質の高い行政サービスを提供するほか、統廃合等を含めた公共施設の適正配置、財政健全化など、効率的かつ効果的で持続可能な行財政運営を進めています。

満足度	5	4	3	2	1
	高 ←→ 低				
重要度	5	4	3	2	1

「今後、市に力を入れてほしいこと」についてお聞きします

問 22

今後の市政を推進していく上で、重要課題として市に力を入れてほしいことは何ですか。(〇は5つまで)

◆ 基本目標1 ～魅力ある産業と地域資源により、にぎわいがあふれるまち～

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 農業経営の強化と担い手の確保 | 2. 農畜産物のブランド化 |
| 3. 農地・農村環境の保全 | 4. 森林・水産資源の管理・活用 |
| 5. 地域商業の活性化 | 6. 中小企業等への支援 |
| 7. 企業誘致の強化 | 8. 雇用・就労支援 |
| 9. 花火産業の推進 | 10. 地域資源を活用した観光振興 |
| 11. 観光施設の魅力向上 | 12. スポーツの推進・環境整備 |
| 13. 芸術文化の振興 | 14. 文化財の保存・活用 |
| 15. 地域・国際交流の推進 | |

◆ 基本目標2 ～地域の活力を生み、誰もがいきいきと活躍できるまち～

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 16. 出会い・結婚支援 | 17. 母子保健の充実 |
| 18. 子育て支援・環境の充実 | 19. 子どもの健全な育成 |
| 20. 教育環境の整備・充実 | 21. ふるさと教育・キャリア教育 |
| 22. 生涯学習の推進 | 23. 移住・定住の促進 |
| 24. 男女共同参画・女性活躍 | |

◆ 基本目標3 ～誰もが安全・安心で、幸せに暮らせるまち～

- | | |
|---------------|-------------------|
| 25. 健康づくりの推進 | 26. 地域医療体制の充実 |
| 27. 地域福祉の充実 | 28. 障がい者（児）福祉の充実 |
| 29. 高齢者福祉の充実 | 30. 公的保険・医療扶助等の充実 |
| 31. 交通安全・防犯対策 | 32. 防災・減災対策 |
| 33. 雪対策 | 34. 空き家対策 |

◆ 基本目標4 ～豊かな自然を守り、快適な住みよいまち～

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 35. 脱炭素・循環型社会の形成 | 36. 自然・生活環境の整備 |
| 37. 公共交通の充実 | 38. 都市機能の集約と拠点づくり |
| 39. 道路等の整備と河川の水害対策 | 40. 水道水の安定供給 |
| 41. 生活排水処理対策 | 42. 住環境の整備 |
| 43. 公園・緑地の整備 | |

◆ 基本目標5 ～地域と共に創る、未来に続く持続可能なまち～

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 44. 地域の魅力の掘り起こしと発信 | 45. 市民・地域団体への活動支援 |
| 46. 協働・共創のまちづくり | 47. 行政サービス改革・自治体DX |
| 48. 人材の確保と働き方改革 | 49. 健全な財政運営 |
| 50. 公共施設の適正管理 | |

問 23

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関して、ご意見やアイデアなどがありましたらご自由にご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。